



**資料集**  
-ReferenceGuide-

**株式会社野村総合研究所**

**Nomura Research Institute, Ltd.**

- 本書は、Senju Service Manager システムバージョン 2023.0.6 の資料集について説明します。
- 本書は、Senju Service Manager システムをインストールまたは利用する前に一読して下さい。なお、万一ご不明な点や記載誤り・漏れなど、お気づきの点がございましたら弊社までお知らせ下さい。
- 本書に記載した内容は予告無く変更することがあります。
- 本書の内容の一部または全部を無断でコピーすることは法律で禁止されています。
- Senju Operation Conductor、Senju DevOperation Conductor、EX 千手/EXSENJU、千手/SENJU および e-千手/e-SENJU は、株式会社野村総合研究所の登録商標です。  
Adobe 及び Acrobat は、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の商標です。  
Microsoft Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及び他の国における登録商標です。  
ORACLE は、米国 Oracle Corporation の登録商標です。  
Oracle Developer/2000 は、米 Oracle Corporation の登録商標です。  
Oracle Applications は、オラクル社の商標です。  
UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。  
Intel および Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。  
iPhone は Apple Inc.の登録商標です。  
PostgreSQL は、PostgreSQL の米国およびその他の国における商標または登録商標です。  
Mattermost は、Mattermost, Inc. の登録商標です。  
Redmine は、Jan Schulz-Hofen 及び Jean-Philippe Lang の商標または登録商標です。  
JIRA は、Atlassian Pty Ltd. の米国およびその他の国における登録商標もしくは商標です。  
その他のすべての会社名や製品名は、それぞれの会社の商標、登録商標または、サービスマークです。
- 本書では、便宜上 Microsoft 社の Windows ファミリーを Windows と表記しています。  
また、特に断りが無い場合、Windows NT とは”Windows NT Workstation””Windows NT Server”を、Windows 2000 とは”Windows 2000 Professional””Windows 2000 Server””Windows 2000 Advanced Server”を、Windows XP とは”Windows XP Professional”を、Windows Server 2003 とは”Windows Server 2003 Standard Edition””Windows Server 2003 Enterprise Edition”を、Windows Vista とは”Windows Vista Ultimate””Windows Vista Business”を、Windows 7 とは”Windows 7 Ultimate””Windows 7 Professional”を、Windows 8.1 とは”Windows 8.1 Pro”を、Windows 10 とは”Windows 10 Pro”を、Windows Server 2008 とは”Windows Server 2008 Standard Edition””Windows Server 2008 Enterprise Edition”、Windows Server 2012 とは”Microsoft Windows Server 2012 Standard Edition”を、Windows Server 2016 とは”Microsoft Windows Server 2016 Standard Edition”を、Windows Server 2019 とは”Microsoft Windows Server 2019 Standard Edition”、”Microsoft Windows Server 2019 Datacenter Edition”を、Windows Server 2022 とは”Microsoft Windows Server 2022 Standard Edition”、”Microsoft Windows Server 2022 Datacenter Edition”、”Microsoft Windows Server 2022 Datacenter: Azure Edition”を指します。
- 本書では、便宜上、Senju Service Manager を SSM、Senju Operation Conductor を SOC、Senju Enterprise Navigator を SEN と表記している箇所があります。また、Senju DevOperation Conductor と Senju Operation Conductor を合わせて Senju Operation Conductor と表記しています。

発行日 2024 年 3 月 29 日

第 1.0.8 版

著作、編集、発行  
お問合せ先

**株式会社野村総合研究所**

マルチクラウドインテグレーション事業本部

クラウド運用ソリューション事業部

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 4-4-1 横浜野村ビル

Copyright © Nomura Research Institute, Ltd.

TEL : 0120-736-580

E-mail : senjuinfo@nri.co.jp

URL : <http://senjufamily.nri.co.jp/>

本マニュアルの一部又は全部を無断で複製する事を禁じます。

Senju Service Manager 2023.0.6 .....	1-1
1 資料集 .....	1-7
1.1 制限事項 .....	1-7
1.1.1 Senju Service Manager システム .....	1-7
1.1.2 SSM DB サーバー/SSM WEB サーバー .....	1-11
1.1.3 API サーバー .....	1-12
1.1.4 Senju Service Manager クライアント .....	1-13
1.1.5 画面操作時の件数制限 .....	1-14
1.1.6 画面表示時の表示制限 .....	1-19
1.1.7 マスタデータの編集制限 .....	1-22
1.1.8 マスタデータの削除・無効時の影響 .....	1-26
1.1.9 画面項目の入力制限 .....	1-29
1.1.9.1 ホーム .....	1-30
1.1.9.2 プロセス管理 .....	1-31
1.1.9.3 イベント管理 .....	1-31
1.1.9.4 問合せ・申請 .....	1-31
1.1.9.5 構成管理 .....	1-32
1. ID 管理（共通） .....	1-32
2. ID 管理（画面毎） .....	1-32
3. 構成管理 .....	1-34
1.1.9.6 ナレッジ .....	1-34
1.1.9.7 Senju Family 連携 .....	1-35
1.1.9.8 共通ダイアログ .....	1-37
1.1.9.9 管理者メニュー .....	1-39
1. 制限情報 .....	1-39
2. 画面 .....	1-39
3. ユーザー .....	1-41
4. マスタ .....	1-42
5. 機能別 .....	1-44
1.1.10 コンフィグレータの登録件数制限 .....	1-52
1.1.10.1 SSM DB サーバーコンフィグレータ .....	1-52
1.1.11 Amazon for Oracle Database/PostgreSQL Database のご利用における制限 .....	1-53
1.2 機能別の参考資料 .....	1-54
1.2.1 ステータス一覧 .....	1-54
1.2.2 メール送信仕様まとめ .....	1-56
1.2.2.1 送信メール一覧 .....	1-56
1.2.2.2 制限事項一覧 .....	1-59
1. 共通（手動送信メール、自動送信メール、コマンド送信メール） .....	1-59
2. 手動送信メール .....	1-60
3. 自動送信メール .....	1-61
4. コマンド送信メール .....	1-64
5. イベント連携送信メール .....	1-64
1.2.2.3 置換文字列一覧（メールテンプレート） .....	1-65
1.2.2.4 置換文字列一覧（メールテンプレート（自動送信）） .....	1-66
1. 自動送信メール（エスカレーション） .....	1-66
2. 自動送信メール（プロセス管理：承認依頼～却下、問合せ～完了、一時停止解除実施依頼（通	

知)) .....	1-67
3. 自動送信メール (ナレッジ: 承認依頼~却下) .....	1-70
4. 自動送信メール (申請状況通知コマンド) .....	1-71
5. 自動送信メール (自動メール通知コマンド) .....	1-73
6. 自動送信メール (プロセスタスクリストエスカレーション) .....	1-74
1.2.2.5 ケーススタディ (メール送信フロー) .....	1-76
1. 手動メール送信 .....	1-77
2. 問合せ・エスカレーション .....	1-78
3. 問合せ・エスカレーション: 補足「未回答で完了」 .....	1-79
4. 承認フロー .....	1-80
5. 承認フロー: 補足「却下」 .....	1-81
6. 承認フロー: 補足「差戻し」 .....	1-81
7. 承認フロー: 補足「承認フロー完了通知項目」 .....	1-82
8. 申請者/現在対応者にコマンドでメール送信 .....	1-83
9. (自動メール通知機能) コマンドでメール通知 .....	1-84
10. (自動メール通知機能) コマンドでクローズメール通知 .....	1-86
1.2.2.6 ケーススタディ (自動メール通知ルートの適用) .....	1-87
1. 基本仕様 .....	1-87
2. 自動メール通知ルートが適用されていた場合の仕様 .....	1-87
1.2.2.7 証明書のインストール (SMTPS 認証によるメール送信用の設定) .....	1-89
1.2.3 構成アイテム (構成管理) 仕様まとめ .....	1-93
1.2.3.1 時制 (表示形式) 仕様 .....	1-93
1. 表示対象の説明 .....	1-93
2. 表示対象の関連イメージ .....	1-94
1.2.3.2 レコードの登録パターン .....	1-95
1. 適用処理が必要なパターン .....	1-95
2. 適用処理が不要なパターン .....	1-95
1.2.3.3 ケーススタディ (レコードの登録パターン) .....	1-96
1. Web 画面から新規予定起票~適用まで .....	1-98
2. Web 画面から変更予定起票~適用まで .....	1-99
3. Web 画面から削除予定起票~適用まで .....	1-100
4. コマンドから承認不要の新規予定を起票~適用まで .....	1-101
5. コマンドから承認不要の変更予定を起票~適用まで .....	1-102
6. コマンドから承認不要の削除予定を起票~適用まで .....	1-103
7. コマンドから新規反映にて現在の構成に即反映 .....	1-104
8. コマンドから変更反映にて現在の構成に即反映 .....	1-105
9. コマンドから削除反映にて現在の構成に即反映 .....	1-108
1.2.3.4 レコードの紐づけ仕様 .....	1-109
1. 接続先機器と接続機器 (構成管理間の紐づき) .....	1-109
2. 関連機器 (構成管理間の紐づき) .....	1-111
3. 関連構成 (構成管理間の紐づき) .....	1-111
4. 関連構成 (プロセス ⇒ 構成管理の紐づき) .....	1-112
5. 申請対象機器 (構成管理 ⇔ プロセス間の紐づき) .....	1-113
6. 関連要員 (構成管理 ⇔ 要員管理の紐づき) .....	1-114
1.2.3.5 自動集計機能 .....	1-115
1. 機器階層管理による自動計算用の項目 .....	1-115
1.2.4 外部チェック機能の WEBAPI 仕様まとめ .....	1-116

1.2.4.1	外部チェック機能の処理フロー	1-116
1.2.4.2	チェック API (貴社で作成いただく場合)	1-117
1.	処理概要 (必要な機能)	1-117
2.	リクエスト URI	1-117
3.	入力インターフェース	1-118
4.	出力インターフェース	1-119
1.2.4.3	チェック結果登録 API (SSM で提供する API)	1-120
1.	処理概要	1-120
2.	リクエスト URI	1-120
3.	入力インターフェース	1-120
4.	出力インターフェース	1-121
1.2.5	Webhook 送信仕様まとめ	1-122
1.2.5.1	置換文字列一覧	1-122
1.2.6	レスポンス受信アクションの WEBAPI 仕様まとめ	1-124
1.2.6.1	レスポンス受信アクションの処理フロー	1-124
1.	プロセスを更新する・履歴情報を記録する	1-124
2.	ダイアログを表示する	1-126
3.	トリガーアクションをキャンセルする	1-127
1.2.6.2	外部 WEBAPI	1-127
1.	処理概要 (必要な機能)	1-127
2.	リクエスト URI	1-127
3.	入力インターフェース	1-128
4.	出力インターフェース	1-128
1.2.7	WEBAPI 連携(プロセス管理入力)の WEBAPI 仕様まとめ	1-132
1.2.7.1	WEBAPI 連携(プロセス管理入力)の処理フロー	1-132
1.2.7.2	外部 WEBAPI	1-132
1.	処理概要 (必要な機能)	1-132
2.	リクエスト URI	1-132
3.	入力インターフェース	1-133
4.	出力インターフェース	1-134
1.2.8	API 連携用テキストの WEBAPI 仕様まとめ	1-136
1.2.8.1	API 連携用テキストの処理フロー	1-136
1.2.8.2	外部 WEBAPI	1-136
1.	処理概要(必要な機能)	1-136
2.	リクエスト URI	1-136
3.	入力インターフェース	1-136
4.	出力インターフェース	1-138
1.3	Senju Service Manager のログ情報	1-139
1.3.1	ログ情報の種類と内容	1-139
1.3.1.1	システムログ (sjSPB_system.log)	1-139
1.3.1.2	ユーザー操作ログ	1-140
1.3.1.3	コンフィグレータ操作ログ	1-140
1.3.1.4	アウトバウンドシステムログ	1-140
1.3.1.5	Dotnet システムログ (sjSPB_System_Dotnet.log)	1-141
1.3.1.6	プロセス更新 COM ログ	1-141
1.3.2	ブルートフォース攻撃対策	1-142
1.3.2.1	ブルートフォース攻撃	1-142

1.3.2.2	Senju Service Manager で確認できるログ	1-142
1.3.2.3	Senju Service Manager で可能な対策	1-143
1.4	Senju カスタマーサポートセンターにお問合わせの場合に	1-144
1.4.1	情報取得依頼	1-144
1.4.1.1	SSM DB サーバーで取得するログ	1-144
1.4.1.2	SSM WEB サーバーで取得するログ	1-146
1.4.1.3	Senju Enterprise Navigator サーバーで取得するログ	1-146
1.4.1.4	クライアント端末で取得するログ	1-147
1.4.2	QA 集	1-149
1.5	用語集	1-157
1.5.1	システム全般	1-157
1.5.2	プロセス関連	1-159
1.5.3	外部連携	1-160
1.6	アイコン集	1-161
1.6.1	アイコン一覧	1-161
1.6.1.1	ボタンアイコン対応表	1-161

# 1 資料集



仕様補足

データベースにPostgreSQLを利用時の設定不要な機能については、「★」マークで示します。

## 1.1 制限事項

稼働環境および画面登録／画面表示／画面項目／各種制御値についての制限を以下に示します。

### 1.1.1 Senju Service Manager システム

- 1) SSM DB サーバー、SSM WEB サーバー及び Senju Service Manager クライアントの OS システム日時は同一として下さい。
- 2) SSM DB サーバー及び SSM WEB サーバーが稼働するノードでの、OS システム日時の変更には注意して下さい。特に時間を戻す場合には、登録日時等の不整合が発生する可能性があります。
- 3) ユーザーの氏名にセミコロンを使用すると、メール送信が行えません。ユーザーの氏名にはセミコロンを使用しないよう設定して下さい。
- 4) ユーザーの認証方法に Active Directory 認証を使用するユーザーについて、パスワードの最初もしくは最後に半角スペースが含まれるパスワードはサポートしていません。認証エラーとなります。
- 5) Active Directory 認証を利用しているユーザーが存在する場合、Active Directory のユーザーのプロパティで、アカウントオプションに「対話型ログオンにはスマートカードが必要」にチェックをつけた後に、当該ユーザーのパスワードを一度変更する必要があります。チェックを付け直すたびにパスワードの変更が必要です。シングルサインオン機能を利用しない場合、既に Senju Service Manager へログインしている状態で、自動送信メールに記載される URL をクリックした場合、別のウィンドウで新しく Senju Service Manager のログイン画面が起動し、再度ログインを行う必要があります。ログイン中の Senju Service Manager で、URL に指定されている詳細情報を表示することはできません。シングルサインオン機能を利用した場合、再度ログインすることなく、URL に指定されている詳細情報を表示することができます。
- 6) Senju Service Manager システムは以下の場合、正常な動作を保証しません。また製品サポートの対象外となりますのでご注意ください。
  - ・ Senju Service Manager システムのディレクトリ配下のファイルをユーザーズガイドで記述された以外の手順で操作した場合。
  - ・ Senju Service Manager システムのディレクトリ配下に Senju Service Manager システム以外のアプリケーションで使用するファイルを配置した場合。  
(ディレクトリ構成はユーザーズガイド「01.Senju Service Manager システム導入にあたって」をご確認ください)
  - ・ Senju Service Manager システムが Oracle Database または PostgreSQL Database に作成するユーザー「ccfsp」が管理するオブジェクトやテーブルのレコードをユーザーズガイドで記述された以外の手順で操作した場合。
  - ・ ローカルセキュリティポリシー > セキュリティの設定 > ローカルポリシー > セキュリティオプションの、[ユーザーアカウント制御: 管理者承認モードですべての管理者を実行する]を有効にした状態は、サポートしていません。
- 7) プロキシサーバーを経由して Senju Service Manager の Web 画面にアクセスする場合、プロキシサーバーの SSM WEB サーバーからの応答待機時間は IIS のスクリプトタイムアウトの値より大きな値を設定してください。これより小さな値を設定した場合、プロキシサーバーの

応答待機時間を超える処理時間の操作が行えません。またプロキシサーバーの応答待機時間を超過した時、プロキシサーバーにより要求が二重に送信される可能性があり、**Senju Service Manager** が正常に動作しないことがあります。

- 8) 一覧検索の表示順指定などにおいてレコードの順序を決定する際に使用している Database により同じ順序にならない場合があります。これは Oracle と PostgreSQL のソート基準が違うためで、それぞれの Database は以下の順序でソートを行います。
- ・ Oracle の場合：データベースキャラクタセットのバイナリ式の順序
  - ・ PostgreSQL の場合：日本語辞書 (Japanese\_Japan.932) の順序
- 9) コマンド送信メールやイベント連携送信メールを利用されている場合は「メール送信時の接続形態」で以下の設定値が利用できません。
- ・ 管理者メニュー > 制御情報  
メニュー区分：共通  
制御グループ：共通

管理項目名	設定値
メール送信時の接続形態	SMTP(STARTTLS)+SMTP 認証を使用しない SMTP(STARTTLS)+SMTP 認証を使用する

以下の設定値は利用可能となります。

- ・ SMTP+SMTP 認証を使用しない
  - ・ SMTP+SMTP 認証を使用する
  - ・ SMTPs+SMTP 認証を使用しない
  - ・ SMTPs+SMTP 認証を使用する
- 10) ウイルス対策製品をインストールした場合、パフォーマンスの影響や動作不調を避けるために、下記アプリケーションやミドルウェアのフォルダやファイルをリアルタイム検索から除外していただく必要があります。



製品	OS	除外するパス・ファイル
SSMDB サーバー		
Senju/SM	Windows	%CCFSPDBHOME% 配下
SSMWEB サーバー		
Senju/SM	Windows	%CCFSPWEBHOME% 配下
IIS	Windows	%SystemRoot%\¥System32¥inetsrv 配下
		%SystemDrive%\¥inetpub 配下
		%SystemRoot%\¥System32¥LogFiles¥HTTPERR 配下
		%SystemRoot%\¥Microsoft.NET¥Framework¥<.NET Framework のバージョン> (32bit) 配下
Dotnet-hosting	Windows	C:¥Program Files¥dotnet 配下
		C:¥Program Files¥IIS¥ASP.Net Core Module 配下
Database サーバー		
Oracle	Windows	<表領域データファイル出力先>¥*.dbf (※1)
		<表領域データファイル出力先>¥*.ctl (※1)
		<インベントリ・ディレクトリ>¥logs 配下の *.log (※2)
	Linux	<インベントリ・ディレクトリ>¥logs 配下の *.rdo (※2)
		<インベントリ・ディレクトリ>¥logs 配下の *.arc (※2)
		<表領域データファイル出力先>/*.dbf (※1)
Linux	<表領域データファイル出力先>/*.ctl (※1)	
	<インベントリ・ディレクトリ>/logs 配下の *.log (※3)	
	<インベントリ・ディレクトリ>/logs 配下の *.rdo (※3)	
PostgreSQL	Windows	C:¥Program Files¥PostgreSQL¥<対象のバージョン> 配下
		C:¥Program Files¥psqlODBC 配下
Elasticsearch サーバー		
Elasticsearch	Linux	/etc/elasticsearch/ およびその配下
		/usr/share/elasticsearch/ およびその配下
		/var/lib/elasticsearch/ およびその配下
		/var/log/elasticsearch/ およびその配下
	Windows	<Elasticsearch のインストールパス> 配下
Logstash	Linux	/etc/logstash/ およびその配下
		/opt/logstash/ およびその配下
		/usr/share/logstash/ およびその配下
		/var/lib/logstash/ およびその配下
	Windows	<Logstash のインストールパス> 配下
API サーバー		
API	Windows	<仮想環境のインストールパス> 配下
Apache	Windows	<Apache のインストールパス> 配下
Kibana サーバー		
Kibana	Windows	<Kibana のインストールパス> 配下
※1 <表領域データファイル出力先>は、 [インストールガイド]1.7.1.3 データベース設定コマンドの実行にて SetupSSMDB.cmd コマンドで指定したパスです。		
※2 Windows の <インベントリ・ディレクトリ> は、下記フォルダとなります。 C:¥Program Files¥Oracle¥Inventory		
※3 Linux の <インベントリ・ディレクトリ> は [インストールガイド]		

製品	OS	除外するパス・ファイル
1.4.8 Redhat Enterprise Linux 8.x/Oracle Linux 8.x(Oracle 19c Database)のインストールにて「インベントリの作成」で指定したパスです。		

## 1.1.2 SSM DB サーバー/SSM WEB サーバー

- 1) SSM DB サーバー及び SSM WEB サーバーが稼働するノードでは、サスペンド機能はオフにしてください。
- 2) SSM DB サーバー及び SSM WEB サーバーが稼働するノードでは、メディア検出機能をオフに設定する事を推奨します。メディア検出機能は、Windows のレジストリキー「DisableDHCPMediaSense」で設定します。値は 0 がオン、1 がオフを意味します。
  - [スタート]—[ファイル名を指定して実行] から regedit を起動します。
  - HKEY\_LOCAL\_MACHINE\System\CurrentControlSet\Services\Tcpip\Parameters を開きます。
  - [編集]—[新規]—[DWORD 値] をクリックし、DisableDHCPMediaSense 値を作成します。
  - DisableDHCPMediaSense をダブルクリックし、データに 1 を設定して「OK」をクリックします。
  - Windows を再起動します。
- 3) SSM DB サーバーコンフィグレータの「基本設定」→「ユーザー設定」におけるユーザー情報のインポートまたはエクスポート用ファイルを選択するダイアログにて、左側の「マイコンピュータ」アイコンを選択した場合、右側のファイルリストが表示されません。「マイコンピュータ」アイコンは使用しないで下さい。
- 4) SSM DB サーバーもしくは Oracle または PostgreSQL の停止/起動を行なう場合は、Oracle または PostgreSQL の起動後に以下の操作を行ってください。

<Windows Server 2012>  
「CCFSP Process Manager」 「Windows Process Activation Service」サービスの再起動を実施して下さい。

<Windows Server 2016, 2019>  
「CCFSP Process Manager」 「Windows プロセス アクティブ化サービス」サービスの再起動を実施して下さい。

SSM DB サーバーコンフィグレータもしくは SSM WEB コンフィグレータ起動中にデータベースを再起動した場合、保存処理が正常に行われないう可能性があります。データベースに関するエラーが出力された場合、両コンフィグレータで再度設定を行い、保存して下さい。
- 5) ユーザーアカウント制御(UAC:User Account Control)機能を“オン”にした状態は、サポートしていません。

## 1.1.3 API サーバー

---

API サーバーの制限事項については、API 連携機能ガイド「1.8 制限事項」を参照してください。

## 1.1.4 Senju Service Manager クライアント

- 1) Senju Service Manager を利用する Windows ユーザーアカウントには Users 権限以上の権限を付与してください。
- 2) Web ブラウザの画面表示は 100%を推奨しております。  
100%以外を指定した場合、レイアウト崩れが発生する可能性があります。
- 3) Windows OS のフォントサイズは「標準」に設定して下さい。  
その他のフォントサイズでの表示はサポートしていません。
- 4) Yahoo!ツールバーや Google ツールバー等のブラウザのアドオンツールがインストールされている場合、検索ツールバーを非表示にするか、Senju Service Manager のサイトをセキュリティチェック機能の例外サイトに指定してください。クライアントファイアウォールなど、アプリケーション毎に通信設定を行うソフトウェアをインストールしている場合、Excel の通信許可を設定して下さい。Excel の通信許可が付与されていない場合、帳票出力機能が動作しません。
- 5) 一台の Senju Service Manager クライアントで、複数の Senju Service Manager 画面を起動することはサポートしていません。一台の Senju Service Manager クライアントでは、一つの Senju Service Manager 画面のみ起動して下さい。
- 6) 一台の Senju Service Manager クライアントで、複数ユーザーが同時にログインを行い使用することはサポートしていません。
- 7) 「F5」キーによる更新、「Back Space」キーによる操作、及びブラウザの「戻る」ボタンによる操作はサポートしていません。
- 8) Senju Service Manager 画面に対して連続的にボタンを押下した場合などに、正しく画面が表示されない場合や同じレコードが複数登録される場合があります。1回の操作により画面が表示されるまで待つてから、次の操作を実行して下さい。
- 9) 同時に起動するウィンドウは 20 個を目安として下さい。多くのウィンドウを起動した場合、表示や操作に時間が掛かったり、正しく表示されない事があります。
- 10) 入力文字にタブを使用した場合、Web ブラウザの仕様により画面表示上では半角スペースのように表示される事があります。入力文字にはタブを使用しないで下さい。
- 11) EXCEL 帳票では Microsoft Excel のワークシートのサイズの最大値を超えたレコード数を出力することはできません。
- 12) EXCEL 帳票では、Microsoft Excel のセルの最大文字数を超える文字列は表示できません。
- 13) リッチテキスト項目には 1000 万バイトまで入力することが可能ですが、4000 バイトを目安として下さい。大量データを入力した場合、クライアント環境のスペックによっては表示や操作に時間が掛かったり、正しく表示されないことがあります。

## 1.1.5 画面操作時の件数制限

各画面において、データを登録、入力する際の制限事項を以下に示します。



補助設定

変更が「○」の管理項目は設定を変更することができます。

設定画面
[管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報]

変更が「×」の管理項目は初期値に記載された値から変更することはできません。



仕様補足

※1：ユーザーの登録最大件数のチェックは以下の通り行われます。

- ・上限値のチェックはステータスが“有効”のユーザーにのみ行われます。ステータスが“無効”のユーザーには上限はありません。
- ・ユーザーのアカウント区分がサービスデスクユーザー（固定）、エンドユーザーの場合、上限値はライセンス数に依ります。
- ・サービスデスクユーザー（同時接続）の上限値は初期値より変更できません。
- ・サービスデスクユーザー（同時接続）が同時にログインできる最大件数はライセンス数に依ります。



仕様補足

※2：プロセス管理画面の以下の項目のみ、1コード種別に登録可能な有効コード件数が10000件となります。

- ・コンボボックス 1～40
- ・種別設定元コンボボックス 1～10
- ・ブロック制御コンボボックス 1～3
- ・サブステータス



仕様補足

※3：「レスポンス受信アクション」が有効な Webhook 送信設定の最大件数は Webhook 連携ライセンス数に依ります

メインメニュー	サブメニュー	画面名	管理項目名	変更	初期値	上限値
通常メニュー						
共通	共通	共通	添付ファイル最大サイズ(MB)	×	50	-
			添付ファイル名最大サイズ(Byte)	×	100	-
			添付ファイル添付可能最大件数	○	5	10
			一覧帳票出力同時実行最大件数	○	3	10
			一覧帳票出力上限件数・プロセス管理、簡易プロセス	○	1000	10000
			一覧帳票出力上限件数・構成アイテム管理	○	1000	10000
			一覧帳票出力上限件数・構成管理	○	1000	10000
			一覧帳票出力上限件数・タスク一覧	○	1000	10000
			一覧帳票出力上限件数・FAQ	○	1000	10000
			一覧帳票出力上限件数・SLAM チャート一覧	○	1000	10000
			一覧帳票出力上限件数・SLAM チャート SSA	○	1000	10000
			一覧帳票出力上限件数・フレーム・ネット・ジョブ申請	○	1000	10000
			検索条件: 保存可能最大件数 ※1 ユーザーあたり(各画面毎)	×	20	-
			検索条件: 選択可能システム件数	×	300	-
			検索条件: コード項目選択可能最大件数	×	10	-
			検索条件: 分類最大選択数	×	100	-
			登録可能最大件数・ブックマーク	×	100	-
			登録可能最大件数・問合せ元マスタ	×	200000	-
			登録可能最大件数・グループ主担当	×	300	-
			登録可能最大件数・エスカレーション先保存リスト ※1 ユーザーあたり	×	20	-
			一括登録ファイル名最大サイズ(Byte)	×	100	-

メインメニュー	サブメニュー	画面名	管理項目名	変更	初期値	上限値
			一括登録ファイル最大サイズ(MB)	×	50	-
			選択可能最大件数・ノード選択済リスト	×	1000	-
			選択可能最大件数・一括承認	×	100	-
			選択可能最大件数・一括クローズ	×	100	-
			使用可能最大件数・表示順変更ダイアログ	×	1000	-
ホーム	伝言メモ	伝言メモ	選択最大件数・伝言メモ送信先ユーザー	×	100	-
問合せ・申請	問合せ・申請	簡易プロセス	登録可能最大件数・簡易プロセスフォーム	×	100	-
プロセス管理/ 問合せ・申請	プロセス管理/ 問合せ・申請	プロセス/ 簡易プロセス	選択可能システム件数・新規登録時	×	50	-
			選択可能システム件数・編集時	×	1	-
			登録可能最大件数・経過レコード	○	100	500
			登録可能最大件数・プロセスタスクリストの経過レコード	○	100	500
			選択可能最大件数・エスカレーション先ユーザー	×	100	-
			選択可能最大件数・エスカレーション通知先ユーザー	×	100	-
			選択ユーザー1・2項目選択可能最大件数	×	100	-
			登録可能最大件数・関連プロセス	×	100	-
			登録可能最大件数・関連ナレッジ	×	100	-
			登録可能最大件数・関連構成アイテム	×	100	-
			登録可能最大件数・関連アカウント	×	100	-
			登録可能最大件数・関連構成	×	200	-
			登録可能件数・申請対象機器	○	1	50
			登録可能最大件数・確認情報	○	20	200
			登録可能最大件数・コマンド実行	×	10	-
			登録可能最大件数・ランブック実行	×	10	-
			登録可能最大件数・チェックリスト・簡易チェックリスト	×	20	-
			登録可能最大件数・フレーム・ネット・ジョブ一時停止	×	10	-
			登録可能最大件数・フレーム・ネット・ジョブスキップ/解除	×	10	-
			登録可能最大件数・ネット・ジョブ起動時刻変更	×	10	-
			登録可能最大件数・業務グループ起動時刻変更	×	10	-
			選択可能最大件数・フレーム・ネット・ジョブ検索、接続先名	×	10	-
			登録可能最大件数・外部リンク	×	100	-
			登録可能最大件数・外部リンク履歴	×	100	-
			登録可能最大件数・評価レコード	×	1	-
			選択可能件数・申請対象機器	○	1	50
			承認申請可能最大回数(回)	○	1	100
			プロセスの各表項目の登録可能最大件数	○	100	100
			新規画面の各表項目の初期表示の行数	○	1	100
構成管理	ID管理	構成アイテム管理	選択可能システム件数・新規登録時	×	50	-
			選択可能システム件数・編集時	×	1	-
			登録可能最大件数・関連構成アイテム	×	100	-
			登録可能最大件数・関連アカウント	×	100	-
			登録可能最大件数・利用計画関連情報	×	1	-
		アカウント管理	選択可能システム件数・新規登録時	×	50	-
			選択可能システム件数・編集時	×	1	-
			登録可能最大件数・関連構成アイテム	×	100	-
			登録可能最大件数・関連アカウント	×	100	-
		共通 (コメント入力)	登録可能最大件数・利用計画関連情報	×	1	-
	選択可能最大件数・利用者項目		×	100	-	
	選択可能最大件数・申請者項目		×	100	-	
	選択可能最大件数・承認者項目		×	100	-	
	登録可能最大件数・承認者項目		×	100	-	
	構成管理	構成アイテム管理	選択可能システム件数・新規登録時	×	50	-
			選択可能システム件数・編集時	×	1	-
			選択ユーザー1~10項目選択可能最大件数	×	1	-
			登録可能最大件数・関連要員	○	1	50
			登録可能最大件数・関連構成	×	10000	-
登録可能最大件数・関連機器			×	1	-	
登録可能最大件数・接続先機器			×	50	-	
登録可能最大件数・接続機器			×	50	-	
登録可能最大件数・接続機器			×	50	-	

メインメニュー	サブメニュー	画面名	管理項目名	変更	初期値	上限値	
			親子関係上限件数・機器階層管理設定	×	3	-	
			一括登録可能最大件数	×	50	-	
			一括登録ファイル最大サイズ(MB)	×	50	-	
ナレッジ	既知エラー	既知エラー	選択可能システム件数・新規登録時	×	50	-	
			選択可能システム件数・編集時	×	1	-	
			登録可能最大件数・関連ナレッジ	×	100	-	
			登録可能最大件数・関連構成アイテム	×	100	-	
			登録可能最大件数・関連アカウント	×	100	-	
	FAQ	FAQ	選択可能システム件数・新規登録時	×	50	-	
			選択可能システム件数・編集時	×	1	-	
			登録可能最大件数・関連ナレッジ	×	100	-	
			登録可能最大件数・関連構成アイテム	×	100	-	
			登録可能最大件数・関連アカウント	×	100	-	
	リンク集	リンク集	選択可能システム件数・新規登録時	×	50	-	
			選択可能システム件数・編集時	×	1	-	
ファイルライブラリ	ファイルライブラリ	選択可能システム件数・新規登録時	×	50	-		
		選択可能システム件数・編集時	×	1	-		
外部連携	Senju Family 連携	フレーム・ネット・ジョブ申請一覧	選択可能最大件数・コード項目	×	10	-	
			業務グループ定義	登録件数・1 業務グループ定義のジョブ	×	10	-
		登録可能最大件数	×	2000	-		
管理者メニュー							
制御情報	制御情報	認証サーバー	登録可能最大件数	×	500	-	
ユーザー	ユーザー	ユーザー	登録可能最大件数	サービスデスクユーザー(固定)	×	※1	-
				サービスデスクユーザー(同時接続)	×	50000 ※1	-
				エンドユーザー	×	※1	-
			ユーザー所属可能最大システム数	×	1000	-	
			ユーザー使用可能最大職責数	×	500	-	
			ユーザー所属可能最大システム数×職責数	×	3000	-	
			ユーザー所属可能最大チーム数	×	500	-	
			ユーザー所属可能最大チーム×役割数	×	500	-	
			選択可能最大件数・代理承認者	×	300	-	
			権限	グループ	グループ	登録可能最大件数	×
	画面ポリシー	×				500	-
	職責	×				500	-
	チーム	×				1000	-
	役割	×				200	-
	メンテナンス権限(共通)	×				1000	-
	メンテナンス権限(システム別)	×				1000	-
	マスタ	システム	システム	登録可能最大件数	×	1000	-
選択可能最大件数・オーナーユーザー				×	100	-	
選択可能最大件数・担当ユーザー				×	100	-	
一括登録ファイル最大サイズ(MB)				×	100	-	
基本情報一括登録可能最大件数				×	999	-	
管理者情報一括登録可能最大件数				×	1000	-	
コード		コード	コード	1コード種別配下登録可能最大件数	×	20000	-
				1コード種別に登録可能な有効コード件数 ※ステータスが無効なコードと合わせて20000件登録可能	×	500 ※2	-
				1コード種別に登録可能な有効コード件数 ※ステータスが無効なコードと合わせて20000件登録可能	×	2	-
				1コード種別に登録可能な有効コード件数 ※ステータスが無効なコードと合わせて20000件登録可能	×	50	-
分類	分類	分類	登録可能最大件数 ※1 分類種別 1 画面 1 システムあたり	×	10000	-	



メインメニュー	サブメニュー	画面名	管理項目名	変更	初期値	上限値	
			登録可能な大分類数 ※1 分類種別 1画面 1システムあたり	×	100	-	
			登録可能な配下の分類数 ※1 分類あたり	×	300	-	
	会社・組織	会社	登録可能最大件数	×	1000	-	
		組織	登録可能最大件数 ※1 会社あたり	○	1000	30000	
	問合せ元	問合せ元 ※問合せ元 2 も 同様	問合せ元登録可能最大件数(件)	×	200000	-	
			一括登録ファイル最大サイズ(MB)	×	50	-	
			問合せ元マスター一括登録可能最大件数(件)	○	1000	-	
	祝祭日	祝祭日	登録可能最大件数	×	500	-	
	機能別	帳票	帳票出力文字 変換制御	変換文字の登録可能最大件数(件) ※ステータスが有効、無効に関わらず登録されている全レコードが対象	×	100	-
		メール送信設定	送信元設定	登録可能最大件数 ※ステータスが有効、無効に関わらず登録されている全レコードが対象	×	100	-
メールアドレス チェック設定			登録可能最大件数	×	100	-	
メールテンプレート		メールテンプレート	登録可能最大件数 ※1 画面あたり	×	1000	-	
		メールテンプレート (自動送信)	登録可能最大件数 ※1 画面 1システム 1メールアクションあたり	×	1	-	
承認フロー		承認フロールート	登録可能最大件数	×	1000	-	
			設定可能最大ルート数 ※1 承認フロールート内の最大ルート数	×	20	-	
			登録可能ユーザー最大件数 ※1 ルート内の承認者及び通知先毎の最大件数	×	100	-	
			登録可能職責最大件数 ※1 ルート内の承認者及び通知先毎の最大件数	×	100	-	
			登録可能役割最大件数 ※1 ルート内の承認者の最大件数	×	100	-	
		承認フロー	登録可能最大件数	×	1000	-	
SLAM チャート		SLAM チャート 抽出条件設定	登録可能最大件数	×	5000	-	
			選択可能最大件数・コード項目	×	10	-	
			SLAM チャート抽出条件一括登録可能最大件数 (件)	×	1000	-	
チェックリスト		チェックリスト設定	登録可能最大件数	×	5000	-	
		チェックリスト 条件設定	登録可能最大件数	×	10000	-	
			選択可能最大件数・コード項目	×	50	-	
		チェックリスト 適用設定	登録可能最大件数 ※1 画面 1システムあたり	×	200	-	
		チェックリスト診断	登録可能最大件数	×	200	-	
			登録可能最大件数・診断パターン ※1 診断設定あたり	×	100	-	
選択可能件数・診断対象チェックリスト ※1 診断設定あたり			×	50	-		
自動メール 通知		自動メール 通知ルート設定	登録可能最大件数	×	500	-	
			登録可能ユーザー最大件数 ※1 ルート No あたり	×	100	-	
			登録可能職責最大件数 ※1 ルート No あたり	×	100	-	
		自動メール 通知条件設定	登録可能最大件数 選択可能最大件数・コード項目	×	2000	-	
		自動メール 通知適用設定	登録可能最大件数	×	10	-	
種別設定		種別データ設定	登録可能最大件数	×	500	-	
			登録可能最大件数	×	2000	-	
			選択可能最大件数・コード項目	×	10	-	
		種別適用設定	登録可能最大件数	×	50	-	
コード値別制御	コード自動選択 設定	1画面 1システムあたりに登録可能なコードの組み合わせ件数	×	25	-		

メインメニュー	サブメニュー	画面名	管理項目名	変更	初期値	上限値
	Senju/SM 間連携	Senju/SM 間連携先設定	登録可能最大件数	×	10	-
		Senju/SM 間連携元設定	登録可能最大件数	×	10	-
	外部ツール連携	ランブック テンプレート	登録可能最大件数 ※1 画面毎、有効・無効含む	×	100	-
			登録可能最大件数 ※1 画面毎、有効のみ	×	50	-
	業務ステータス	業務ステータスマスタ管理	登録可能ユーザー最大件数 ※1 ステータス内のエスカレーション先及び通知先毎の最大件数	×	100	-
			登録可能職責最大件数 ※1 ステータス内のエスカレーション先及び通知先毎の最大件数	×	100	-
	Webhook 連携	送信メッセージテンプレート	登録可能最大件数	×	1000	1000
			送信設定登録可能最大件数	×	3	3
		Webhook 送信設定	「レスポンス受信アクション」が有効な Webhook 送信設定の登録可能件数 ※3 Webhook 連携ライセンス数	×	-	-
	ナビゲーション設定	ナビゲーション設定管理	ナビゲーション設定登録可能最大件数	×	1000	1000
Senju/SM コマンド実行	Senju/SM コマンド実行	Senju/SM コマンド実行	Senju/SM コマンド実行の入出力ファイル最大サイズ(MB)	×	130	-

## 1.1.6 画面表示時の表示制限

各画面において、データを検索、参照する際の制限事項を以下に示します。



変更が「○」の管理項目は設定を変更することができます。

設定画面  
[管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報]

変更が「×」の管理項目は初期値に記載された値から変更することはできません。

メインメニュー	サブメニュー	画面名	管理項目名	変更	初期値	上限値		
通常メニュー								
共通	共通	共通	(共通)プロセスすべて一覧 1 ページ表示件数	×	10	-		
			(共通)ナレッジすべて一覧 1 ページ表示件数	×	10	-		
			(共通)会社選択ダイアログ 1 ページ表示件数	×	10	-		
			(スケジュール共通)週間スケジュール 1 ページ表示件数	×	10	-		
			(ID 管理共通)履歴一覧 1 ページ表示件数	×	10	-		
			関連選択済・接続一覧 1 ページ表示件数	○	100	500		
			リスト選択ダイアログ一覧 1 ページ表示件数(件)	×	500	-		
			業務グループ起動時刻変更申請状況のカレンダーから表示するプロセス詳細画面、最大表示件数	×	10	-		
ホーム	ホーム	ホーム	(ホーム)新規起票一覧部、表示件数	×	5	-		
			(ホーム)対応予定一覧部、表示件数	×	5	-		
			(ホーム)承認待ち一覧部、表示件数	×	5	-		
			(ホーム)問合せ一覧部、表示件数	×	5	-		
			(ホーム)申請一覧部、表示件数	×	5	-		
			(ホーム)お知らせ一覧部、表示最大件数	×	10	-		
			(ホーム)伝言メモ一覧部、表示最大件数	×	5	-		
			(ホーム)ToDo 一覧部、表示最大件数	×	5	-		
			(ホーム)代理承認一覧部、表示最大件数	×	5	-		
	(ホーム)問合せ・申請一覧、1 ページ表示件数	×	100	-				
	タスク	タスク	タスク	一覧 1 ページ表示件数	×	10	-	
				1 ユーザーあたりのタスク、表示最大件数	×	50	-	
				ユーザー毎タスク一覧、1 ページ表示件数	×	100	-	
				お知らせ	お知らせ	一覧 1 ページ表示件数	×	10
伝言メモ				伝言メモ	一覧 1 ページ表示件数	×	10	-
TODO	TODO	一覧 1 ページ表示件数	×	100	-			
代理承認	代理承認	一覧 1 ページ表示件数	×	10	-			
問合せ・申請	問合せ・申請	簡易プロセス	一覧 1 ページ表示件数	×	50	-		
イベント管理	イベント管理	イベント管理	一覧 1 ページ表示件数	×	500	-		
プロセス管理	プロセス管理	プロセス	一覧 1 ページ表示件数	○	10	100		
			対応一覧 1 ページ表示件数	○	100	100		
			エスカレーション履歴一覧 1 ページ表示件数	○	10	50		
			関連プロセス一覧最大表示可能階層数	×	5	-		
			確認情報一覧ダイアログ 1 ページ表示件数	×	10	-		
			問合せ元情報選択 1 ページ表示件数	○	10	50		
			フレーム・ネット・ジョブ検索、1 ページ表示件数	×	10	-		
			障害メッセージ制御連携結果一覧 1 ページ表示件数(件)	×	10	-		
			構成管理	ID 管理	要員管理	一覧 1 ページ表示件数	○	10
構成アイテム管理	一覧 1 ページ表示件数	○	10		100			
アカウント管理	一覧 1 ページ表示件数	○	10		100			
構成管理	構成アイテム管理	一覧 1 ページ表示件数	○	10	100			
ナレッジ	既知エラー	既知エラー	一覧 1 ページ表示件数	○	10	100		
			FAQ	FAQ	一覧 1 ページ表示件数	○	10	100
			ファイルライブラリ	ファイルライブラリ	一覧 1 ページ表示件数	○	10	100
			リンク集	リンク集	一覧 1 ページ表示件数	○	10	100
ナレッジダイアログ	既知エラー	既知エラー	一覧 1 ページ表示件数	○	10	100		
			ダイアログ上位表示件数	×	10	-		
			ダイアログ最新表示件数	×	10	-		
FAQ	FAQ	FAQ	一覧 1 ページ表示件数	○	10	100		

メインメニュー	サブメニュー	画面名	管理項目名	変更	初期値	上限値
	ファイルライブラリ	ファイルライブラリ	ダイアログ上位表示件数	×	10	-
			ダイアログ最新表示件数	×	10	-
			一覧1ページ表示件数	○	10	100
			ダイアログ上位表示件数	×	10	-
	リンク集	リンク集	ダイアログ最新表示件数	×	10	-
			一覧1ページ表示件数	○	10	100
			ダイアログ上位表示件数	×	10	-
	公開FAQ	公開FAQ	ダイアログ最新表示件数	×	10	-
	公開FAQ	公開FAQ	一覧1ページ表示件数	○	10	100
	サービスレベル	SLAM チャート	SLAM チャート詳細	SLAM チャート詳細ダイアログ1ページ表示件数	×	100
外部連携	Senju Family 連携	フレーム・ネット・ジョブ申請	フレーム・ネット・ジョブ申請一覧1ページ表示件数	○	10	50
		業務グループ定義	業務グループ定義一覧1ページ表示件数	×	10	-
		業務グループ選択	業務グループ選択一覧1ページ表示件数	×	10	-
管理者メニュー						
制御情報	認証サーバー	認証サーバー	一覧1ページ表示件数	○	10	100
画面	画面定義	画面使用設定	一覧1ページ表示件数	○	10	100
		メニュー	一覧1ページ表示件数	○	10	100
		入力文字制御	一覧1ページ表示件数	○	10	100
	ラベル	ラベル	一覧1ページ表示件数	○	500	500
ユーザー	ユーザー	ユーザー	一覧1ページ表示件数	○	10	100
	権限	グループ	一覧1ページ表示件数	○	10	100
		画面ポリシー	一覧1ページ表示件数	○	10	100
		職責	一覧1ページ表示件数	○	10	100
		チーム	一覧1ページ表示件数	○	10	100
		役割	一覧1ページ表示件数	○	10	100
		メンテナンス権限(共通)	一覧1ページ表示件数	○	10	100
		メンテナンス権限(システム別)	一覧1ページ表示件数	○	10	100
マスタ	システム	システム	一覧1ページ表示件数	○	10	100
		システムユーザー	一覧1ページ表示件数	○	10	100
	コード	コード	一覧1ページ表示件数	○	10	100
	分類	分類	一覧1ページ表示件数	○	10	100
			分類初期表示可能件数	×	100	-
	会社・組織	会社	一覧1ページ表示件数	○	10	100
		組織	一覧1ページ表示件数	○	10	100
	問合せ元	問合せ元 ※問合せ元2も同様	一覧1ページ表示件数	○	10	100
	祝祭日	祝祭日	一覧1ページ表示件数	○	10	100
	機能別	メール送信設定	送信メール参照	一覧1ページ表示件数	○	10
メールアドレスチェック設定			一覧1ページ表示件数	○	10	100
メールテンプレート		メールテンプレート	一覧1ページ表示件数	○	10	100
承認フロー		承認フロールート	一覧1ページ表示件数	○	10	100
		承認フロー	一覧1ページ表示件数	○	10	100
SLAM チャート		SLAM チャート設定	一覧1ページ表示件数	○	10	100
		SLAM チャート抽出条件設定	一覧1ページ表示件数	○	10	100
チェックリスト		チェックリスト設定	一覧1ページ表示件数	○	10	100
		チェックリスト条件設定	一覧1ページ表示件数	○	10	100
		チェックリスト適用設定	一覧1ページ表示件数	○	10	100
		チェックリスト診断	一覧1ページ表示件数	○	10	100
自動メール通知		自動メール通知ルート設定	一覧1ページ表示件数	○	10	100
		自動メール通知条件設定	一覧1ページ表示件数	○	10	100
		自動メール通知適用設定	一覧1ページ表示件数	○	10	100
種別設定		種別データ設定	ルート選択1ページ表示件数	×	10	-
種別設定		種別データ設定	一覧1ページ表示件数	○	10	100

メインメニュー	サブメニュー	画面名	管理項目名	変更	初期値	上限値
		種別条件設定	一覧1ページ表示件数	○	10	100
		種別設定	一覧1ページ表示件数	○	10	100
			種別データ選択1ページ表示件数	×	10	-
	コード値別制御	コード値別編集制御	一覧1ページ表示件数	○	10	100
	Senju/SM 間連携	Senju/SM 間連携項目設定	一覧1ページ表示件数	○	10	100
		Senju/SM 間連携設定	一覧1ページ表示件数	○	10	100
	外部ツール連携	ランブックテンプレート	一覧1ページ表示件数	○	10	100
	Webhook 連携	送信メッセージテンプレート	一覧1ページ表示件数	○	10	100
	Webhook 連携	Webhook 送信設定	一覧1ページ表示件数	○	10	100
	ナビゲーション設定	ナビゲーション設定管理	一覧1ページ表示件数	○	10	100
Senju/SM コマンド実行	Senju/SM コマンド実行	Senju/SM コマンド実行	一覧1ページ表示件数	○	10	100

## 1.1.7 マスタデータの編集制限

各マスタの、登録、更新、削除時の制限事項を以下に示します。



仕様補足

最大登録件数の制限は本章では記載しません。  
「1.1.5 画面操作時の件数制限」を参照してください。

メインメニュー	サブメニュー	画面名	操作	制限
管理者メニュー				
制御情報	制御情報 認証サーバ	制御情報 認証サーバ	更新	-
			登録	-
			更新	-
			削除	既に使用しているユーザーがいる場合、削除できません。
画面	画面定義	画面使用設定	登録	-
			更新	-
			削除	-
		メニュー	更新	プロセス管理及び簡易プロセス配下のサブメニューに所属していない画面がある場合、更新できません。いずれかのサブメニューに画面を所属させてください。
		申請先画面設定	更新	-
		関連項目設定	更新	-
		入力文字制御	登録	-
	更新		-	
	削除		-	
	レイアウト定義	サービスデスク画面レイアウト	更新	-
		簡易画面レイアウト	更新	-
	コピー項目定義	関連登録コピー定義	更新	-
		コピー登録定義	更新	-
	ラベル	ラベル	更新	-
ユーザー	ユーザー	ユーザー	登録	同一のアカウント名を持つユーザーは登録できません。
			更新	対象ユーザーにタスク（起票、エスカレーション、承認依頼、確認依頼、却下）、或いはイベントが振り分けられたまま残っている場合、変更しても良いか確認メッセージが表示されます。
			削除	削除対象ユーザーがログイン中でないこと 要員情報（要員管理画面表示）項目が「表示しない」になっている場合は、アカウント情報のみの削除は行えません。 ※対象ユーザーにタスク（起票、エスカレーション、承認依頼、確認依頼、却下）、或いはイベントが振り分けられたまま残っている場合、削除しても良いか確認メッセージが表示されます。
	権限	グループ	登録	-
			更新	-
			削除	以下の画面（画面項目）で使用されていないこと ・ユーザーマスタ管理（所属グループ）
		画面ポリシー	登録	-
			更新	以下の画面で使用中の場合、変更しても良いか確認メッセージが表示されます。 ユーザー管理（画面ポリシー）
			削除	以下の画面で使用中の場合、削除しても良いか確認メッセージが表示されます。 ユーザー管理（画面ポリシー）

メインメニュー	サブメニュー	画面名	操作	制限		
		職責	登録	-		
			更新	以下の画面で使用中の場合、変更しても良いか確認メッセージが表示されます。 要員管理（職責欄）／ユーザー管理（職責欄）		
			削除	以下の画面で使用中の場合、削除しても良いか確認メッセージが表示されます。 要員管理（職責欄）／ユーザー管理（職責欄）		
		チーム	登録	-		
			更新	-		
			削除	-		
		役割	登録	-		
			更新	-		
			削除	-		
		メンテナンス権限（共通）	登録	-		
			更新	-		
			削除	-		
		メンテナンス権限（システム別）	登録	-		
			更新	-		
			削除	-		
		マスタ	システム	システム	登録	-
					一括登録	-
					更新	-
削除	以下の画面のシステム項目に使用されている場合、削除できません。 ※検索条件に保存されている場合も削除できません。 ・プロセス管理 ・問合せ・申請 ・イベント管理 ・既知エラー ・FAQ ・ファイルライブラリ ・リンク集 ・要員管理（職責欄） ・アカウント管理（ID管理） ・構成アイテム管理（ID管理） ・構成アイテム管理（構成管理） ・ユーザー管理（職責欄） ・会社マスタ管理 ・コードマスタ管理 ・分類マスタ管理 ・送信メール管理 ・自動送信メール管理 ・メールアドレスチェック設定管理 ・SLAMチャート管理 ・チェックリスト適用設定管理 ・チェックリスト診断管理					
	システムユーザー		更新	-		
コード	コード		登録	-		
			更新	-		
			無効	-		
			削除	-		
分類	分類		登録	-		
			更新	-		
			削除	-		
会社・組織	会社		登録	-		
			更新	-		
			削除	-		
	組織		登録	会社が登録済みであること。		
			更新	-		
		削除	-			
問合せ元	問合せ元	登録	-			

メインメニュー	サブメニュー	画面名	操作	制限
		問合せ元 2	更新	-
			削除	-
			登録	-
			更新	-
			削除	-
	祝祭日	祝祭日	登録	既に存在する祝祭日は登録できません。
			更新	-
			削除	-
機能別	帳票	帳票出力文字変換制御	登録	必須制御が「任意」の場合のみ登録可能
			更新	-
			削除	必須制御が「任意」の場合のみ削除可能
	メール送信設定	送信メール	登録	-
			更新	-
			削除	-
		送信元設定	登録	-
			更新	-
			削除	-
		メールアドレスチェック設定	登録	-
			更新	-
			削除	-
	メールテンプレート	メールテンプレート	登録	-
			更新	-
			削除	-
		メールテンプレート(自動送信)	登録	-
			更新	-
			削除	-
	承認フロー	承認フロールート	登録	コードマスタ管理で、申請管理:タイトルのコードが登録済みであること
			更新	-
			削除	-
		承認フロー	登録	-
			更新	-
			削除	-
	SLAM チャート	SLAM チャート設定	更新	-
		SLAM チャート抽出条件設定	登録	-
			更新	-
			削除	以下の画面で使用中の場合、削除しても良いか確認メッセージが表示されます。 SLAM チャート設定
	チェックリスト管理	チェックリスト設定	登録	-
			更新	-
			削除	-
		チェックリスト条件設定	登録	-
			更新	-
			削除	以下の画面(画面項目)で使用されている場合、削除できません。 チェックリスト適用設定
		チェックリスト適用設定	登録	-
			更新	-
削除			-	
チェックリスト診断		登録	-	
		更新	-	
		削除	-	
自動メール通知	自動メール通知ルート設定	登録	-	
		更新	-	
		削除	-	
	自動メール通知条件設定管	登録	-	
		更新	-	
		削除	-	
自動メール通知適用設	登録	-		
	更新	-		



メインメニュー	サブメニュー	画面名	操作	制限	
		定	削除	-	
	種別設定	種別データ設定	登録	-	
			更新	-	
			削除	-	
		種別条件設定	登録	-	
			更新	-	
			削除	-	
		種別適用設定	登録	-	
			更新	-	
			削除	-	
	コード値別制御	コード自動選択設定	登録	事前にコードマスタ管理でプロセス管理画面の「インパクト」「緊急度」「優先度」のコードを登録済みであること。	
		コード値別編集制御	更新	事前にコードマスタ管理でプロセス管理画面の「ブロック制御コンボボックス 1」「ブロック制御コンボボックス 2」「ブロック制御コンボボックス 3」のコードを登録済みであること。	
		コード値別必須制御	登録	-	
	Senju/SM 間連携	Senju/SM 間連携項目設定	更新	-	
			Senju/SM 間連携設定	登録	WEB サーバーホスト名を重複して登録することはできません。
				更新	-
		削除		Senju/SM 間連携機能を利用できなくなります。	
		Senju/SM 間連携先設定	登録	-	
			更新	-	
			削除	別 SSM WEB サーバーで管理する Senju Service Manager にプロセスのレコードが公開されなくなります。	
		Senju/SM 間連携元設定	登録	-	
			更新	-	
			削除	既にプロセス管理の「外部リンク」項目で使用されている場合、削除できません。	
		外部ツール連携	ランブックテンプレート	登録	-
				更新	-
	削除			-	
	Webhook 連携	Webhook 送信設定	登録	レスポンス受信アクションが有効の Webhook 送信設定件数が Webhook 連携ライセンス数を超過する場合、登録できません。	
			更新	レスポンス受信アクションを有効に更新する際にレスポンス受信アクションが有効の Webhook 送信設定件数が Webhook 連携ライセンス数を超過する場合、更新できません。	
			削除	-	
	ナビゲーション設定	ナビゲーション設定管理	登録	-	
			更新	-	
			削除	-	

## 1.1.8 マスタデータの削除・無効時の影響

各マスタの、削除・無効時の影響を以下に示します。

メインメニュー	サブメニュー	画面名	操作	制限	
管理者メニュー					
制御情報	認証サーバ	認証サーバ	削除	-	
画面	画面定義	画面使用設定	削除	-	
			無効	-	
		メニュー	削除	-	
		申請先画面設定	削除	-	
		関連項目設定	削除	-	
		入力文字制御	削除	-	
			無効	-	
ユーザー	ユーザー	ユーザー	削除	-	
			無効	-	
	権限	グループ	削除	-	
		画面ポリシー	削除	-	
		職責	削除	-	
		チーム	削除	-	
		役割	削除	-	
		メンテナンス権限(共通)	削除	-	
			削除	-	
			無効	-	
マスタ	システムコード	システムコード	削除	-	
			削除	削除したコードは利用できなくなります。 既に削除したコードを設定したレコードを表示した場合、詳細画面では空白表示、編集画面では未選択となります。 一覧の検索条件では削除したコードは選択できず、削除したコードを対象に検索もできません。 ※保存された検索条件に削除したコードが含まれていた場合、削除されたマスタデータが存在する旨、アラートが表示されます。	
				無効	削除したコードは新規に選択できなくなります。 既に無効したコードを設定したレコードを表示した場合、詳細画面では無効前と同じ表示、編集画面では無効となったコードが選択済となります(更新を行った場合、無効なコードのまま登録されます。一覧の検索条件では無効なコードを選択し、無効としたコードを対象に検索可能です。
	分類	分類	削除	削除した分類は利用できなくなります。 既に削除した分類を設定したレコードを表示した場合、詳細画面では空白表示、編集画面では未選択となります。 一覧の検索条件では削除した分類は選択できず、削除した分類を対象に検索もできません。 ※保存された検索条件に削除した分類が含まれていた場合、削除されたマスタデータが存在する旨、アラートが表示されます。	
	会社・組織	会社	削除	-	
		組織	削除	-	
	祝祭日	祝祭日	削除	-	
	問合せ元	問合せ元	削除	-	
問合せ元2		削除	-		
機能別	帳票	帳票出力文字変換制御	削除	-	

メインメニュー	サブメニュー	画面名	操作	制限
	メール送信設定	送信メール参照	削除	-
			無効	-
		送信元設定	削除	-
		メールアドレスチェック設定	削除	-
	メールテンプレート	メールテンプレート	削除	-
			無効	-
		メールテンプレート(自動送信)	削除	-
			無効	-
	承認フロー	承認フロールート	削除	-
			無効	-
		承認フロー	削除	-
			無効	-
	SLAM チャート	SLAM チャート設定	削除	-
			無効	-
		SLAM チャート抽出条件設定	削除	-
			無効	-
	チェックリスト	チェックリスト設定	削除	-
			無効	-
		チェックリスト条件設定	削除	-
			無効	-
		チェックリスト適用設定	削除	-
			無効	-
		チェックリスト診断	削除	-
			無効	-
	自動メール通知設定管理	自動メール通知ルート設定	削除	-
			無効	-
		自動メール通知条件設定	削除	-
			無効	-
		自動メール通知適用設定	削除	-
			無効	-
	種別設定管理	種別データ設定	削除	-
			無効	-
		種別条件設定	削除	-
			無効	-
		種別適用設定	削除	-
			無効	-
	コード値別制御	コード値別必須制御	削除	-
		コード自動選択設定	削除	-
		コード値別編集制御	削除	-
	Senju/SM 間連携	Senju/SM 間連携項目設定	削除	-
無効			-	
Senju/SM 間連携設定		削除	-	
		無効	-	
Senju/SM 間連携先設定		削除	-	
		無効	-	
Senju/SM 間連携元設定		削除	-	
		無効	-	
外部ツール	ランブック	削除	-	

メインメニュー	サブメニュー	画面名	操作	制限
	連携	テンプレート	無効	-
	ナビゲーション	ナビゲーション	削除	-
		ナビゲーション設定	無効	-

## 1.1.9 画面項目の入力制限

データ入力時の各画面項目の制限事項を以下に示します。



補助設定

時刻項目の表示(入力)形式は管理者メニューの制御情報で「時分(HHMM)」または「時分秒(HHMMSS)」が選択でき、初期設定では「時分(HHMM)」が指定されています。ただし、構成アイテム(構成管理)の構成変更時刻は「時分(HHMM)」固定です。



仕様補足

表中の最大桁数は半角の文字数です。



仕様補足

テキスト項目、テキストエリア項目などの自由入力フィールドでは、先頭と文末に入力された全角(半角)空白文字を取り除いて登録されます。



仕様補足

日付項目は必ず「YYYYMMDD(8桁)」で入力してください。また時刻項目は必ず「HHMM(4桁)もしくは「HHMMSS(6桁)」で入力してください。



仕様補足

期間指定ができる日付項目は起点となる日付をFROM、終点となる日付をTOとして記します。FROMを入力している場合、TOはFROMと同じか未来の日付を入力する必要があります。



仕様補足

全ての検索画面において、以下の文字を検索条件に指定した場合はワイルドカードとして検索が実行されます。  
"%"を指定した場合は、1文字以上の任意の文字列として一致するデータが検索されます。"\_"を指定した場合は、任意の1文字として一致するデータが検索されます。検索文字に「%」、「\_」を指定した場合、文字列として検索できません。



仕様補足

画面項目の入力制御は、コマンドも画面と同様の設定内容です。

## 1.1.9.1 ホーム

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
ログイン	ID	★	32	半角文字	!#%&()-.^_`{ }~\$' 以外の記号は入力不可
	パスワード	★	127	パスワード	・半角の英大文字/英小文字/数字/記号 ・タブは入力不可 ・前後の半角スペースは有効
お知らせ新規登録	タイトル	★	80	全半角文字	
	内容	★	4000	全半角文字	
	表示期限		-	日付	本日以降であること
	公開先	★	-	コンボボックス	登録済のグループから選択
伝言メモ新規登録	受付日	★	-	日付	本日以降であること
	受付時刻	★	-	時刻	
	To(ユーザー)	★	-	コンボボックス	登録済のグループとユーザーから選択
	タイトル	★	80	全半角文字	
ToDo新規登録／編集	内容		4000	全半角文字	
	ステータス	★	-	コンボボックス	登録済のコードから選択
	重要度	★	-	コンボボックス	登録済のコードから選択
	ToDoタイトル	★	80	全半角文字	
	締切日		-	日付	締切時刻入力時には必須入力
パスワード変更	締切時刻		-	時刻	
	備考		4000	全半角文字	
	旧パスワード	★	15	パスワード	現在のパスワードと一致していること ※管理者メニューでの設定に依存します。
パスワード変更	新パスワード	★	15	パスワード	・半角の英大文字/英小文字/数字/記号のうち3種類以上の文字種を含むこと ・タブは入力不可 ・前後の半角スペースは有効 ※管理者メニューでの設定に依存します。
	パスワード確認	★	15	パスワード	新パスワードと同じこと ※管理者メニューでの設定に依存します。
ユーザー情報編集	氏名	★	30	全半角文字	
	氏名カナ		30	全半角文字	
	内線番号		60	全半角文字	
	電話番号1		60	全半角文字	
	電話番号2		60	全半角文字	
	FAX番号		60	全半角文字	
	携帯電話番号		60	全半角文字	
	メールアドレス1		100	全半角文字	
	メールアドレス2		100	全半角文字	
	役職		80	全半角文字	
	業務内容		4000	全半角文字	
	備考		4000	全半角文字	
代理承認者		-	ユーザー	※管理者メニューでの設定に依存します。	

## 1.1.9.2 プロセス管理



仕様補足

プロセス管理の項目定義については別紙「項目一覧」を参照してください。

## 1.1.9.3 イベント管理

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
一覧 (検索条件)	送信者		200	全半角文字	
	発生日時FROM - TO(日付) ※日時指定		-	日付	
	発生日時FROM - TO(時刻) ※日時指定		-	時刻	
	発生日時 ※経過日数		2	半角数字	
	発生日時 ※日 / 週 / 月 / 年度単位 (相対指定)		2	半角数字	
	フリーワード		200	全半角文字	

## 1.1.9.4 問合せ・申請



仕様補足

詳細項目については別紙「項目一覧」のプロセス管理の項を参照してください。

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
簡易プロセス一覧 (検索条件) ※問合せ機能利用時	タイトル		200	全半角文字	
	問合せ日 (FROM - TO) ※日付指定		-	日付	
	問合せ日 ※経過日数		2	半角数字	
	問合せ日 ※日 / 週 / 月 / 年度単位 (相対指定)		2	半角数字	
	起票者		200	全半角文字	
簡易プロセス一覧 (検索条件) ※申請機能利用時	タイトル		200	全半角文字	
	承認申請日 (FROM - TO) ※日付指定		-	日付	
	承認申請日 ※経過日数		2	半角数字	
	承認申請日 ※日 / 週 / 月 / 年度単位 (相対指定)		2	半角数字	
	起票者		200	全半角文字	
簡易プロセス新規 登録／編集／再問合せ	フォーム	★	-	コンボボックス	・登録済のフォームから選択 ・新規登録時のみ入力項目
	システム	★	-	コンボボックス	・登録済のシステムから選択 ・新規登録時のみ入力項目

## 1.1.9.5 構成管理

### 1. ID 管理（共通）

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
コメント入力	コメント		4000	全半角文字	
スケジュール新規登録／編集	予定日指定	★	-	ラジオボタン	システム固定値から選択
	開始日	★	-	日付	予定日指定が、日付指定の場合表示される
	開始時刻		-	時刻	
	終了日	★	-	日付	開始日時 ≤ 終了日時
	終了時刻		-	時刻	
	繰返し区分	★	-	コンボボックス	予定日指定が、繰返し指定の場合表示される
	期間 (FROM - TO)	★	-	日付	
	時間 (FROM - TO)		-	時刻	
	利用区分	★	-	コンボボックス	登録済のコードから選択
	タイトル	★	80	全半角文字	
備考		4000	全半角文字		
					種別で「時間指定なし」「終日」がチェックされていない場合 開始時刻必須 終了時刻必須
					期間 (FROM) ≤ 期間 (TO) 種別で「時間指定なし」「終日」がチェックされていない場合 時間 (FROM) 必須 時間 (TO) 必須 時間 (FROM) ≤ 時間 (TO)

### 2. ID 管理（画面毎）

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
要員一覧（検索条件）	社員番号		32	半角文字	
	氏名		200	全半角文字	
	氏名カナ		200	全半角文字	
要員新規登録／編集	社員番号	★	32	半角文字	
	氏名	★	30	全半角文字	
	氏名カナ		30	全半角文字	
	システム×職責	★	-	コンボボックス	登録済の職責とシステムから選択
	ステータス	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択 編集時は参照項目
	役職		80	全半角文字	
	業務内容		4000	全半角文字	
	内線番号		60	全半角文字	
	電話番号1		60	全半角文字	
	電話番号2		60	全半角文字	
	FAX番号		60	全半角文字	
	携帯電話番号		60	全半角文字	
	メールアドレス1		100	全半角文字	
	メールアドレス2		100	全半角文字	
	備考		4000	全半角文字	
	表示順		8	全半角文字	
構成アイテム一覧（検索条件）	構成アイテムID		256	半角英数字、-,_	
	構成アイテム名		256	全半角文字	
	設置場所		60	全半角文字	
	設置日 (FROM - TO)		-	日付	
	設置終了日 (FROM - TO)		-	日付	
	使用日 (FROM - TO)		-	日付	
	使用終了日 (FROM - TO)		-	日付	
	起票日 (FROM - TO)		-	日付	



画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
	最終更新日 (FROM - TO)		-	日付	
	保守日 (FROM - TO)		-	日付	
	保守終了日 (FROM - TO)		-	日付	
	日付1 (FROM - TO)		-	日付	
	日付1終了日 (FROM - TO)		-	日付	
	日付2 (FROM - TO)		-	日付	
	日付2終了日 (FROM - TO)		-	日付	
	日付テキスト1 (FROM - TO)		-	日付	
日付テキスト2 (FROM - TO)		-	日付		
構成アイテム新規登録/編集	システム	★	-	コンボボックス	
	構成アイテムID	★	256	半角英数字	
	構成アイテム名	★	256	全半角文字	
	ステータス	★	-	コンボボックス	
	設置場所		60	全半角文字	
	設置日 (FROM-TO)		-	日付	
	使用日 (FROM-TO)		-	日付	
	会社名		100	全半角文字	
	組織名		100	全半角文字	
	氏名		100	全半角文字	
	電話番号		100	全半角文字	
	メールアドレス		100	全半角文字	
	保守契約番号		100	全半角文字	
	保守日 (FROM-TO)		-	日付	
	キーワード		4000	全半角文字	
	機種名		100	全半角文字	
	メーカー		100	全半角文字	
	型番		100	全半角文字	
	CPU		100	全半角文字	
	ディスク容量		12	半角数字	
	メモリ容量		12	半角数字	
	IPアドレス		100	全半角文字	
	バージョン		100	全半角文字	
	メーカー		100	全半角文字	
	シリアル番号		100	全半角文字	
	媒体		100	全半角文字	
	媒体保管場所		100	全半角文字	
	備考		4000	全半角文字	
	テキスト1		100	全半角文字	
	テキスト2		100	全半角文字	
	テキスト3		100	全半角文字	
	テキスト4		100	全半角文字	
	テキストエリア1		4000	全半角文字	
	テキストエリア2		4000	全半角文字	
	テキストエリア3		4000	全半角文字	
	コンボテキスト1		100	全半角文字	
	コンボテキスト2		100	全半角文字	
	コンボテキスト3		100	全半角文字	
	コンボテキスト4		100	全半角文字	
	コンボテキスト5		100	全半角文字	
日付1 (FROM-TO)		-	日付		
日付2 (FROM-TO)		-	日付		
日付テキスト1		-	日付		
日付テキスト2		-	日付		
数値テキスト1		12	半角数字		
数値テキスト2		12	半角数字		
数値テキスト3		12	半角数字		
数値テキスト4		12	半角数字		
アカウント一覧 (検索条件)	アカウント		32	半角文字	!#%&()-.^_`{}~\$' 以外の記号は入力不可

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
アカウント新規登録／編集	システム	★	-	コンボボックス	登録済のシステムから選択
	アカウント	★	32	半角文字	!#%&()-.^_`{ }~\$' 以外の記号は入力不可
	ステータス	★	-	コンボボックス	登録済のコードから選択 編集時は参照項目
	生成日		-	日付	
	停止日		-	日付	
	有効期間(FROM-TO)		-	日付	
	備考			4000	全半角文字

### 3. 構成管理



仕様補足

構成管理の項目定義については別紙「項目一覧」を参照してください。

## 1.1.9.6 ナレッジ

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
既知エラー／FAQ ／ファイルライブラリ／リンク集一覧（検索条件）	レコードID		16	半角英数字	"-"（ハイフン）、"_"（アンダーバー）は入力可
	タイトル		200	全半角文字	
	キーワード		4000	全半角文字	ファイルライブラリ・リンク集のみ表示
	フリーワード		200	全半角文字	既知エラー・FAQのみ表示
	ログイン公開日		-	日付	
	オープン公開日		-	日付	FAQ一覧のみ表示
	最終更新日(FROM - TO)		-	日付	
既知エラー新規登録／編集	システム	★	-	コンボボックス	登録済のシステムから選択
	タイトル	★	80	全半角文字	
	ログイン公開日(FROM-TO)		-	日付	
	キーワード		4000	全半角文字	
	参考URL		500	全半角文字	シングルクォーテーションを除く
	問題内容		4000	全半角文字	
	原因		4000	全半角文字	
解決策		4000	全半角文字		
FAQ新規登録／編集	システム	★	-	コンボボックス	登録済のシステムから選択
	タイトル	★	80	全半角文字	
	ログイン公開日(FROM-TO)		-	日付	
	オープン公開日(FROM-TO)		-	日付	
	キーワード		4000	全半角文字	
	参考URL		500	全半角文字	シングルクォーテーションを除く
	質問		4000	全半角文字	
回答		4000	全半角文字		
ファイルライブラリ新規登録／編集	システム	★	-	コンボボックス	登録済のシステムから選択
	タイトル	★	80	全半角文字	
	ログイン公開日(FROM-TO)		-	日付	
	キーワード		4000	全半角文字	
	備考		4000	全半角文字	
リンク集新規登録／編集	システム	★	-	コンボボックス	登録済のシステムから選択
	タイトル	★	80	全半角文字	

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
	キーワード		4000	全半角文字	
	ログイン公開日 (FROM-TO)		-	日付	
	URL		500	全半角文字	シングルクォーテーションを除く
	備考		4000	全半角文字	

## 1.1.9.7 Senju Family 連携

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
フレーム・ネット・ ジョブ申請一覧 (検索条件)	申請元ID		16	半角英数字	
	連携システム		200	全半角文字	
	フレーム名		200	全半角文字	
	ネット名		200	全半角文字	
	ジョブ名		200	全半角文字	
	業務グループ		200	全半角文字	
	リミット日付(FROM-TO) ※日付指定		-	日付	
	リミット日付 ※経過日数		2	半角数字	
	リミット日付 ※日 / 週 / 月 / 年度単 位 (相対指定)		2	半角数字	
	リミット時刻(FROM-TO)		-	時刻	
	運用日付(FROM-TO) ※日付指定		-	日付	
	運用日付 ※経過日数		2	半角数字	
	運用日付 ※日 / 週 / 月 / 年度単 位 (相対指定)		2	半角数字	
	起動予定時刻		-	時刻	
	解除予定日時 (日付) (FROM-TO) ※日時指定		-	日付	
	解除予定日時 (時刻) (FROM-TO) ※日時指定		-	時刻	
	解除予定日時 (時刻) ※日 / 時間 / 分 (相対指定)		2	半角数字	
	最終更新日時 (日付) (FROM-TO) ※日時指定		-	日付	
	最終更新日時 (時刻) (FROM-TO) ※日時指定		-	時刻	
	最終更新日時 (時刻) ※日 / 時間 / 分 (相対指定)		2	半角数字	
業務グループ定義 一覧 (検索条件)	ID		16	半角英数字, -, _	
	業務グループ		200	全半角文字	
業務グループ定義 新規登録/編集	画面名 (上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名 (下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	システム	★	-	コンボボックス	
	業務グループ	★	200	全半角文字	
	接続先名	★	-	コンボボックス	
	通常起動時刻	★	-	時刻	
	最大延長時刻	★	-	時刻	
	業務グループ内容		4000	全半角文字	
延長上の注意		4000	全半角文字		

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
	コマンド名		4000	全半角文字	
	連携システム	★	32	全半角文字	
	フレーム名	★	32	全半角文字	
	ネット名	★	32	全半角文字	
	ジョブ名		32	全半角文字	
	相対時刻	★	-	時刻	

## 1.1.9.8 共通ダイアログ

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
申請ルート選択	コメント		4000	全半角文字	
	申請ルート	★	-	コンボボックス	登録済の承認フロールートから選択
承認フローコメント	コメント		4000	全半角文字	
オープンFAQ検索 (検索条件)	レコードID		16	半角英数字	"-" (ハイフン)、"_" (アンダーバー) は入力可
	タイトル		200	全半角文字	
	フリーワード		200	全半角文字	
	最終更新日 (FROM-TO)		-	日付	
ナレッジ検索 (検索条件)	ID		16	半角英数字	"-" (ハイフン)、"_" (アンダーバー) は入力可
	タイトル		200	全半角文字	
	フリーワード		200	全半角文字	
	最終更新日 (FROM-TO)		-	日付	
ユーザースケジュール新規登録／編集	予定日指定	★	-	ラジオボタン	システム固定値から選択
	開始日	★	-	日付	予定日指定が、日付指定の場合表示される
	開始時刻		-	時刻	
	終了日	★	-	日付	種別で「時間指定なし」「終日」がチェックされていない場合 開始時刻必須 終了時刻必須
	終了時刻		-	時刻	
	繰り返し区分	★	-	コンボボックス	予定日指定が、繰り返し指定の場合表示される
	期間 (FROM-TO)	★	-	日付	
	時間 (FROM-TO)		-	時刻	種別で「時間指定なし」「終日」がチェックされていない場合 時間 (FROM) 必須 時間 (TO) 必須
	グループ／ユーザー	★	-	コンボボックス	
	予定	★	-	コンボボックス	登録済のコードから選択
	タイトル	★	80	全半角文字	
	場所		100	全半角文字	
	備考		4000	全半角文字	
システムスケジュール新規登録／編集	予定日指定	★	-	ラジオボタン	システム固定値から選択
	開始日	★	-	日付	予定日指定が、日付指定の場合表示される
	開始時刻		-	時刻	
	終了日	★	-	日付	種別で「時間指定なし」「終日」がチェックされていない場合 開始時刻必須 終了時刻必須
	終了時刻		-	時刻	
	繰り返し区分	★	-	コンボボックス	予定日指定が、繰り返し指定の場合表示される
	期間 (FROM-TO)	★	-	日付	
	時間 (FROM-TO)		-	時刻	種別で「時間指定なし」「終日」がチェックされていない場合 時間 (FROM) 必須 時間 (TO) 必須
	システム名	★	-	コンボボックス	
	予定	★	-	コンボボックス	登録済のコードから選択
	タイトル	★	80	全半角文字	
	場所		100	全半角文字	
	備考		4000	全半角文字	

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
メール編集	送信者	★	-	コンボボックス	登録済のユーザーから選択
	宛先	★	4000	全半角文字 メールアドレス	“<”, ”>”を除く 複数メールアドレスを指定時はセミコロン(;)で区切ってください。 1つのメールアドレスを構成する名称とアドレスの最大桁数(半角)はそれぞれ100です。
	CC		4000	全半角文字 メールアドレス	“<”, ”>”を除く 複数メールアドレスを指定時はセミコロン(;)で区切ってください。 1つのメールアドレスを構成する名称とアドレスの最大桁数(半角)はそれぞれ100です。
	BCC		4000	全半角文字 メールアドレス	“<”, ”>”を除く 複数メールアドレスを指定時はセミコロン(;)で区切ってください。 1つのメールアドレスを構成する名称とアドレスの最大桁数(半角)はそれぞれ100です。
	件名	★	256	全半角文字	※初期設定での最大桁数は100です。管理者メニューの「制御情報」で拡張できません。
	本文	★	10000000	全半角文字	※管理者メニューでの設定に依存します。
送信先選択	氏名		200	全半角文字	選択元リストで「要員・ユーザー」が選択された場合に 入力可能。
	氏名カナ		200	全半角文字	選択元リストで「要員・ユーザー」が選択された場合に 入力可能。
ブックマークリスト設定	リスト名	★	50	全半角文字	
ユーザー選択	社員番号		32	半角英数字	
	ユーザー		200	全半角文字	
一括登録	一括登録ファイル	★	-	ファイル選択	
評価編集	星評価		-	星選択	
	コメント		4000	全半角文字	

## 1.1.9.9 管理者メニュー

### 1. 制限情報

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
制御情報 (検索条件)	メニュー区分	★	-	コンボボックス	
制御情報 (編集)	(管理項目名)		-	-	詳細は「管理ガイド」を参照
認証サーバーマスタ 新規登録/編集 ※ ActiveDirectory 認証	認証方法	★	-	コンボボックス	
	認証設定名	★	40	全半角文字	
	ホスト名(正系)	★	255	全半角文字	
	ドメイン名(正系)	★	4000	全半角文字	
	ホスト名(副系)		255	全半角文字	
	ドメイン名(副系)		4000	全半角文字	
認証サーバーマスタ 新規登録/編集 ※OpenLDAP認証	認証方法	★	-	コンボボックス	
	認証設定名	★	40	全半角文字	
	ホスト名(正系)	★	255	全半角文字	
	ポート番号(正系)	★	255	半角数字	
	検索DN(正系)	★	255	全半角文字	
	ホスト名(副系)		255	全半角文字	
	ポート番号(副系)		255	半角数字	
	検索DN(副系)		255	全半角文字	

### 2. 画面

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
画面使用設定管理 (検索条件)	画面グループ	★	-	コンボボックス	
画面一覧	使用/未使用	★	-	チェックボックス	
メニュー一覧・メ インメニュー編集	メインメニュー名(日)	★	256	全半角文字	
	メインメニュー名(英)	★	256	全半角文字	
メニュー一覧・サブ メニュー 新規登録/編集	サブメニュー名(日)	★	256	全半角文字	
	サブメニュー名(英)	★	256	全半角文字	
メニュー一覧・画 面名編集 ※ホーム/イベ ント管理/外部連携	画面名(日)	★	256	全半角文字	
	画面名(英)	★	256	全半角文字	
メニュー一覧・画 面名編集 ※問合せ・申請/構 成管理	画面名(日)	★	256	全半角文字	
	画面名(英)	★	256	全半角文字	
	内容		4000	全半角文字	
	時間帯(FROM-TO)		-	時刻	
メニュー一覧・画 面名編集 ※プロセス管理	管理者		50	全半角文字	
	画面名(日)	★	256	全半角文字	
	画面名(英)	★	256	全半角文字	
	画面名略称		4	半角英数字, " - " " _ "	
	内容		4000	全半角文字	
	時間帯(FROM-TO)		-	時刻	
	管理者		50	全半角文字	
	CSVファイル名		50	全半角文字	ファイル名に以下の文字列は使用できません。 「¥/:*?"<> 」 ※「」内が対象

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
メニュー一覧・画面名編集 ※ナレッジ	画面名(日)	★	256	全半角文字	
	画面名(英)	★	256	全半角文字	
	画面名略称		4	半角英数字, " - " "	
メニュー一覧・画面名編集 ※サービスレベル	画面名(日)	★	256	全半角文字	
	画面名(英)	★	256	全半角文字	
	内容		4000	全半角文字	
	管理者		50	全半角文字	
メニュー一覧・画面名編集 ※外部連携	画面名(日)	★	256	全半角文字	
	画面名(英)	★	256	全半角文字	
	内容		4000	全半角文字	
申請先画面設定管理(画面一覧)	申請先画面	★	-	コンボボックス	
関連項目設定管理(検索条件)	画面名(上段)	★	-	コンボボックス	
	画面名(下段)	★	-	コンボボックス	
	項目名	★	-	コンボボックス	
関連項目設定管理(画面一覧)	使用/未使用	★	-	チェックボックス	
入力文字制御管理(検索条件)	画面名(上段)	★	-	コンボボックス	システム固有値から選択
	画面名(下段)	★	-	コンボボックス	システム固有値から選択
入力文字制御編集	文字種	★	-	コンボボックス	システム固有値から選択
	入力バイト数(FROM-TO)	★	※	半角数字	※最大桁数はプロセス管理の項目定義に従います。 別紙「項目一覧」を参照してください。
サービスデスク画面定義一覧	WEBサーバー	★	-	コンボボックス	
サービスデスク画面定義一覧(テンプレート適用)	テンプレート名	★	-	コンボボックス	
サービスデスク画面定義(ビュー定義)	ビュー名	★	255	全半角文字	ビュー名に以下の文字列は使用できません。  「",',\,/,/*」 ※「」内を対象
	説明		1024	全半角文字	
ブロック編集	ブロック名		255	全半角文字	
画面項目編集	項目名	★	255	全半角文字	
	項目高さ	★	3	半角数字	
	入力例		4000	全半角文字	
簡易画面定義一覧	WEBサーバー	★	-	コンボボックス	
簡易画面定義一覧(テンプレート適用)	テンプレート名	★	-	コンボボックス	
簡易画面定義(ビュー定義)	フォーム名	★	80	全半角文字	
	説明		1024	全半角文字	
	グループ制御有無	★	-	ラジオボタン	
	表示有無	★	-	ラジオボタン	
	コメント		1024	全半角文字	コメントに以下の文字列は使用できません。  「",」 ※「」内を対象
画面項目編集	項目名	★	255	全半角文字	
	項目高さ	★	3	半角数字	
	項目値		128000	全半角文字	以下の項目のみ項目値があります。 ・親項目コメント1-10 ・経過項目コメント1-5
関連登録コピー定義(検索条件)	WEBサーバー	★	-	コンボボックス	
	関連元画面名(上段)	★	-	コンボボックス	



画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
	関連元画面名（下段）	★	-	コンボボックス	
	関連先画面名（上段）	★	-	コンボボックス	
	関連先画面名（下段）	★	-	コンボボックス	
関連先項目選択	関連先	★	-	コンボボックス	
コピー登録定義	WEBサーバー	★	-	コンボボックス	
	画面名（上段）	★	-	コンボボックス	
	画面名（下段）	★	-	コンボボックス	
ラベル管理 （検索条件）	対象言語	★	-	チェックボックス	
	現在ラベル値		255	全半角文字	※以下の項目のみ既存の項目と異なり最大桁数が「4000」となります。 【対象項目】 ・以下の添付ファイルが存在します このまま送信しますか？
	初期値		255	全半角文字	
	説明		255	全半角文字	
ラベル一覧	現在ラベル値	★	255	全半角文字	
ラベル一覧 （一括編集）	ラベル値	★	255	全半角文字	
テンプレート適用	対象言語	★	-	チェックボックス	
	画面名（上段）	★	-	コンボボックス	
	画面名（下段）	★	-	コンボボックス	
	テンプレート名	★	-	コンボボックス	

### 3. ユーザー

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
ユーザーマスター 一覧（検索条件）	ユーザーID		256	半角文字	!#%&()-.^_`{ }~\$@' 以外の記号は入力不可
	氏名		200	全半角文字	
	最終ログイン日時 （日付）(FROM-TO)		-	日付	
	最終ログイン日時 （時刻）(FROM-TO)		-	時刻	
ユーザーマスター新 規登録／編集	ユーザーID	★	256	半角文字	!#%&()-.^_`{ }~\$@' 以外の記号は入力不可 ※ただし認証方法の指定が「ActiveDirectory認証」の場合は「@」の入力が不可
	認証方法	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	パスワード	★	15	パスワード	・半角の英大文字/英小文字/数字/記号のうち3種類以上の文字種を含むこと ・タブは入力不可 ・前後の半角スペースは有効 ※管理者メニューでの設定に依存します。 ・編集時の項目名はパスワードで任意入力項目。
	ステータス		-	ラジオボタン	システム固定値から選択
	所属グループ	★	-	コンボボックス	登録済のグループから選択
	画面ポリシー	★	-	コンボボックス	登録済の画面ポリシーから選択
	アカウント区分	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	代理承認者		-	コンボボックス	
	チーム×役割		-	コンボボックス	登録済のチームと役割から選択
	社員番号	★	32	半角文字	
	氏名	★	30	全半角文字	
	氏名カナ		30	全半角文字	

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
	システム×職責	★	-	コンボボックス	登録済の職責とシステムから選択
	役職		80	全半角文字	
	業務内容		4000	全半角文字	
	内線番号		60	全半角文字	
	電話番号1		60	全半角文字	
	電話番号2		60	全半角文字	
	FAX番号		60	全半角文字	
	携帯電話番号		60	全半角文字	
	メールアドレス1		100	全半角文字	
	メールアドレス2		100	全半角文字	
	備考		4000	全半角文字	
	表示順		8	全半角文字	
グループマスタ新規登録/編集	グループ名	★	60	全半角文字	
	表示順		8	全半角文字	
画面ポリシー(新規登録/編集)(ヘッダー)	画面ポリシー名	★	60	全半角文字	
	概要		4000	全半角文字	
画面ポリシー(新規登録/編集)(明細)	表示/非表示	★	-	ラジオボタン	システム固定値から選択
職責管理(検索条件)	職責名		200	全半角文字	
職責管理(新規登録/編集)(ヘッダー)	職責名	★	60	全半角文字	
	概要		4000	全半角文字	
職責管理(新規登録/編集)(明細)	利用可/不可	★	-	ラジオボタン	システム固定値から選択
チームマスタ新規登録/編集	チーム名	★	60	全半角文字	
	表示順		8	全半角文字	
役割マスタ新規登録/編集	役割名		60	全半角文字	
	表示順		8	全半角文字	
メンテナンス権限(共通)新規登録/編集	管理権限名	★	60	全半角文字	
	概要		4000	全半角文字	
メンテナンス権限(システム別)新規登録/編集	管理権限名	★	60	全半角文字	
	概要		4000	全半角文字	

#### 4. マスタ

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
システムマスタ新規登録/編集	システム	★	60	全半角文字	
	概要		4000	全半角文字	
	システム名略称		4	半角英数字+(-)ハイフン+( )アンダーバー	
	運用開始日		-	日付	
	運用時間帯 (FROM-TO)		-	時刻	
	最終リリース日		-	日付	
	目標MTBF		8	半角数字	
	サービス開始日		-	日付	
	サービス時間帯 (FROM-TO)		-	時刻	
	表示順		8	全半角文字	
	オープンFAQ公開システム名		60	全半角文字	
	利用者組織		60	全半角文字	
	代表者氏名		60	全半角文字	
	代表者メールアドレス		100	全半角文字	

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
	代表者電話番号		60	全半角文字	
	管理者組織		60	全半角文字	
	管理責任者氏名		60	全半角文字	
	管理責任者メールアドレス		100	全半角文字	
	管理責任者電話番号		60	全半角文字	
	申請時の運用日付制御設定 (SSA共通)	★	1	半角数字	
	承認時のリミット日時制御設定	★	4	半角数字	
	申請時のリミット日付制御設定	★	4	半角数字	
	申請時の運用日付制御設定 (業務グループ起動時刻変更)	★	1	半角数字	
	申請時の制御時間設定	★	4	半角数字	
	承認時の制御時間設定	★	4	半角数字	
	リミット日時初期値	★	4	半角数字	
	最大延長時刻+相対時刻の制限時刻	★	2	半角数字	
	運用日付指定可能日数	★	2	半角数字	
システムユーザー管理 (検索条件)	システム	★	-	コンボボックス	
	職責	★	-	コンボボックス	
コードマスター一覧 (検索条件)	画面名 (上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名 (下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	コード種別	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
コードマスタ新規登録/編集	画面名 (上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択 編集時は参照項目
	画面名 (下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択 編集時は参照項目
	コード種別	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択 編集時は参照項目
	コード名	★	80	全半角文字	
	システム	★	-	コンボボックス	登録済のシステムから選択
	色	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	ステータス	★	-	ラジオボタン	
	表示順		8	全半角文字	
分類マスター一覧 (検索条件)	画面名 (上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名 (下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	分類種別	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	システム		-	コンボボックス	登録済のシステムから選択
分類マスタ新規登録/編集	分類名	★	80	全半角文字	
	色	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	表示順		8	全半角文字	
	コメント		4000	全半角文字	
会社マスタ新規登録/編集	システム	★	-	コンボボックス	登録済のシステムから選択
	会社名	★	60	全半角文字	
	会社名カナ	★	60	全半角文字	
	会社略称		60	全半角文字	
	色	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	表示順		8	全半角文字	
	会社URL		500	全半角文字	シングルクォーテーションを除く
組織マスター一覧 (検索条件)	システム	★	-	コンボボックス	登録済のシステムから選択
	会社名	★	-	コンボボックス	登録済の会社から選択
組織マスタ新規登録/編集	システム	★	-	コンボボックス	登録済のシステムから選択 編集時は参照項目
	会社名	★	-	コンボボックス	登録済の会社から選択 編集時は参照項目
	組織名	★	60	全半角文字	
	組織名カナ	★	60	全半角文字	
	組織略称		60	全半角文字	

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
	色	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	表示順		8	全半角文字	
問合せ元マスタ管理 ※問合せ元2も同様	問合せ元ID		100	全半角文字	
	問合せ元ID補助		100	全半角文字	
	フリーワード		200	全半角文字	
問合せ元マスタ新規登録/編集 ※問合せ元2も同様	問合せ元ID	★	100	全半角文字	
	問合せ元ID補助		100	全半角文字	
	問合せ元テキスト1		100	全半角文字	
	問合せ元テキスト2		100	全半角文字	
	問合せ元テキスト3		100	全半角文字	
	問合せ元テキスト4		100	全半角文字	
	問合せ元テキスト5		100	全半角文字	
	問合せ元テキスト6		100	全半角文字	
	問合せ元テキスト7		100	全半角文字	
	問合せ元テキスト8		100	全半角文字	
	問合せ元テキスト9		100	全半角文字	
	問合せ元テキスト10		100	全半角文字	
	問合せ元テキスト11		100	全半角文字	
	問合せ元テキスト12		100	全半角文字	
	問合せ元テキスト13		100	全半角文字	
	問合せ元テキスト14		100	全半角文字	
	問合せ元テキスト15		100	全半角文字	
	問合せ元テキスト16		100	全半角文字	
	問合せ元テキスト17		100	全半角文字	
	問合せ元テキスト18		100	全半角文字	
問合せ元テキストエリア1			400	全半角文字	
問合せ元日付1			-	日付	
祝祭日マスター一覧 (検索条件)	祝祭日FROM		-	日付	
	祝祭日TO		-	日付	
祝祭日マスタ新規登録/編集	祝祭日	★	-	日付	
	祝祭日名	★	20	全半角文字	

## 5. 機能別

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
帳票出力文字変換制御 (検索条件)	出力形式	★	-	コンボボックス	
帳票出力文字変換制御 (新規登録/編集)	出力形式	★	-	コンボボックス	
	ステータス	★	-	コンボボックス	
	変換前文字	★	128	全半角文字	・必須制御が「任意」の項目は編集が可能
	変換後文字		128	全半角文字	
送信メール参照管理 (検索条件)	概要		4000	全半角文字	・必須制御が「任意」の項目は編集が可能
	送信元名		200	全半角文字	
	送信元アドレス		200	全半角文字	
	送信先名		200	全半角文字	
	送信先アドレス		200	全半角文字	
送信元設定新規登録/編集	件名		200	全半角文字	
	送受信年月日 (FROM-TO)		-	日付	
	送信元名	★	100	全半角文字	
	送信元アドレス	★	100	全半角文字	メールアドレス形式
	返信先アドレス		100	全半角文字	メールアドレス形式
	ステータス	★	-	コンボボックス	
メールアドレスチェック設定管理	表示順		8	全半角文字	
	メールアドレス		100	全半角文字	

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
(検索条件)					
メールアドレスチェック設定 新規登録/編集	メールアドレス	★	100	半角文字	英数字、-、_、@以外の記号は入力不可
	マッチ方式	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	許可/警告	★	-	ラジオボタン	システム固定値から選択
	ステータス	★	-	ラジオボタン	システム固定値から選択
	優先順位	★	8	全半角文字	
	説明		4000	全半角文字	
メールテンプレート 新規登録/編集	画面名(上段)	★	-	コンボボックス	
	画面名(下段)	★	-	コンボボックス	
	システム	★	-	コンボボックス	登録済のシステムから選択
	テンプレート名	★	80	全半角文字	
	送信者		4000	全半角文字	「氏名+ <メールアドレス>」または「メールアドレス」形式
	宛先		4000	全半角文字	
	CC		4000	全半角文字	
	BCC		4000	全半角文字	
	タイトル		256	全半角文字	※初期設定での最大桁数は100です。管理者メニューの「制御情報」で拡張できます。
	本文	★	4000	全半角文字	
メールテンプレート (自動送信)編集	画面名(上段)	★	-	コンボボックス	
	画面名(下段)	★	-	コンボボックス	
	システム	★	-	コンボボックス	登録済のシステムから選択
	メールアクション	★	-	コンボボックス	
	送信先区分	★	-	コンボボックス	
	タイトル		256	全半角文字	※初期設定での最大桁数は100です。管理者メニューの「制御情報」で拡張できます。
本文	★	4000	全半角文字		
承認フロールート 管理(検索条件)	ルート名		200	全半角文字	
承認フロールート 管理(新規登録/編集)	ルート名	★	80	全半角文字	
承認フロー管理 (検索条件)	ルート名		200	全半角文字	
承認フロー(新規 登録/編集)	システム	★	-	コンボボックス	登録済のシステムから選択
	画面名(上段)	★	-	コンボボックス	システム固有値から選択
	画面名(下段)	★	-	コンボボックス	システム固有値から選択
	ルート名	★	-	承認フロールート 選択	登録済の承認フロールートから 選択
SLAMチャート設定 編集	行タイトル背景色		-	コンボボックス	
	列タイトル背景色		-	コンボボックス	
	しきい値制御値 ※背景色		-	コンボボックス	
	しきい値制御値 ※文字色		-	コンボボックス	
	行タイトル		50	全半角文字	SLAMチャート条件、しきい値、 表示設定が入力されている場合、 必須
	列タイトル		50	全半角文字	同上
	SLAMチャート条件		-	条件選択	すでに登録されたSLAMチャート 抽出条件より選択 行タイトル、列タイトルが入力 されている場合、必須
	しきい値(件数)		7	半角数字	しきい値(条件)が入力されている 場合、必須
	しきい値(抽出条件:条 件)		-	コンボボックス	システム固定値から選択 しきい値(件数)入力されている 場合、必須
	しきい値(抽出条件:表 示設定)		-	コンボボックス	システム固定値から選択 しきい値(件数)が入力されてい

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
					る場合、必須
SLAMチャート抽出 条件設定管理(一 覧)	画面名(上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名(下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	条件名		200	全半角文字	
SLAMチャート抽出 条件設定新規登録	画面名(上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択 編集時は参照項目
	画面名(下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択 編集時は参照項目
	条件名	★	50	全半角文字	
	表示順		8	全半角文字	
	(抽出条件)		-	-	対象項目は別紙「項目一覧」を参照
チェックリスト設定 管理(検索条件)	チェックリスト名		100	全半角文字	
チェックリスト設定 新規登録/編集	チェックリスト名	★	80	全半角文字	
	表示順		8	全半角文字	
	チェック対象名		120	全半角文字	
	区分		-	コンボボックス	システム固定値から選択 (テキスト / 構成管理 / 要員 管理)
	チェック内容 ※区分がテキストの場合		4000	全半角文字	
	チェック内容 ※区分が構成管理の場合		-	チェック内容選 択	既に登録された構成アイテム (構成管理)から選択
	チェック内容 ※区分が要員管理の場合		-	ユーザー	既に登録された要員から選択
チェックリスト条件 設定管理(検索 条件)	画面名(上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名(下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	条件名		200	全半角文字	
チェックリスト条件 設定新規登録/ 編集	画面名(上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択 編集時は参照項目
	画面名(下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択 編集時は参照項目
	条件名	★	50	全半角文字	
	表示順		8	全半角文字	
	(抽出条件)		-	-	対象項目は別紙「項目一覧」を参照
チェックリスト適用 設定管理(検索 条件)	画面名(上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名(下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	チェックリスト名		100	全半角文字	
チェックリスト適用 設定新規登録/ 編集	画面名(上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名(下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面対象項目	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	システム	★	-	コンボボックス	登録済のシステムから選択
	チェックリスト名	★	-	チェックリスト 選択	登録済のチェックリストより選 択
	適用条件	★	-	チェックリスト 条件選択	登録済のチェックリスト条件よ り選択
	ステータス	★	-	ラジオボタン	システム固定値から選択
	優先順位	★	8	全半角文字	
チェックリスト診 断管理(検索条件)	画面名(上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名(下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	タイトル		60	全半角文字	
チェックリスト診 断新規登録	画面名(上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名(下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面対象項目	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	システム名	★	-	コンボボックス	登録済のシステムから選択
	タイトル	★	60	全半角文字	

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
チェックリスト診断編集	タイトル	★	60	全半角文字	
	コメント		100	全半角文字	
チェックリスト診断パターン 新規登録/編集	(診断項目)		-	-	対象項目は別紙「項目一覧」を参照
チェックリスト診断結果編集	コメント		100	全半角文字	
自動メール通知ルート設定管理(検索条件)	ルート名		100	全半角文字	
自動メール通知ルート設定新規登録/編集	ルート名	★	80	全半角文字	
	表示順		8	全半角文字	
	経過時間(時間)		2	半角数字	経過時間は0000~9959の範囲で設定(時間のみ、または分のみの設定は不可)
	経過時間(分)		2	半角数字	
	コメント		4000	全半角文字	
自動メール通知条件設定管理(検索条件)	画面名(上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名(下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	条件名		200	全半角文字	
自動メール通知条件設定新規登録/編集	画面名(上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択 編集時は参照項目
	画面名(下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択 編集時は参照項目
	条件名	★	50	全半角文字	
	表示順		8	全半角文字	
自動メール通知適用設定管理(検索条件)	画面名(上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名(下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	ルート名		100	全半角文字	
自動メール通知適用設定新規登録/編集	画面名(上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名(下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	システム	★	-	コンボボックス	登録済のシステムから選択
	ルート名	★	-	自動メール通知ルート選択	登録済の自動メール通知ルートより選択
	適用条件	★	-	種別条件選択	登録済の自動メール通知条件より選択
	ステータス	★	-	ラジオボタン	システム固定値から選択
	優先順位	★	8	全半角文字	
種別データ設定管理(検索条件)	画面名(上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名(下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	種別データ名		100	全半角文字	
種別データ設定新規登録/編集	画面名(上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名(下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	システム	★	-	コンボボックス	登録済のシステムから選択
	種別データ名	★	80	全半角文字	
	表示順		8	全半角文字	
種別条件設定管理(検索条件)	画面名(上段)	★	-	コンボボックス	登録済の種別から選択
	画面名(下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	条件名		200	全半角文字	
種別条件設定新規登録/編集	画面名(上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択 編集時は参照項目
	画面名(下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択 編集時は参照項目
	条件名	★	50	全半角文字	
	表示順		8	全半角文字	
種別適用設定管理(検索条件)	画面名(上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名(下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	種別データ名		100	全半角文字	
種別適用設定新規登録/編集	画面名(上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名(下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	システム	★	-	コンボボックス	登録済のシステムから選択

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
	種別データ名	★	-	種別データ選択	登録済の種別データより選択
	適用条件	★	-	種別条件選択	登録済の種別条件より選択
	ステータス	★	-	ラジオボタン	システム固定値から選択
	優先順位	★	8	全半角文字	
コード値別必須制御マスタ管理（検索条件）	画面名（上段）	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名（下段）	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	コード種別	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	システム	★	-	コンボボックス	登録済のシステムから選択
コード自動選択設定（検索条件）	画面名（上段）	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名（下段）	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	システム	★	-	コンボボックス	登録済のシステムから選択
コード値別編集制御マスタ（検索条件）	画面名（上段）	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名（下段）	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	コード種別	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
コード値別編集制御マスタ編集	表示形式	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	ステータス	★	-	ラジオボタン	
Senju/SM間連携設定（検索条件）	画面名（上段）	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名（下段）	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
Senju/SM間連携設定新規登録／編集	連携機能	★	-	ラジオボタン	システム固定値から選択
	自WEBサーバーホスト名	★	128	半角文字	
	自アクセスキー	★	16	半角英数字、特殊記号（※）	※「!#\$%&'=~`<>_ ^:;, /¥ () {+*} ? - @ [ ] . ""」が入力できます。
Senju/SM間連携先設定新規登録／編集	連携先WEBサーバーホスト名	★	128	半角文字	
Senju/SM間連携元設定新規登録／編集	連携元設定名	★	80	全半角文字	
	連携元 WEB サーバーホスト名	★	128	半角文字	
	接続プロトコル	★	-	コンボボックス	
	アクセスキー	★	16	半角英数字、特殊記号（※）	※「!#\$%&'=~`<>_ ^:;, /¥ () {+*} ? - @ [ ] . ""」が入力できます。
ランブックテンプレート管理（検索条件）	画面名（上段）	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名（下段）	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
ランブックテンプレート管理 新規登録／編集	画面名（上段）	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名（下段）	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	システム	★	-	コンボボックス	
	テンプレート名	★	80	全半角文字	
	ステータス	★	-	ラジオボタン	
	表示順		8	全半角文字	
ESPシステムマスタ管理（検索条件）	接続先名		200	半角英数字	
	ESP システム ID		200	半角英数字	
	ESP システム名		200	全半角文字	
	ESP サーバー名		200	半角英数字	
	ESP ホスト名		200	半角英数字	
ESPシステムマスタ管理 新規登録／編集	接続先名	★	-	接続先選択	登録済の接続先より選択 ※ただし最大桁数が 256 の接続先名のみ
	ESP システム ID	★	11	半角英数字、特殊記号（※）	※「!#\$%&'=~`<>_ ^:;, /¥ () {+*} ? - @ [ ] . ""」が入力できます。
	ESP システム名		64	全半角文字	
	ESP サーバー名		20	半角英数字、特殊記号（※）	※「!#\$%&'=~`<>_ ^:;, /¥ () {+*} ? - @ [ ] . ""」が入力できます。
	ESP ホスト名		256	半角英数字、特殊記号（※）	※「!#\$%&'=~`<>_ ^:;, /¥ () {+*} ? - @ [ ] . ""」が入力できます。
	表示順		8	全半角文字	
接続先選択	画面名（上段）	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名（下段）	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択



画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
	接続先名		200	全半角文字	
業務ステータスマスタ管理	画面名 (上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名 (下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	使用する		-	チェックボックス	
	区分		-	コンボボックス	システム固定値から選択
	ガイダンス		4000	全半角文字	
送信メッセージテンプレート管理 (検索条件)	画面名 (上段)		-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名 (下段)		-	コンボボックス	システム固定値から選択
	送信メッセージ名		100	全半角文字	
送信メッセージテンプレート管理 新規登録/編集	画面名 (上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名 (下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	送信メッセージ名	★	80	全半角文字	
	送信メッセージ	★	-	全半角文字、特殊記号 (※)	※「!#\$%&'=~`<>_ ^:;, /¥ () [+*]? - @ [ ] . ""」が入力できます。
	表示順		8	全半角文字	
Webhook 送信設定管理 (検索条件)	画面名 (上段)		-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名 (下段)		-	コンボボックス	システム固定値から選択
	システム		-	コンボボックス	登録済のシステムから選択
	Webhook 送信名		100	全半角文字	
Webhook 送信設定管理 新規登録/編集画面	画面名 (上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名 (下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	システム	★	-	コンボボックス	登録済のシステムから選択
	Webhook 送信名	★	80	全半角文字	
	トリガーアクション	★	-	コンボボックス	
	Webhook の URL	★	4000	全半角文字 (※)	http://、https:// 以外から始まる場合は入力不可 Webhook の URL に以下の文字列は使用できません。  「」 ※「」内を対象
	認証ユーザー		500	全半角文字	外部サービスの認証方式に応じて、認証ユーザーを設定する。 対応：Webhook・トークン認証 未対応：Basic 認証・OAuth2.0
	HTTP ヘッダー		500	半角英数字、特殊記号 (※)	外部サービスの認証方式に応じて、HTTP ヘッダーを設定する。 対応：Webhook・トークン認証 未対応：Basic 認証・OAuth2.0 ※「!#\$%&'=~`<>_ ^:;, /¥ () [+*]? - @ [ ] . ""」が入力できます。
	送信メッセージ名	★	-	送信メッセージテンプレート選択	登録済の送信メッセージテンプレートより選択
	ステータス	★	-	ラジオボタン	
	レスポンス受信アクション	★	-	ラジオボタン	Webhook 連携ライセンス がない場合は参照項目となり入力不可
表示順		8	全半角文字		
WEBAPI 設定管理画面 (検索条件)	画面名 (上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名 (下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
WEBAPI 設定編集画面	WEBAPI の URL	★	4000	全半角文字 (※)	http://、https:// 以外から始まる場合は入力不可 Webhook の URL に以下の文字列は使用できません。  「」 ※「」内を対象
	HTTP ヘッダー		500	半角英数字、特殊記号 (※)	外部サービスの認証方式に応じて、HTTP ヘッダーを設定する。 対応：Webhook・トークン認証 未対応：Basic 認証・OAuth2.0

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
					※「!#\$%&'=~`<>_ ^:;, /¥ () {+*} ? - @[ ] . ""」が入力できません。
	ステータス	★	-	ラジオボタン	
ナビゲーション設定 管理新規登録/ 編集画面	画面名 (上段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	画面名 (下段)	★	-	コンボボックス	システム固定値から選択
	ビュー名	★	-	コンボボックス	ビュー名から選択
	ナビゲーション名	★	80	全半角文字	
	ステータス	★	-	ラジオボタン	
	表示順		8	全半角文字	
	ブロック名		-	コンボボックス	ブロック名から選択
	説明		4000	全半角文字	
Senju/SMコマンド 実行(検索条件)	タイトル		200	全半角文字	
	登録者		200	全半角文字	
	最終更新日時 (日付) (FROM-TO)		-	日付	
	最終更新日時 (時刻) (FROM-TO)		-	時刻	
Senju/SMコマンド 実行新規登録 ※共通	タイトル	★	80	全半角文字	
	コマンド種別	★	-	コンボボックス	
Senju/SMコマンド 実行編集 ※共通	タイトル	★	80	全半角文字	
Senju/SMコマンド 実行 新規登録/編集 ※データ登録コマ ンド	案件種別名	★	-	コンボボックス	
	インポートファイル	★	-	インポートファ イル選択	
	マッピングアイテムフ ァイル	★	-	マッピングアイ テムファイル選 択	
	備考		4000	全半角文字	
Senju/SMコマンド 実行 新規登録/編集 ※マスタ登録コマ ンド	マスタ名	★	-	コンボボックス	
	インポートファイル	★	-	インポートファ イル選択	
	備考		4000	全半角文字	
Senju/SMコマンド 実行 新規登録/編集 ※コード登録コマ ンド	インポートファイル	★	-	インポートファ イル選択	
	備考		4000	全半角文字	
Senju/SMコマンド 実行 新規登録/編集 ※分類マスタ登録 コマンド	インポートファイル	★	-	インポートファ イル選択	
	備考		4000	全半角文字	
Senju/SMコマンド 実行 新規登録/編集 ※構成反映コマ ンド	備考		4000	全半角文字	
Senju/SMコマンド 実行 新規登録/編集 ※操作ログ取得コ マンド	取得日 (FROM-TO)		-	日付	
	備考		4000	全半角文字	
Senju/SMコマンド 実行 新規登録/編集 ※過去データ削除 コマンド	案件区分	★	-	コンボボックス	
	削除条件対象種別	★	-	コンボボックス	
	削除対象日 (FROM-TO)	★	-	日付	
	削除対象ファイル	★	-	ファイル選択	
	備考		4000	全半角文字	
インポートファ イル追加	インポートファイル	★	-	ファイル選択	
マッピングアイテ	マッピングアイテムフ	★	-	ファイル選択	

画面名	項目名	必須	最大桁数	型	その他
ムファイル追加	ファイル				

## 1.1.10 コンフィグレータの登録件数制限

コンフィグレータの各機能の登録件数の制限を以下に示します。

### 1.1.10.1 SSM DB サーバーコンフィグレータ

SSM DB サーバーコンフィグレータの各機能の登録件数の制限を以下に示します。

機能名	サブ機能名	登録可能最大件数
拡張設定	Active Directory 認証設定	100

## 1.1.11 Amazon for Oracle Database/PostgreSQL Database のご利用 における制限

---

- 1) データ移行コマンド(expdp,impdp)はご使用できません。SSM DB サーバー及び SSM WEB サーバーが稼働するノードでの、OS システム日時の変更には注意して下さい。特に時間を戻す場合には、登録日時等の不整合が発生する可能性があります。

## 1.2 機能別の参考資料

Senju Service Manager を使用するにあたって、参考となる資料を機能別に記載します。

### 1.2.1 ステータス一覧

レコードのステータスを示す値が自動設定される項目について記します。

画面	項目	値	説明
プロセス管理	ステータス	新規	インストール時、初期登録されている値です。コードマスタ管理で更新／削除できます。
		受付済	同上
		クローズ	プロセス管理でレコードをクローズした場合に自動設定する値です。削除できません。
	状況 問合せ	問合せ中	簡易プロセスで問合せを行った場合に設定されます。 (問合せが一度も行われない場合は未設定です)
		回答有	プロセスで回答を行った場合に設定されます。
	申請状況	申請前	レコード起票時に設定されます。
		申請中	承認申請を行った場合に設定されます。
		承認済	承認フローが完了した場合に設定されます。
		却下	承認フローを却下した場合に設定されます。
	構成管理	承認ステータス	申請起票前
申請前			予定の申請起票を行ったが、プロセスで承認申請が行われていない構成アイテム（構成管理）のレコードであることを示します。
申請中			予定の申請起票を行い、プロセスで承認申請中の構成アイテム（構成管理）のレコードであることを示します。
承認済			予定の申請起票を行い、プロセスで承認された構成アイテム（構成管理）のレコードであることを示します。
却下			予定の申請起票を行い、プロセスで承認申請が行われたが却下された構成アイテム（構成管理）のレコードであることを示します。
承認不要			データ登録コマンド（sjSPU_ImportData.exe）で、プロセスでの承認が不要かつ即時反映ではない予定が起票された構成アイテム（構成管理）のレコードであることを示します。
承認不要（反映）		データ登録コマンド（sjSPU_ImportData.exe）で、プロセスでの承認が不要かつ即時反映の予定が起票された構成アイテム（構成管理）のレコードであることを示します。 ※一度でも Web 画面から申請起票を行った場合、上記コマンドで登録されたレコードでも、直近の構成アイテム（構成管理）の履歴の承認ステータスが表示されます。	
状況 要員割当状	未割当	「関連要員」が未設定（現在の構成、最新の構成の両方で関連要員が未設定の場合）の際に設定されます。	
	割当前	「関連要員」が設定済みかつ「現在の構成」へ適用前（最新の構成にのみ関連要員が設定されている場合）の際に設定されます。	

画面	項目	値	説明
		割当済	「関連要員」が設定済且つ「現在の構成」へ適用済（現在の構成に関連要員が設定されている場合）の際に設定されます。
ナレッジ	申請状況		プロセス管理の申請状況に同じです。

## 1.2.2 メール送信仕様まとめ

Senju Service Manager で送信するメールについての仕様を本章にまとめます。

### 1.2.2.1 送信メール一覧

Senju Service Manager ではレコードの情報を引用したメールを送信することができます。送信できるメールについては以下の一覧を参照してください。

#### 【一覧の見方】

- ・送信画面列はどの画面のレコードからメール送信が行われるかを示します。
- ・送信画面列の列ヘッダーは以下を示します。
  - 「プ」：プロセス管理から送信するメール。
  - 「問申」：問合せ・申請から送信するメール。
  - 「ナ」：ナレッジから送信するメール
- ・送信先アカウント区分列の列ヘッダーは以下を示します。
  - 「S」：送信先がサービスデスク。
  - 「E」：送信先がエンドユーザー。
  - 「M」：送信先がメールアドレス指定。
- ・送信先アカウント区分列は、メールの送信先のユーザーのアカウント区分を示します。
  - 「固」：メールが送信され、かつメール内容が固定。
  - 「カ」：メールが送信され、かつメール内容がカスタマイズ可能。
  - 「-」：メールが送信されない。



仕様補足



仕様補足

メール内容が固定のメールアクションの場合、Senju Service Manager 標準のテンプレートでメール送信が行われます。



仕様補足

No.7「承認フロー完了通知」で送信されるメールは、No.20「承認通知」のテンプレートを使用します。



No	メールアクション	送信タイミング	送信先	送信画面			送信先		
				プ	問申	ナ	S	E	M
1	手動メール	メール編集からのメール送信時	メール編集の宛先、CC、BCCに設定したメールアドレス	○	×	×	カ	カ	カ
2	問合せ	簡易プロセス詳細からの問合せ時	レコードに設定したシステムの担当者	×	○	×	カ	-	-
3	問合せ(通知)	同上	特定の条件をすべて満たすユーザー※	×	○	×	カ	-	-
4	回答	プロセス経過追加による回答時	直近の問合せを行ったユーザー	○	×	×	-	カ	-
5	回答(通知)	同上	特定の条件をすべて満たすユーザー※	○	×	×	-	カ	-
6	完了	簡易プロセス詳細からの完了時	直近に回答を行ったユーザー(未回答時はレコードに設定したシステムの担当者)	×	○	×	カ	-	-
7	承認フロー完了通知	承認フローの最終ルート完了時	項目「承認フロー完了通知」に設定したメールアドレス	○	○	×	-	-	固
8	エスカレーション	プロセス詳細からのエスカレーション時	エスカレーション先ユーザー	○	×	×	カ	カ	-
9	エスカレーション(通知)	同上	通知先ユーザー	○	×	×	カ	カ	-
10	承認依頼	承認フローのルート進行時 ※次ルートのアクションが「承認」	次ルートの本来承認者	○	○	○	カ	カ	-
11	承認依頼(通知)	同上	通知先ユーザー	○	○	○	カ	カ	-
12	代理承認依頼(※1)	同上	次ルートの本来承認者の代理承認者	○	○	○	カ	カ	-
13	確認依頼	承認フローのルート進行時 ※次ルートのアクションが「確認」	次ルートの本来承認者	○	○	○	カ	カ	-
14	確認依頼(通知)	同上	通知先ユーザー	○	○	○	カ	カ	-
15	代理確認依頼(※1)	同上	次ルートの本来承認者の代理承認者	○	○	○	カ	カ	-
16	作業依頼	承認フローのルート進行時 ※次ルートのアクションが「作業」	次ルートの本来承認者	○	○	○	カ	カ	-
17	作業依頼(通知)	同上	通知先ユーザー	○	○	○	カ	カ	-
18	代理作業依頼(※1)	同上	次ルートの本来承認者の代理承認者	○	○	○	カ	カ	-
19	承認	承認フローの最終ルート完了時	承認フローの申請者	○	○	○	カ	カ	-
20	承認(通知)	同上	通知先ユーザー	○	○	○	カ	カ	-
21	差戻し	承認フローの差戻し時	次ルートの本来承認者	○	○	○	カ	カ	-
22	差戻し(通知)	同上	通知先ユーザー	○	○	○	カ	カ	-
23	差戻し(代理)(※1)	同上	次ルートの本来承認者の代理承認者	○	○	○	カ	カ	-
24	却下	承認フローの却下時	承認フローの申請者	○	○	○	カ	カ	-
25	却下(通知)	同上	通知先ユーザー	○	○	○	カ	カ	-
26	申請中自動(通知)	申請状況通知コマンド sjSPX_ChkEscaCond.exe 実行時	現在対応者	○	×	×	カ	カ	-
27	自動メール通知通知種別1(コマンド)	自動メール通知コマンド sjSPX_ChkElapsedTime.exe 実行時	自動メール通知ルートの通知先ユーザー	○	×	×	カ	カ	-
28	自動メール通知通知種別1クローズ(コマンド)	同上	自動メール通知コマンドでメール送信が行われた全ユーザー	○	×	×	カ	カ	-
29	自動メール通知通知種別2(コマンド)	同上	自動メール通知ルートの通知先ユーザー	○	×	×	カ	カ	-
30	評価(通知)	プロセス詳細または簡易プロセス詳細からの完了時	レコードの問合せ者または申請者	○	○	×	カ	カ	-



仕様補足

※以下の条件をすべて満たすユーザーが対象となります。

- ・ 指定された公開グループの主担当であること
- ・ システム主担当ではないこと(No.3)／起票者ではないこと(No.5)
- ・ 対象データの画面ポリシー(簡易プロセス X)を持っており、対象データのシステムで参照権限(簡易プロセス Xの「簡易プロセスの使用」)があること  
または、対象データの画面ポリシー(プロセス X)を持っており、対象データのシステムで参照権限(プロセス Xの「データの参照」)があること
- ・ 対象データの画面の制御情報「問合せ／回答時の自動メール送信設定」が「メール送信する」に設定されていること
- ・ 対象データの画面の制御情報「問合せ／回答メール送信時のグループ主担当への自動メール送信設定」が「メール送信する」に設定されていること
- ・ ユーザーが有効であること

## 1.2.2.2 制限事項一覧

メール送信機能の全般に関する制限事項を以下に記します。

### 1. 共通（手動送信メール、自動送信メール、コマンド送信メール）

メール送信機能を使用する場合、事前に以下の設定を行う必要があります。

- ・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 共通 > 共通]

管理項目名
SMTP サーバー名
SMTP ポート番号
メール送信時の接続形態
SMTP 認証時の認証方式
SMTP 認証時のアカウント ※1
SMTP 認証時のパスワード ※1



必須設定

- ・ [管理者メニュー > 機能別 > メール送信設定 > 送信元設定]

メールアドレス設定
最低 1 件のメールアドレスを登録していること ※2

※1…SMTP サーバーを使用している場合、設定してください。

※2…手動送信メールの設定については「2 手動送信メール」も参照してください。



必須設定

SMTPS 認証を行う場合は、メール送信サーバーに証明書をインストールする必要があります。詳しくは「1.2.2.6 ケーススタディ（自動メール通知ルートの適用）」を参照してください。



補助設定

メール編集で本文へ入力可能な最大文字数 (Byte) を設定します。0 の場合は、無制限になります。自動送信メールの場合、指定された最大文字数 (Byte) で本文を切捨てます。

- ・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 共通 > 共通]

管理項目名
メール件名最大入力文字数 (Byte)
メール本文最大入力文字数 (Byte)



補助設定

以下の設定については任意に設定を変更してください。

- ・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 共通 > 共通]

管理項目名
メールテンプレートの引用符



仕様補足

Senju Service Manager では、Senju Service Manager から送信される全てのメールに対して、メールヘッダー「X-Mailer」と「Organization」に「Senju Service Manager」を設定します。



仕様補足

Senju Service Manager で送信するメールでは送信元メールアドレス、宛先、CC、BCC をフレーズパート方式（ユーザー名<メールアドレス>形式）で送信します。

※メール編集ではユーザー名の指定は任意入力ですが、上記形式で送信可能です。

※ユーザー名が指定されている場合は、必ずユーザー名の前後に「”（ダブルクォート）」が付加されます。またユーザー名に特殊記号「”」「¥」が含まれている場合は、その文字の前に「¥」が付与されます。



仕様補足

その他の仕様補足については「1.2.2.5 ケーススタディ（メール送信フロー）」内で確認してください。



仕様補足

[Message-ID]はメール編集画面から送信するメールに限り、値が設定されます。承認申請機能およびエスカレーション機能を利用した場合に自動送信されるメールにつきましては、[Message-ID]に値が設定されることはありません。



仕様補足

[Message-ID]は、同一チケットであってもメール送信毎に異なる ID を発行して付与します。



仕様補足

承認フローの承認者と自動メール通知の通知先はともに「職責」でユーザーの指定を行うことができますが、仕様が異なります。

○承認フロー

・承認申請を行った時点で、該当の職責に所属するユーザーに対してメール送信を行います。そのため、承認申請中にユーザーの職責が変更された場合でも、メール送信を行います。

○自動メール通知

・プロセスのレコードに自動メール送信ルートが実行された時点で、該当の職責に所属するユーザーに対してメール送信を行います。そのため、プロセスのレコードに自動メール送信ルートが適用された段階では該当の職責に所属していないユーザーであっても、メール送信が行われる時点で該当職責に所属している場合はメール送信が行われます。

## 2. 手動送信メール



必須設定

手動メール送信機能を使用する場合、事前に以下の設定を行う必要があります。

- ・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 共通 > 共通]  
以下のいずれかの設定が「メールアドレスを表示する」であること。  
またいずれかのメールアドレスが設定されていること。
- ・ 該当のメールアドレスがメール編集の送信者に表示されます。

管理項目名
全システム共通メールアドレスのメール編集画面表示制御設定
ログインユーザー(メールアドレス1)のメール編集画面表示制御設定
ログインユーザー(メールアドレス2)のメール編集画面表示制御設定



補助設定

[ホーム > ユーザー設定 > デフォルト設定]で設定するデフォルトの送信元メールアドレスを設定できます。

設定項目
デフォルトメール送信者アドレス



補助設定

送信するメールの内容をあらかじめテンプレートとして登録できます。

設定画面
[管理者メニュー > 機能別 > メールテンプレート > メールテンプレート]

※テンプレートで使用できる置換文字列については「1.2.2.3 置換文字列一覧（メールテンプレート）」を参照してください。



補助設定

宛先・CC・BCCに設定したメールアドレスの形式をチェックできます。

設定画面

[管理者メニュー > 機能別 > メール送信設定  
> メールアドレスチェック設定]



補助設定

以下の設定については任意に設定を変更してください。

- ・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 共通 > 共通]
- ・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 利用者メニュー > プロセス管理]

管理項目名

メール送信先リスト表示制御設定

メール送信先選択元リスト表示制御設定

メール送信後経過追加時のメール内容自動転記設定

メール送信後経過追加時の自動経過登録設定

プロセス詳細画面の[メール送信]ボタン表示制御設定

メール編集画面のボタン制御設定



補助設定

以下の設定を行うことにより添付ファイルが存在するメールを送信する場合に警告メッセージを表示します。

- ・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 共通 > 共通]

管理項目名

メール添付ファイル存在時の警告メッセージ表示設定



仕様補足

プロセス管理の[メール送信]ボタンから送信される全てのメールに対して、メールヘッダー「Message-ID」にプロセスのレコードを特定する値を設定し、「References」に対して[NULL]を設定します。



仕様補足

送信メール設定でメールテンプレートにレコードの値をコピーする置換文字列を指定した時、ログインユーザーが該当項目を表示できない場合、置換処理は行われません。また経過情報の置換文字列を指定した時、ログインユーザーに該当画面の「経過情報の参照」職責を持っていない場合、置換処理は行われません。



仕様補足

宛先を指定せず、CC、BCCのみを指定してメール送信することはできません。



仕様補足

宛先、CC、BCでメールアドレスに使用できる文字は半角英数、「-」、「.」、「@」、「\_」のみです。

上記以外の文字が含まれていた場合、入力チェックで不正となり送信できません。※チェック対象の文字列はメールアドレス部分のみです。「送信先ユーザー名<メールアドレス部分>」形式の場合、送信先ユーザー名は上記チェックの対象外です。



仕様補足

リッチテキスト項目および手動メール送信の内容項目は1000万バイトまで入力することが可能ですが、リッチテキスト項目を利用してメール送信をする際には、HTMLメールに必要となるタグ情報を追加するため、リッチテキスト項目を上限まで登録するとメール送信が出来ない場合があります。

### 3. 自動送信メール



必須設定

送信対象となるユーザーにメールアドレスが設定されている必要があります。  
自動送信時に使用されるメールアドレス項目は「メールアドレス 1」固定です。



補助設定

送信するメールの内容をあらかじめカスタマイズできます。

## 設定画面

[管理者メニュー > 機能別 > メールテンプレート  
> メールテンプレート(自動送信)]

※テンプレートで使用できる置換文字列については「1.2.2.4 置換文字列一覧 (メールテンプレート(自動送信))」を参照してください。



補助設定

以下の設定については任意に設定を変更してください。

- ・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 共通 > 共通]
- ・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 利用者メニュー > プロセス管理]

管理項目名
自動送信メールの複数宛先時の送信先制御設定
エスカレーションのメール送信の初期値
関連登録時のエスカレーションメール送信
問合せ/回答時の自動メール送信設定
承認依頼のメール送信の初期値
一括承認時のメール送信の初期値
自動メール通知基準日時設定
自動メール通知機能利用設定
評価機能使用設定
業務ステータス自動エスカレーション機能使用設定



仕様補足

承認申請機能のメール送信が行われるタイミング・送信先は以下の通りです。

- ・ すべての承認条件を満たし次の申請ルートへ進んだ時  
⇒ 次ルートの本来承認者
- ・ 申請ルートの最終ルートの承認（確認、作業完了）時  
⇒ 申請者
- ・ 差戻し時  
⇒ 差戻し先ルートの本来承認者
- ・ 却下時  
⇒ 申請者



仕様補足

[管理者メニュー > 機能別 > メールテンプレート > メールテンプレート(自動送信)]で、とあるメールアクションに対して全システム共通と個別システムのテンプレートが登録されている場合、個別システムのテンプレートが優先されます。



仕様補足

メール送信時にメール送信が行われなかった場合に警告メッセージが表示されます。メール送信が行われなかった場合は、メールサーバーに送信されるエラーメールや、ユーザーのメールアドレスが正しく設定されているかを確認してください。



仕様補足

メールテンプレート(自動送信)でメールテンプレートにレコードの値をコピーする置換文字列を指定した時、ログインユーザーが該当項目を表示できない場合、置換処理は行われません。

また経過情報の置換文字列を指定した時、ログインユーザーに該当画面の「経過情報の参照」職責を持っていない場合、置換処理は行われません。



仕様補足

評価機能の評価依頼メール送信が行われる送信先は以下の通りです。

- ・ 問合せ機能を利用する場合  
⇒ 問合せ者/再問合せ者
- ・ 承認申請機能を利用する場合  
⇒ 申請者/再申請者



仕様補足

以下の画面から行われる自動メール送信はユーザーのステータスが無効である場合、メール送信を行いません。

【対象画面】

- ・ 承認フローの各依頼メール（承認依頼、確認依頼、作業依頼、承認、差戻し、却下）
- ・ 問合せメール（システムの主担当）
- ・ 問合せ通知メール（公開グループの主担当者）
- ・ 回答メール（直近の問合せ者）
- ・ 回答通知メール（公開グループの主担当者）
- ・ 完了メール
- ・ 一時停止解除実施依頼メール（システムの一時停止解除実施者）
- ・ 新規登録メール（業務ステータスマスタから設定したエスカレーション先）
- ・ 新規登録通知メール（業務ステータスマスタから設定した通知先）
- ・ 業務ステータス変更メール（業務ステータスマスタから設定したエスカレーション先）
- ・ 業務ステータス変更通知メール（業務ステータスマスタから設定した通知先）

## 4. コマンド送信メール



必須設定

自動メール通知コマンド (sjSPX\_ChkElapsedTime.exe) を使用する場合、事前に以下の設定を行う必要があります。

- ・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 利用者メニュー > プロセス管理]

管理項目名
自動メール通知機能利用設定



補助設定

自動メール通知コマンド (sjSPX\_ChkElapsedTime.exe) で、メールの送信判定を行う基準日を変更することができます。

- ・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 利用者メニュー > プロセス管理]

管理項目名
自動メール通知基準日時設定



仕様補足

コマンドでメール送信を行った時、送信先に無効なユーザーが含まれていた場合、メール送信は行われません。



仕様補足

送信先に指定したユーザーまたは職責に所属するユーザーが、送信対象のレコードの参照権限を持っていない場合、メール送信は行われません。



仕様補足

コマンドでメールを送信する場合、送信先のユーザーの詳細画面の表示項目に関わらず、自動送信メール設定で指定した全置換文字列の値が展開されます。すべてのユーザーが参照できてよい項目を指定してください。

## 5. イベント連携送信メール



必須設定

イベント連携デーモンでエスカレーションメールを送信する機能を使用する場合、事前に以下の設定を行う必要があります。

- ・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 利用者メニュー > プロセス管理]

管理項目名
イベント連携時のメール送信の設定



仕様補足

下記の場合、イベント連携デーモンでエスカレーションメールが送信できます。

- ・ 001 モードでエスカレーション先が指定されたプロセスを新規登録する場合。
- ・ 存在しないレコードに対し 102 モードで更新、かつプロセス管理を新規登録する条件を満たしている場合。
- ・ 存在しないレコードに対し 116 モードで経過追加し、かつプロセス管理を新規登録する条件を満たしている場合。



仕様補足

メールで利用されるメールテンプレートは以下となります。  
自動送信メール設定のメールアクション：エスカレーション



制限事項

- ・ イベント連携デーモンでメール送信を行った時、送信先に無効なユーザーが含まれていた場合、メール送信は行われません。
- ・ 置換文字列で変換されるプロセスの各項目の内容は、メール送信時点でのプロセスの最新の内容となります。
- ・ メール送信時に References ヘッダーにエスカレーションコメントに設定した情報が付加されます。



## 1.2.2.3 置換文字列一覧（メールテンプレート）

[管理者メニュー > 機能別 > メールテンプレート > メールテンプレート]では以下の置換文字列を使用できます。

名称	置換文字列	説明
現在日付	%CMN:DATE%	現在日付で置換します。 書式:YYYY/MM/DD(曜日)
現在時刻	%CMN:TIME%	現在時刻で置換します。 書式:hh:mm:ss
ログインユーザー名	%CMN:LOGIN_USER_NAME%	ログインユーザー名で置換します。
ログインユーザー備考	%CMN:LOGIN_USER_REMARK%	ログインユーザーの備考で置換します。
Senju Service Manager の URL	%CMN:LOGIN_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、ログイン画面の URL を表示します。
引用符	%CMN:QUOTATION_MARKS%	管理者メニューの制御情報で設定される「メールテンプレートの引用符」の設定値を表示します。 初期設定では「>」となっています。
画面名	%CMN: DATA_TYPE_NAME%	画面名を表示します。
エスカレーション	%PRC:ES_TO_USER%	現在対応者を表示します。
プロセス新規登録画面用アクセス URL	%PRC:ADD_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、プロセス新規登録画面の URL を表示します。
プロセス新規登録画面用 SAML 認証用アクセス URL	%PRC:ADD_SAML_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、プロセス新規登録画面の SAML 認証用 URL を表示します。
簡易プロセス新規登録画面用アクセス URL	%PRC:ADD_PORTAL_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、簡易プロセス新規登録画面の URL を表示します。
簡易プロセス新規登録画面用 SAML 認証用アクセス URL	%PRC:ADD_SAML_PORTAL_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、簡易プロセス新規登録画面の SAML 認証用 URL を表示します。



仕様補足

プロセスのレコードの値を引用する置換文字列については別紙「項目一覧」で確認してください。



仕様補足

引用符の置換文字列を使用する際は、以下の点に注意してください。

- 引用符の置換文字列は、直後の文字列の前に記載されます。

%CMN:QUOTATION\_MARKS%%CMN:DATE%

⇒ >2016/04/01

- 引用符の置換文字列と引用符を付ける対象の文字列の間に改行や空白が入っている場合は対象文字列の前に引用符は記載されません。

%CMN:QUOTATION\_MARKS% (改行)

%CMN:DATE%

⇒ > (改行)

2016/04/01

※(改行)は改行箇所を表しています。

## 1.2.2.4 置換文字列一覧（メールテンプレート（自動送信））

[管理者メニュー > 機能別 > メールテンプレート > メールテンプレート(自動送信)]では以下の置換文字列を使用できます。



仕様補足

プロセスのレコードの値を引用する置換文字列については別紙「項目一覧」で確認してください。

### 1. 自動送信メール（エスカレーション）

以下の画面・メールアクションを選択した場合の置換項目を記します。

画面名
プロセス管理
メールアクション
エスカレーション
エスカレーション(通知)

名称	置換文字列	説明
現在日付	%CMN:DATE%	現在日付で置換します。 書式: YYYY/MM/DD(曜日)
現在時刻	%CMN:TIME%	現在時刻で置換します。 書式: hh:mm:ss
ログインユーザー名	%CMN:LOGIN_USER_NAME%	ログインユーザー名で置換します。
画面名	%CMN: DATA_TYPE_NAME%	画面名で置換します。
申請者	%CMN:APPLY_USER%	承認申請を行ったユーザー名で置換します。
メール送信先ユーザー	%CMN:MAIL_RECIPIENT_USER%	本置換文字列を設定することはできませんが、必ず空で置換されます。
エスカレーション先	%PRC:ES_TO_USER%	エスカレーション先に選択したユーザー名で置換します。
エスカレーションコメント	%PRC:ES_COMMENT%	エスカレーションダイアログで入力したコメントで置換します。 ※置換が行われた場合、固定の文言「[コメント]」がコメントの前に付与されません。
承認フローコメント	%PRC:WF_COMMENT%	本置換文字列を設定することはできませんが、必ず空で置換されます。
簡易画面用アクセス URL	%PRC:PORTAL_ACCESS_URL%	簡易画面用のレコードのアクセス URL で置換します。
プロセス新規登録画面用アクセス URL	%PRC:ADD_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、プロセス新規登録画面の URL を表示します。
プロセス新規登録画面用 SAML 認証用アクセス URL	%PRC:ADD_SAML_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、プロセス新規登録画面の SAML 認証用 URL を表示します。
簡易プロセス新規登録画面用アクセス URL	%PRC:ADD_PORTAL_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、簡易プロセス新規登録画面の URL を表示します。

名称	置換文字列	説明
簡易プロセス新規登録画面用 SAML 認証用アクセス URL	%PRC:ADD_SAML_PORTAL_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、簡易プロセス新規登録画面の SAML 認証用 URL を表示します。
【ラベル】システム	%LBL:SYSTEM_NAME%	項目名称で置換します。
【ラベル】タイトル	%LBL:TITLE%	〃
【ラベル】エスカレーション	%LBL:ESCALATION%	〃
【ラベル】通知	%LBL:NOTICE%	〃
【ラベル】エスカレーション先	%LBL:ES_TO_USER%	〃
【ラベル】承認	%LBL:APPROVAL%	〃
【ラベル】却下	%LBL:REJECT%	〃
【ラベル】差戻し	%LBL:SENDBACK%	〃
【ラベル】承認依頼	%LBL:APPROVAL_REQUEST%	〃
【ラベル】確認依頼	%LBL:CONFIRM_REQUEST%	〃
【ラベル】作業依頼	%LBL:WORK_REQUEST%	〃
【ラベル】申請日時	%LBL:APPLY_YMDHMS%	〃
【ラベル】承認日時	%LBL:APPROVAL_YMDHMS%	〃
【ラベル】却下日時	%LBL:REJECT_YMDHMS%	〃
【ラベル】差戻し日時	%LBL:SENDBACK_YMDHMS%	〃
【ラベル】起票日時	%LBL:CREATE_YMDHMS%	〃
【ラベル】申請者	%LBL:APPLY_USER%	〃
【ラベル】承認者	%LBL:APPROVAL_USER%	〃
【ラベル】却下者	%LBL:REJECT_USER%	〃
【ラベル】差戻者	%LBL:SENDBACK_USER%	〃
【ラベル】起票者	%LBL:CREATE_USER%	〃
【ラベル】問合せ	%LBL:REQUEST%	〃
【ラベル】申請	%LBL:APPLY%	〃
【ラベル】回答	%LBL:REPLAY%	〃
【ラベル】完了	%LBL:FIN%	〃
【ラベル】問合せ・申請	%LBL:REQUEST_APPLY%	〃
【ラベル】レコード ID	%LBL:PRC_ID%	〃
【ラベル】メール送信先ユーザー	%LBL:MAIL_RECIPIENT_USER%	〃

## 2. 自動送信メール（プロセス管理：承認依頼～却下、問合せ～完了、一時停止解除実施依頼（通知））

以下の画面・メールアクションを選択した場合の置換項目を記します。

画面名
プロセス管理
メールアクション
承認依頼
確認依頼
作業依頼
代理承認依頼
代理確認依頼
代理作業依頼
承認
差戻し
差戻し(代理)
却下
承認依頼(通知)
確認依頼(通知)
作業依頼(通知)
承認(通知)

画面名
差戻し(通知)
却下(通知)
問合せ
回答
完了
問合せ(通知)
回答(通知)
一時停止解除実施依頼(通知)

名称	置換文字列	説明
現在日付	%CMN:DATE%	現在日付で置換します。 書式: YYYY/MM/DD(曜日)
現在時刻	%CMN:TIME%	現在時刻で置換します。 書式: hh:mm:ss
ログインユーザー名	%CMN:LOGIN_USER_NAME%	ログインユーザー名で置換します。
画面名	%CMN: DATA_TYPE_NAME%	画面名で置換します。
申請者	%CMN:APPLY_USER%	承認申請を行ったユーザー名で置換します。
メール送信先ユーザー	%CMN:MAIL_RECIPIENT_USER%	メールを送信したユーザー名(通知先を除く)で置換を行います。
エスカレーション先	%PRC:ES_TO_USER%	次ルートの申請者/本来承認者のユーザー名で置換を行います。
エスカレーションコメント	%PRC:ES_COMMENT%	本置換文字列を設定することはできませんが、必ず空で置換されます。
承認フローコメント	%PRC:WF_COMMENT%	承認フロー選択および承認フローダイアログで入力したコメントで置換します。 ※置換が行われた場合、固定の文言「[コメント]」がコメントの前に付与されません。
簡易画面用アクセス URL	%PRC:PORTAL_ACCESS_URL%	簡易画面用のレコードのアクセス URL で置換します。
プロセス新規登録画面用アクセス URL	%PRC:ADD_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、プロセス新規登録画面の URL を表示します。
プロセス新規登録画面用 SAML 認証用アクセス URL	%PRC:ADD_SAML_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、プロセス新規登録画面の SAML 認証用 URL を表示します。
簡易プロセス新規登録画面用アクセス URL	%PRC:ADD_PORTAL_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、簡易プロセス新規登録画面の URL を表示します。
簡易プロセス新規登録画面用 SAML 認証用アクセス URL	%PRC:ADD_SAML_PORTAL_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、簡易プロセス新規登録画面の SAML 認証用 URL を表示します。
【ラベル】システム	%LBL:SYSTEM_NAME%	項目名称で置換します。
【ラベル】タイトル	%LBL:TITLE%	''
【ラベル】エスカレーション	%LBL:ESCALATION%	''
【ラベル】通知	%LBL:NOTICE%	''
【ラベル】エスカレーション先	%LBL:ES_TO_USER%	''
【ラベル】承認	%LBL:APPROVAL%	''
【ラベル】却下	%LBL:REJECT%	''
【ラベル】差戻し	%LBL:SENDBACK%	''

名称	置換文字列	説明
【ラベル】承認依頼	%LBL:APPROVAL_REQUEST%	''
【ラベル】確認依頼	%LBL:CONFIRM_REQUEST%	''
【ラベル】作業依頼	%LBL:WORK_REQUEST%	''
【ラベル】申請日時	%LBL:APPLY_YMDHMS%	''
【ラベル】承認日時	%LBL:APPROVAL_YMDHMS%	''
【ラベル】却下日時	%LBL:REJECT_YMDHMS%	''
【ラベル】差戻日時	%LBL:SENDBACK_YMDHMS%	''
【ラベル】起票日時	%LBL:CREATE_YMDHMS%	''
【ラベル】申請者	%LBL:APPLY_USER%	''
【ラベル】承認者	%LBL:APPROVAL_USER%	''
【ラベル】却下者	%LBL:REJECT_USER%	''
【ラベル】差戻者	%LBL:SENDBACK_USER%	''
【ラベル】起票者	%LBL:CREATE_USER%	''
【ラベル】問合せ	%LBL:REQUEST%	''
【ラベル】申請	%LBL:APPLY%	''
【ラベル】回答	%LBL:REPLAY%	''
【ラベル】完了	%LBL:FIN%	''
【ラベル】問合せ・申請	%LBL:REQUEST_APPLY%	''
【ラベル】レコードID	%LBL:PRC_ID%	''
【ラベル】メール送信先ユーザー	%LBL:MAIL_RECIPIENT_USER%	''

### 3. 自動送信メール（ナレッジ：承認依頼～却下）

以下の画面・メールアクションを選択した場合の置換項目を記します。

画面名
ナレッジ
メールアクション
承認依頼
確認依頼
作業依頼
代理承認依頼
代理確認依頼
代理作業依頼
承認
差戻し
差戻し(代理)
却下
承認依頼(通知)
確認依頼(通知)
作業依頼(通知)
承認(通知)
差戻し(通知)
却下(通知)

名称	置換文字列	説明
現在日付	%CMN:DATE%	現在日付で置換します。 書式: YYYY/MM/DD(曜日)
現在時刻	%CMN:TIME%	現在時刻で置換します。 書式: hh:mm:ss
ログインユーザー名	%CMN:LOGIN_USER_NAME%	ログインユーザー名で置換します。
画面名	%CMN:DATA_TYPE_NAME%	画面名で置換します。
申請者	%CMN:APPLY_USER%	承認申請を行ったユーザー名で置換します。
メール送信先ユーザー	%CMN:MAIL_RECIPIENT_USER%	メールを送信したユーザー名(通知先を除く)で置換を行います。
承認フローコメント	%KNW:WF_COMMENT%	承認フロー選択および承認フローダイアログで入力したコメントで置換します。 ※置換が行われた場合、固定の文言「[コメント]」がコメントの前に付与されません。
プロセス新規登録画面用アクセス URL	%PRC:ADD_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、プロセス新規登録画面の URL を表示します。
プロセス新規登録画面用 SAML 認証用アクセス URL	%PRC:ADD_SAML_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、プロセス新規登録画面の SAML 認証用 URL を表示します。
簡易プロセス新規登録画面用アクセス URL	%PRC:ADD_PORTAL_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、簡易プロセス新規登録画面の URL を表示します。
簡易プロセス新規登録画面用 SAML 認証用アクセス URL	%PRC:ADD_SAML_PORTAL_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、簡易プロセス新規登録画面の SAML 認証用 URL を表示します。

名称	置換文字列	説明
レコード ID	%KNW:ID%	レコードの値で置換します。
システム	%KNW:SYSTEM%	''
タイトル	%KNW:TITLE%	''
アクセス URL	%KNW:ACCESS_URL%	レコードのアクセス URL で置換します。
登録日	%KNW:CREATE_YMD%	レコードを登録した日付で置換します。
登録時刻	%KNW:CREATE_HMS%	レコードを登録した時刻で置換します。
登録者	%KNW:CREATE_USER%	レコードを登録したユーザー名で置換します。
最終更新日	%KNW:UPDATE_YMD%	レコードの値で置換します。
最終更新時刻	%KNW:UPDATE_HMS%	''
【ラベル】システム	%LBL:SYSTEM_NAME%	項目名称で置換します。
【ラベル】タイトル	%LBL:TITLE%	''
【ラベル】エスカレーション	%LBL:ESCALATION%	''
【ラベル】通知	%LBL:NOTICE%	''
【ラベル】エスカレーション先	%LBL:ES_TO_USER%	''
【ラベル】承認	%LBL:APPROVAL%	''
【ラベル】却下	%LBL:REJECT%	''
【ラベル】差戻し	%LBL:SENDBACK%	''
【ラベル】承認依頼	%LBL:APPROVAL_REQUEST%	''
【ラベル】確認依頼	%LBL:CONFIRM_REQUEST%	''
【ラベル】作業依頼	%LBL:WORK_REQUEST%	''
【ラベル】申請日時	%LBL:APPLY_YMDHMS%	''
【ラベル】承認日時	%LBL:APPROVAL_YMDHMS%	''
【ラベル】却下日時	%LBL:REJECT_YMDHMS%	''
【ラベル】差戻し日時	%LBL:SENDBACK_YMDHMS%	''
【ラベル】起票日時	%LBL:CREATE_YMDHMS%	''
【ラベル】申請者	%LBL:APPLY_USER%	''
【ラベル】承認者	%LBL:APPROVAL_USER%	''
【ラベル】却下者	%LBL:REJECT_USER%	''
【ラベル】差戻者	%LBL:SENDBACK_USER%	''
【ラベル】起票者	%LBL:CREATE_USER%	''
【ラベル】レコード ID	%LBL:KNW_ID%	''
【ラベル】メール送信先ユーザー	%LBL:MAIL_RECIPIENT_USER%	''

#### 4. 自動送信メール（申請状況通知コマンド）

以下の画面・メールアクションを選択した場合の置換項目を記します。

画面名
プロセス管理
メールアクション
申請中自動（通知）

名称	置換文字列	説明
現在日付	%CMN:DATE%	現在日付で置換します。 書式: YYYY/MM/DD(曜日)
現在時刻	%CMN:TIME%	現在時刻で置換します。 書式: hh:mm:ss
画面名	%CMN: DATA_TYPE_NAME%	画面名で置換します。
申請者	%CMN:APPLY_USER%	承認申請を行ったユーザー名で置換します。

名称	置換文字列	説明
エスカレーション先	%PRC:ES_TO_USER%	現在ルートの申請者／本来承認者のユーザー名で置換します。  承認条件が「全員」の場合、承認（確認、作業）を行っていないユーザー名のみ置換されます。
エスカレーションコメント	%PRC:ES_COMMENT%	申請状況通知コマンド (sjSPX_ChkEscaCond.exe) で指定したコメントファイルの内容で置換します。 ※置換が行われた場合、固定の文言「[コメント]」がコメントの前に付与されます。
簡易画面用アクセス URL	%PRC:PORTAL_ACCESS_URL%	簡易画面用のレコードのアクセス URL で置換します。
プロセス新規登録画面用アクセス URL	%PRC:ADD_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、プロセス新規登録画面の URL を表示します。
プロセス新規登録画面用 SAML 認証用アクセス URL	%PRC:ADD_SAML_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、プロセス新規登録画面の SAML 認証用 URL を表示します。
簡易プロセス新規登録画面用アクセス URL	%PRC:ADD_PORTAL_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、簡易プロセス新規登録画面の URL を表示します。
簡易プロセス新規登録画面用 SAML 認証用アクセス URL	%PRC:ADD_SAML_PORTAL_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、簡易プロセス新規登録画面の SAML 認証用 URL を表示します。
現在対応者	%PRC:CORP_USER%	エスカレーション先と同じ値で置換されます。
対応者	%PRC:RESPOND_USER%	エスカレーション対応者で置換します。
承認者	%PRC:APPROVE_USER%	承認フロー承認者で置換します。
経過情報: 内容	%PRC:CONTENTS%	経過情報の内容で置換します。
【ラベル】システム	%LBL:SYSTEM_NAME%	項目名称で置換します。
【ラベル】タイトル	%LBL:TITLE%	''
【ラベル】エスカレーション	%LBL:ESCALATION%	''
【ラベル】通知	%LBL:NOTICE%	''
【ラベル】エスカレーション先	%LBL:ES_TO_USER%	''
【ラベル】承認	%LBL:APPROVAL%	''
【ラベル】却下	%LBL:REJECT%	''
【ラベル】差戻し	%LBL:SENDBACK%	''
【ラベル】承認依頼	%LBL:APPROVAL_REQUEST%	''
【ラベル】確認依頼	%LBL:CONFIRM_REQUEST%	''
【ラベル】作業依頼	%LBL:WORK_REQUEST%	''
【ラベル】申請日時	%LBL:APPLY_YMDHMS%	''
【ラベル】承認日時	%LBL:APPROVAL_YMDHMS%	''
【ラベル】却下日時	%LBL:REJECT_YMDHMS%	''
【ラベル】差戻日時	%LBL:SENDBACK_YMDHMS%	''
【ラベル】起票日時	%LBL:CREATE_YMDHMS%	''
【ラベル】申請者	%LBL:APPLY_USER%	''
【ラベル】承認者	%LBL:APPROVAL_USER%	''
【ラベル】却下者	%LBL:REJECT_USER%	''
【ラベル】差戻者	%LBL:SENDBACK_USER%	''
【ラベル】起票者	%LBL:CREATE_USER%	''



名称	置換文字列	説明
【ラベル】問合せ	%LBL:REQUEST%	''
【ラベル】申請	%LBL:APPLY%	''
【ラベル】回答	%LBL:REPLAY%	''
【ラベル】完了	%LBL:FIN%	''
【ラベル】問合せ・申請	%LBL:REQUEST_APPLY%	''
【ラベル】レコード ID	%LBL:PRC_ID%	''
【ラベル】現在対応者	%LBL:CORP_USER%	''

## 5. 自動送信メール（自動メール通知コマンド）

以下の画面・メールアクションを選択した場合の置換項目を記します。

画面名
プロセス管理
メールアクション
自動メール通知_通知種別 1(コマンド)
自動メール通知_通知種別 1 クローズ(コマンド)
自動メール通知_通知種別 2(コマンド)

名称	置換文字列	説明
現在日付	%CMN:DATE%	現在日付で置換します。 書式: YYYY/MM/DD(曜日)
現在時刻	%CMN:TIME%	現在時刻で置換します。 書式: hh:mm:ss
画面名	%CMN: DATA_TYPE_NAME%	画面名で置換します。
コメント	%CMN:AUTO_MAIL_NOTICE_COMMENT%	[管理者メニュー > 機能別 > 自動メール通知 > 自動メール通知ルート設定]で設定したコメントで置換します。 自動メール通知コマンド (sjSPX_ChkElapsedTime.exe) の引数でコメントファイルが指定されている場合は、コメントファイルで置換します。
簡易画面用アクセス URL	%PRC:PORTAL_ACCESS_URL%	簡易画面用のレコードのアクセス URL で置換します。
プロセス新規登録画面用アクセス URL	%PRC:ADD_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、プロセス新規登録画面の URL を表示します。
プロセス新規登録画面用 SAML 認証用アクセス URL	%PRC:ADD_SAML_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、プロセス新規登録画面の SAML 認証用 URL を表示します。
簡易プロセス新規登録画面用アクセス URL	%PRC:ADD_PORTAL_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、簡易プロセス新規登録画面の URL を表示します。
簡易プロセス新規登録画面用 SAML 認証用アクセス URL	%PRC:ADD_SAML_PORTAL_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、簡易プロセス新規登録画面の SAML 認証用 URL を表示します。

名称	置換文字列	説明
現在対応者	%PRC:CORP_USER%	レコードの現在対応者で置換します。 承認申請が行われている場合、現在ルート申請者／本来承認者のユーザー名で置換します。 ※承認条件が「全員」の場合、承認(確認、作業)を行っていないユーザー名のみ置換します。  承認申請が行われていない場合、レコードの現在対応者で置換します。
対応者	%PRC:RESPOND_USER%	エスカレーション対応者で置換します。
承認者	%PRC:APPROVE_USER%	承認フロー承認者で置換します。
経過情報:内容	%PRC:CONTENTS%	経過情報の内容で置換します。
【ラベル】システム	%LBL:SYSTEM_NAME%	項目名称で置換します。
【ラベル】タイトル	%LBL:TITLE%	〃
【ラベル】通知	%LBL:NOTICE%	〃
【ラベル】クローズ通知	%LBL:CLOSE_NOTICE%	〃
【ラベル】起票日時	%LBL:CREATE_YMDHMS%	〃
【ラベル】起票者	%LBL:CREATE_USER%	〃
【ラベル】現在対応者	%LBL:CORP_USER%	〃
【ラベル】レコード ID	%LBL:PRC_ID%	〃

## 6. 自動送信メール（プロセスタスクリストエスカレーション）

以下の画面・メールアクションを選択した場合の置換項目を記します。

画面名
プロセス管理
メールアクション
プロセスタスクリストエスカレーション
プロセスタスクリストエスカレーション(通知)

名称	置換文字列	説明
現在日付	%CMN:DATE%	現在日付で置換します。 書式:YYYY/MM/DD(曜日)
現在時刻	%CMN:TIME%	現在時刻で置換します。 書式:hh:mm:ss
ログインユーザー名	%CMN:LOGIN_USER_NAME%	ログインユーザー名で置換します。
画面名	%CMN: DATA_TYPE_NAME%	画面名で置換します。
申請者	%CMN:APPLY_USER%	承認申請を行ったユーザー名で置換します。
メール送信先ユーザー	%CMN:MAIL_RECIPIENT_USER%	メールを送信したユーザー名(通知先を除く)で置換を行います。
エスカレーション先	%PRC:ES_TO_USER%	次ルートの申請者／本来承認者のユーザー名で置換を行います。
エスカレーションコメント	%PRC:ES_COMMENT%	本置換文字列を設定することはできませんが、必ず空で置換されます。
承認フローコメント	%PRC:WF_COMMENT%	承認フロー選択および承認フローダイアログで入力したコメントで置換します。 ※置換が行われた場合、固定の文言「[コメント]」がコメントの前に付与されます。
簡易画面用アクセス URL	%PRC:PORTAL_ACCESS_URL%	簡易画面用のレコードのアクセス URLで置換します。

名称	置換文字列	説明
プロセス新規登録画面用アクセス URL	%PRC:ADD_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、プロセス新規登録画面の URL を表示します。
プロセス新規登録画面用 SAML 認証用アクセス URL	%PRC:ADD_SAML_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、プロセス新規登録画面の SAML 認証用 URL を表示します。
簡易プロセス新規登録画面用アクセス URL	%PRC:ADD_PORTAL_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、簡易プロセス新規登録画面の URL を表示します。
簡易プロセス新規登録画面用 SAML 認証用アクセス URL	%PRC:ADD_SAML_PORTAL_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、簡易プロセス新規登録画面の SAML 認証用 URL を表示します。
プロセスタスクリストチェックタイトル	%PRC:PRC_TASK_REC_TITLE%	プロセスタスクリストのチェックタイトルで置換します。
【ラベル】システム	%LBL:SYSTEM_NAME%	項目名称で置換します。
【ラベル】タイトル	%LBL:TITLE%	''
【ラベル】エスカレーション	%LBL:ESCALATION%	''
【ラベル】通知	%LBL:NOTICE%	''
【ラベル】エスカレーション先	%LBL:ES_TO_USER%	''
【ラベル】承認	%LBL:APPROVAL%	''
【ラベル】却下	%LBL:REJECT%	''
【ラベル】差戻し	%LBL:SENDBACK%	''
【ラベル】承認依頼	%LBL:APPROVAL_REQUEST%	''
【ラベル】確認依頼	%LBL:CONFIRM_REQUEST%	''
【ラベル】作業依頼	%LBL:WORK_REQUEST%	''
【ラベル】申請日時	%LBL:APPLY_YMDHMS%	''
【ラベル】承認日時	%LBL:APPROVAL_YMDHMS%	''
【ラベル】却下日時	%LBL:REJECT_YMDHMS%	''
【ラベル】差戻日時	%LBL:SENDBACK_YMDHMS%	''
【ラベル】起票日時	%LBL:CREATE_YMDHMS%	''
【ラベル】申請者	%LBL:APPLY_USER%	''
【ラベル】承認者	%LBL:APPROVAL_USER%	''
【ラベル】却下者	%LBL:REJECT_USER%	''
【ラベル】差戻者	%LBL:SENDBACK_USER%	''
【ラベル】起票者	%LBL:CREATE_USER%	''
【ラベル】問合せ	%LBL:REQUEST%	''
【ラベル】申請	%LBL:APPLY%	''
【ラベル】回答	%LBL:REPLAY%	''
【ラベル】完了	%LBL:FIN%	''
【ラベル】問合せ・申請	%LBL:REQUEST_APPLY%	''
【ラベル】レコード ID	%LBL:PRC_ID%	''
【ラベル】メール送信先ユーザー	%LBL:MAIL_RECIPIENT_USER%	''
【ラベル】タスク	%LBL:TASK%	''
【ラベル】チェックタイトル	%LBL:PRC_TASK_LIST_TITLE%	''
【ラベル】対応期限	%LBL:PRC_TASK_LIST_LIMIT%	''

## 1.2.2.5 ケーススタディ（メール送信フロー）

Senju Service Manager で送信するメールの送信タイミングと送信先のフローを以下に記します。

No	ケーススタディ名	登場するメールのアクション No
1	手動メール送信	1
2	問合せ・エスカレーション	2, 3, 4, 6, 8, 9, 30
3	問合せ・エスカレーション：補足「未回答で完了」	6
4	承認フロー	10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20
5	承認フロー：補足「却下」	24, 25
6	承認フロー：補足「差戻し」	21, 22, 23
7	承認フロー：補足「承認フロー完了通知項目」	7
8	申請者／現在対応者にコマンドでメール送信	26
9	（自動メール通知機能）コマンドでメール通知	27, 28
10	（自動メール通知機能）コマンドでクローズメール通知	29



… 現在対応者の変更を伴うメールです。



… 現在対応者の変更を伴わない通知用のメールです。



… 固定されたメール内容で送信されたメールです。



… 設定でカスタマイズしたメール内容で送信されたメールです。



メールアクションの No は「1.2.2.1 送信メール一覧」に対応します。



役割 (SD)

… サービスデスクユーザーを示します。

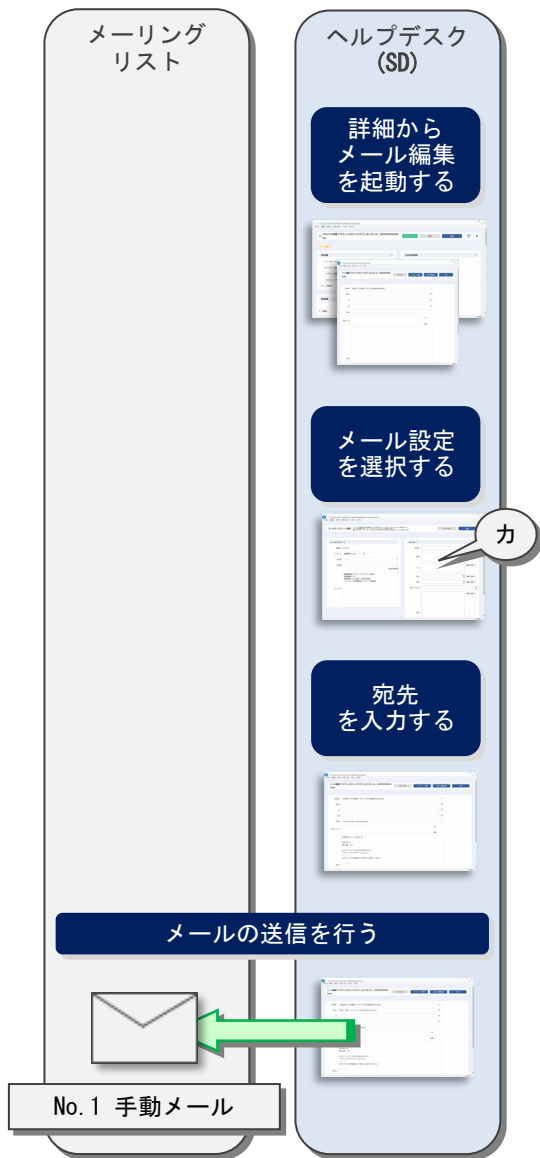
役割 (EU)

… エンドユーザーを示します。

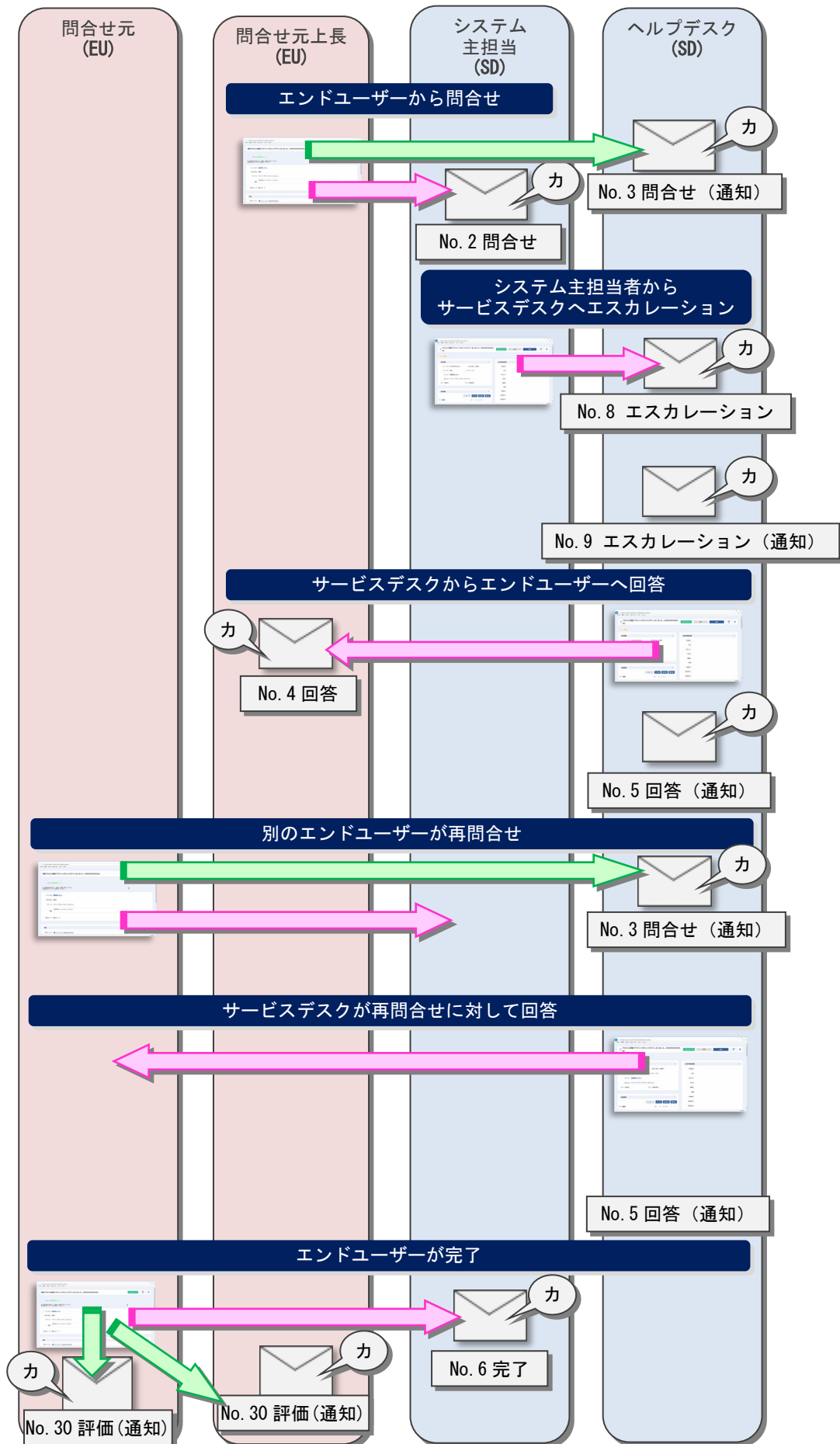
役割

… Senju/SM で管理するユーザー以外の役割を示します。

## 1. 手動メール送信



## 2. 問合せ・エスカレーション



**!** 問合せ時にサービスデスクからの回答が行われていない場合、レコードに設定したシステムの担当者へメール送信が行われます。エンドユーザーがシステムの担当者の場合、該当のユーザーに対してはメール送信は行われません。  
仕様補足

**!** 再問合せ時の送信先はレコードに設定したシステム担当者となります。また、再問合せに対する回答時のメールの送信先は直近の問合せを行ったユーザーです。  
仕様補足

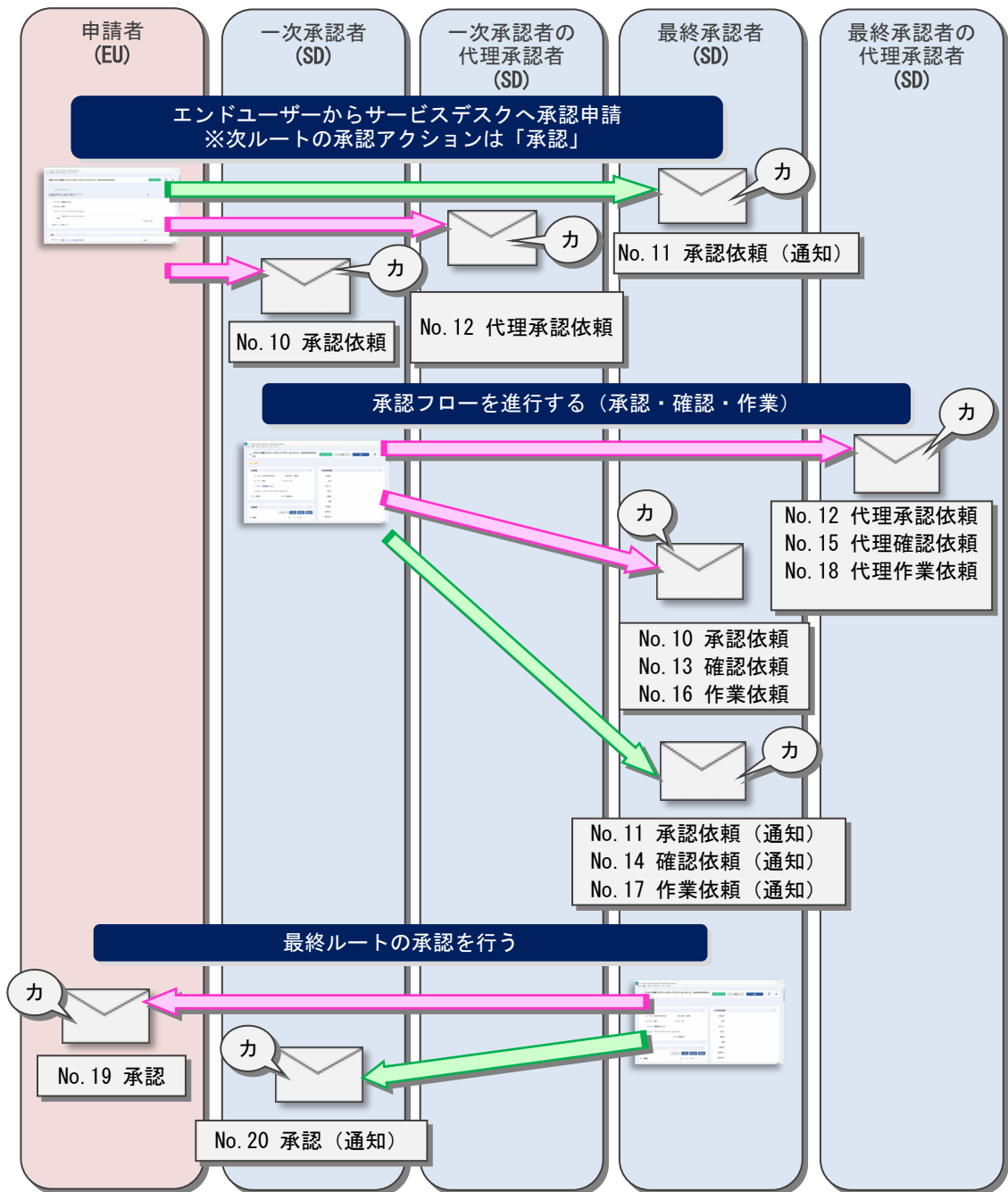
### 3. 問合せ・エスカレーション：補足「未回答で完了」



**!** 回答が行われていないレコードを完了した場合、システム担当者にメールを送信します。  
仕様補足

**!** サービスデスクが完了を行った場合、メール送信は行われません。  
仕様補足

## 4. 承認フロー



仕様補足

メールの送信先がサービスデスクユーザーの場合、カスタマイズした自動メール設定を適用します。エンドユーザーの場合、常にデフォルトの自動メール設定を適用します。



仕様補足

申請のレコード完了した場合はシステム担当者にメール送信が行われます。

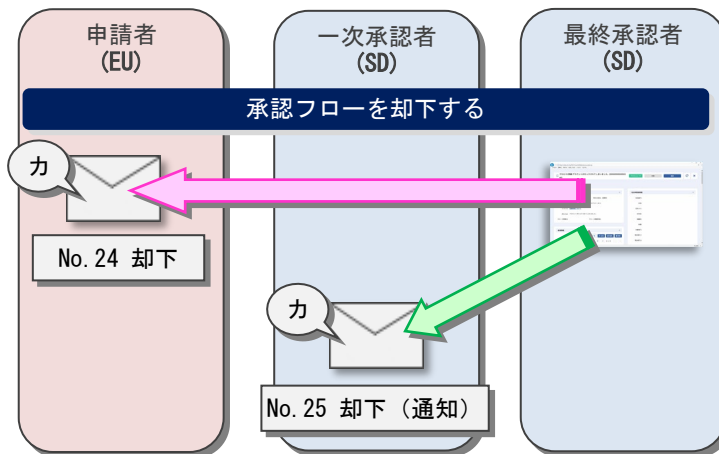


仕様補足

サービスデスクが完了を行った場合、システム担当者にメール送信は行われません。

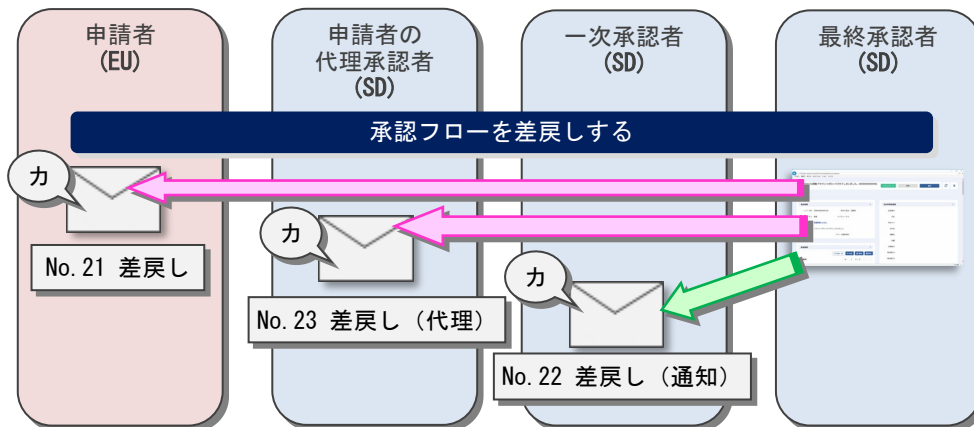


## 5. 承認フロー：補足「却下」



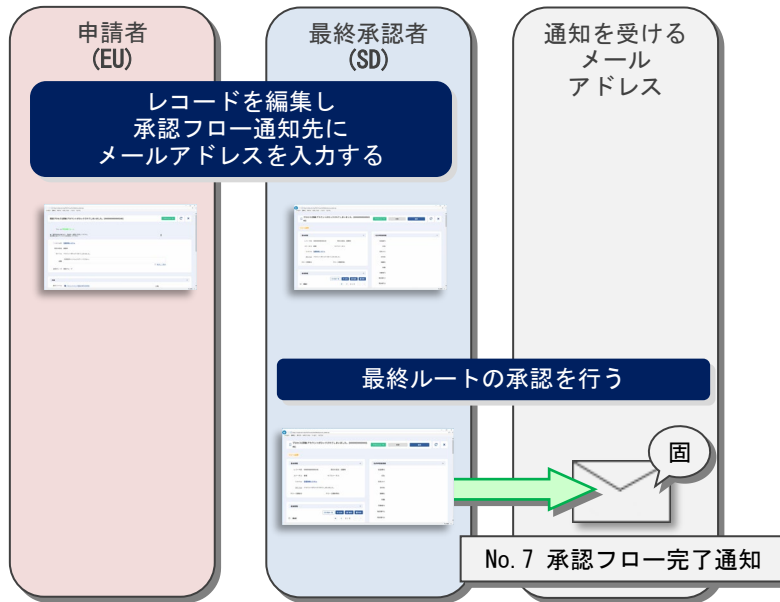
**!** 却下時は申請者（承認申請を行ったユーザー）にメール送信が行われます。  
仕様補足

## 6. 承認フロー：補足「差戻し」



**!** 差戻し時は差戻し先の現在対応者にメール送信が行われます。  
仕様補足

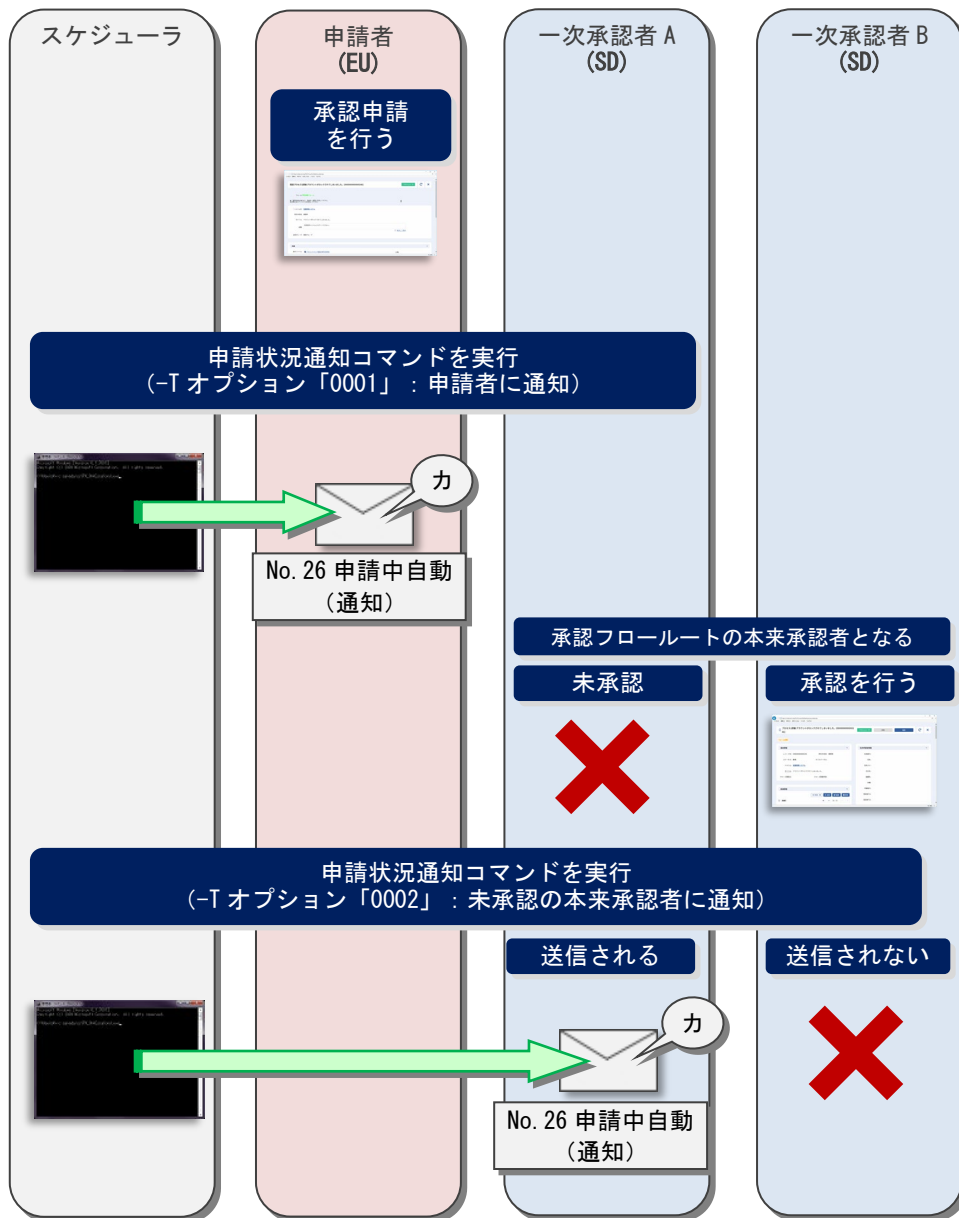
## 7. 承認フロー：補足「承認フロー完了通知項目」



仕様補足

承認フロー通知先にメールアドレスを登録している場合、最終ルートが承認された場合に、承認（通知）のメールが送信されます。

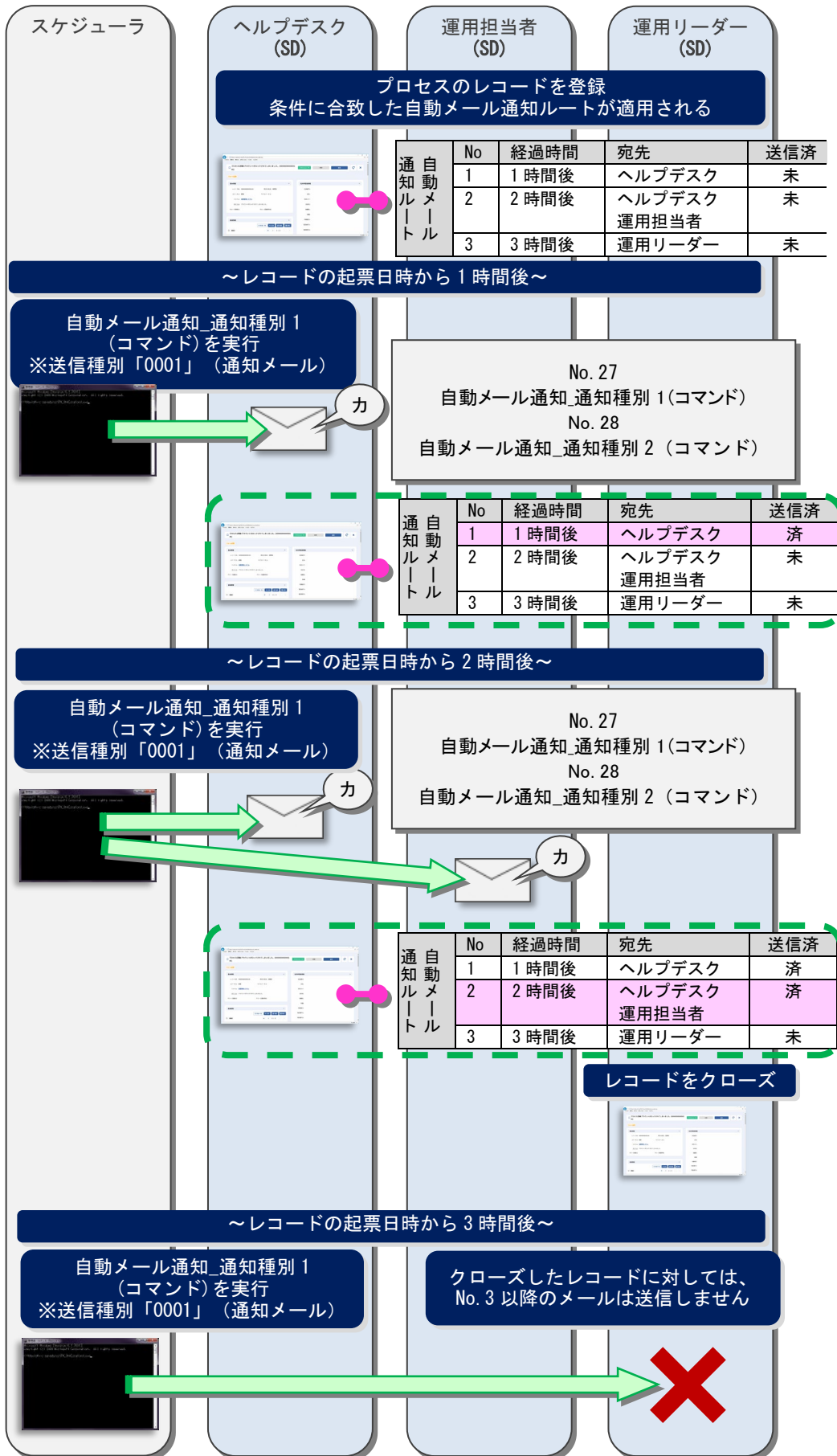
## 8. 申請者／現在対応者にコマンドでメール送信



**!** 仕様補足 (T オプション「0001」を指定した場合)  
承認フローを却下した後に承認申請を行った場合、直近の申請者（※）に対してメール送信が行われます。  
※却下が行われ、再度承認申請が行われた場合、進行中の承認フロールートの申請者に対してメール送信が行われます。

**!** 仕様補足 (T オプション「0002」を指定した場合)  
承認フローの現在ルートの承認条件が「全員」の場合、既に承認・確認・作業を行ったユーザーに対してはメール送信は行われません。

9. (自動メール通知機能) コマンドでメール通知



経過時間超過の通知メールを送信する場合、自動メール通知コマンド (sjSPX\_ChkElapsedTime.exe) の-t オプションに「0001」を指定します。



操作説明

経過時間超過の通知メールを送信する場合、自動メール通知適用設定の通知種別ごとに自動メール通知コマンド (sjSPX\_ChkElapsedTime.exe) の-t オプションの設定値が異なります。

- ・通知種別 1 にメール送信を行う場合は、「0001」を指定します。
- ・通知種別 2 にメール送信を行う場合は、「0003」を指定します。



仕様補足

自動メール通知ルートはプロセスのレコードに対して最大 1 件、適用されます。複数件、適用されることはありません。複数の自動メール通知条件が、プロセスのレコードに一致した場合、自動メール通知適用設定に設定された優先順位に従って適用されます。



仕様補足

プロセスのレコードの新規登録／更新時に、該当のレコードのデータが、自動メール通知適用設定に指定した自動メール通知条件に合致した場合、同設定に指定した自動メール通知ルートがレコードに適用されます。

プロセスのレコードの新規登録／更新／ワークフロー遷移時に、該当のレコードのデータが、自動メール通知適用設定に指定した自動メール通知条件に合致した場合、同設定に指定した自動メール通知ルートがレコードに適用されます。



仕様補足

送信を行ったメールの内容はプロセス詳細から起動するエスカレーション履歴、または対応一覧で確認できます。



仕様補足

自動メール通知コマンド (sjSPX\_ChkElapsedTime.exe) 実行時に、既に複数のルートの経過時間を過ぎていた場合、直近のルートだけではなく送信対象のすべてのルートにメールが送信されます。



仕様補足

自動メール通知コマンド (sjSPX\_ChkElapsedTime.exe) 自体は定期的にメール送信を行いません。SSM WEB サーバーのスケジューラ等によって、定期的に実行してください。

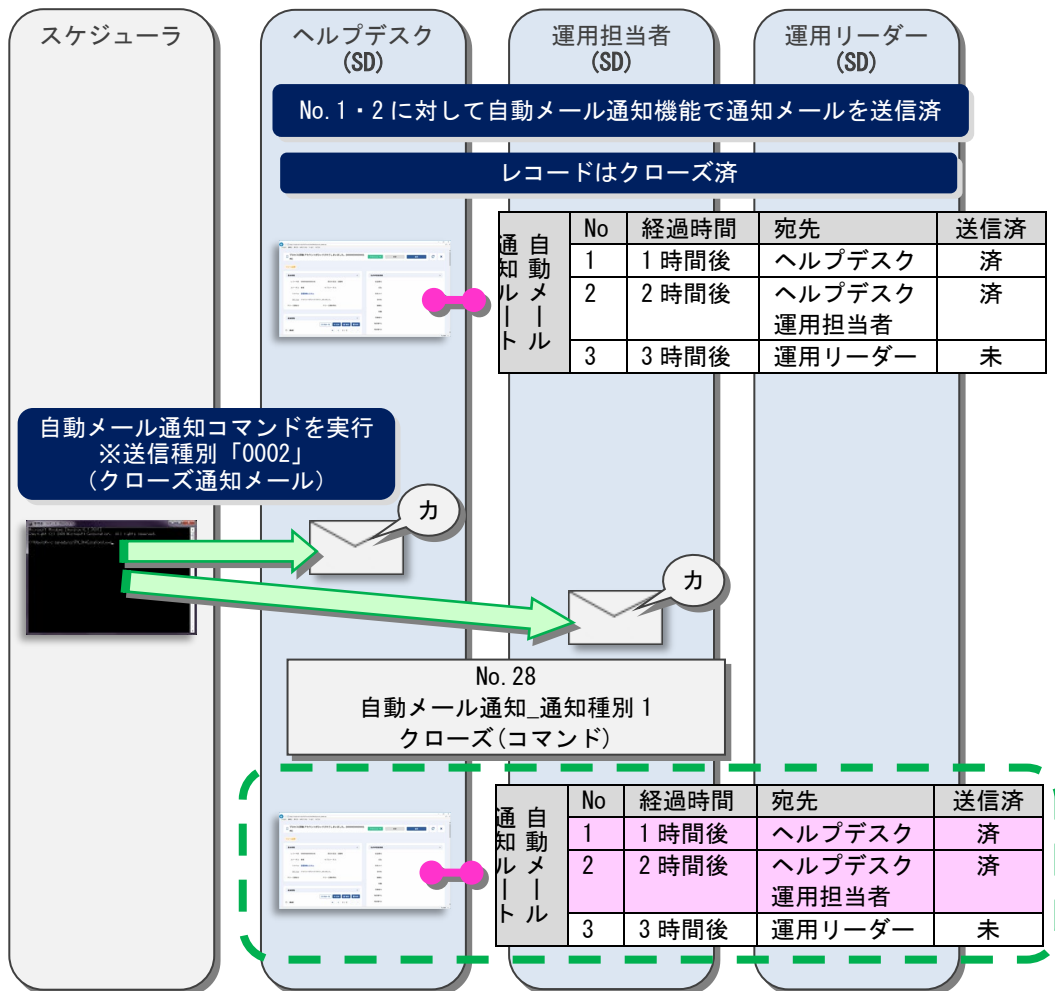


仕様補足

宛先が職責で指定されている場合、メールを送信した時点で職責に所属しているユーザーに対してメール送信が行われます。

## 10. (自動メール通知機能) コマンドでクローズメール通知

「9 (自動メール通知機能) コマンドでメール通知」に引き続きの操作です。



**以下のメールアクションは、クローズ通知メールの送信を行いません。**

注意事項

- ・自動メール通知\_通知種別 2 (コマンド)



クローズ通知メールを送信する場合、自動メール通知コマンド (sjSPX\_ChkElapsedTime.exe) の-t オプションに「0002」を指定します。

操作説明



クローズ通知メールは 1 ユーザーに対して 1 件、送信されます。同ルートや複数ルートで複数回、通知メール送信コマンドで経過時間超過の通知メールが送られた場合も 1 件のみ、メールが送信されます。

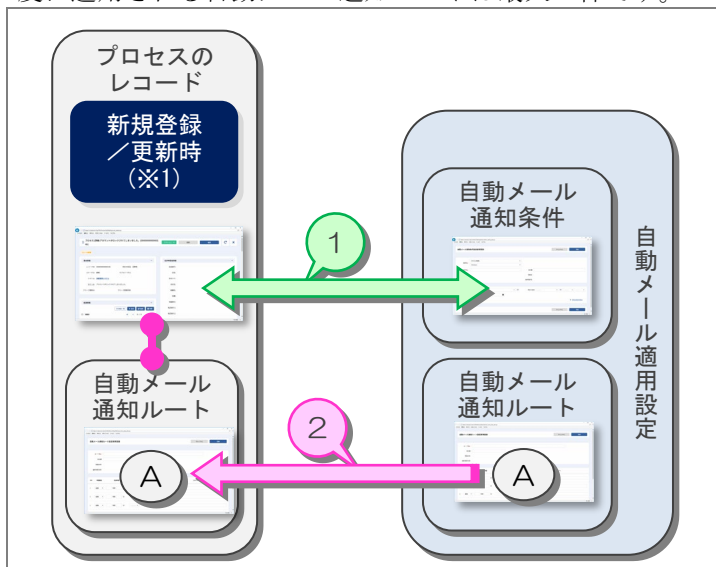
操作説明

## 1.2.2.6 ケーススタディ（自動メール通知ルートの適用）

自動メール通知機能で自動メール通知ルートがプロセスのレコードに対してどのように適用されるか、以下に記します。

### 1. 基本仕様

- 適用処理はプロセスのレコードの新規登録／更新時に行います。（※1）
- 新規登録／更新時にはプロセスのレコードが、自動メール通知適用設定に紐付いた自動メール通知条件設定に合致するか判定を行います。（図中 1 の処理）（※1）
- 判定は自動メール通知適用設定の優先順位で行われます。
- 合致する場合、自動メール通知適用設定に紐付いた自動メール通知ルートをプロセスのレコードに適用します。（図中 2 の処理）
- 一度に適用される自動メール通知ルートは最大 1 件です。



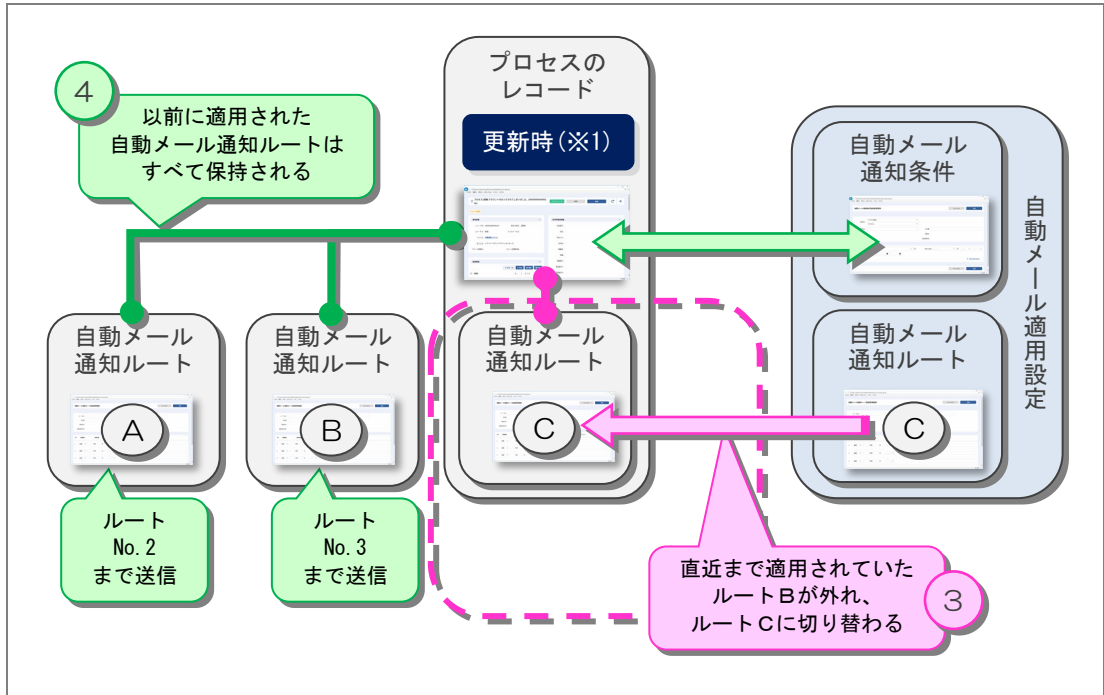
**※1:適用処理はプロセスのレコードの新規登録／更新／ワークフロー遷移時に行います。**

仕様補足

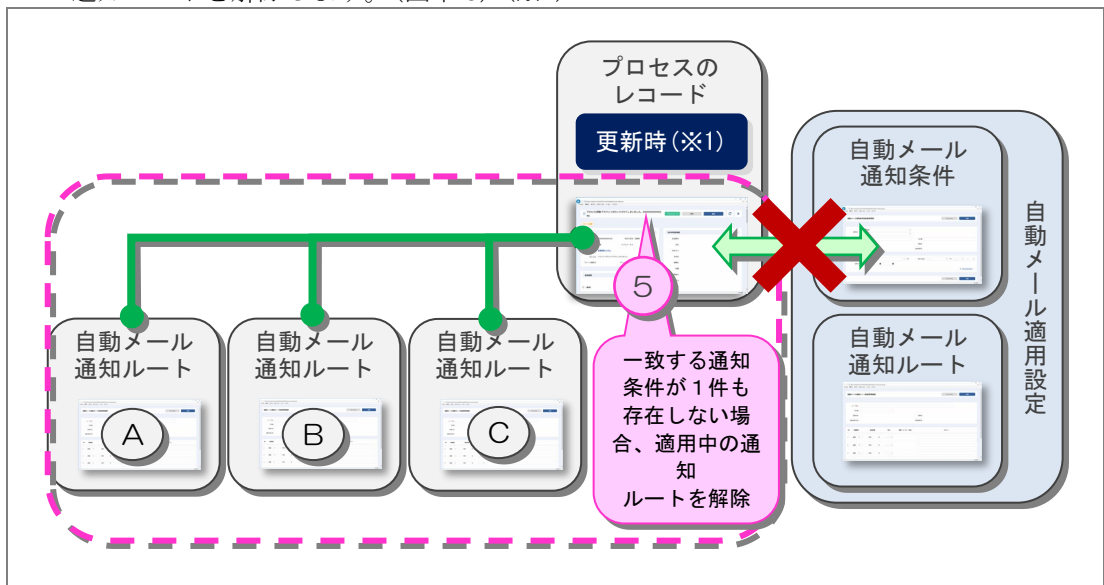
### 2. 自動メール通知ルートが適用されていた場合の仕様

- 既にプロセスのレコードに自動メール通知ルートが適用されていた場合…
  - 自動メール通知適用設定に紐付いたルートと適用済みのルートが同じ場合、適用済みのルートをそのまま使用します。
  - 自動メール通知適用設定に紐付いたルートと適用済みのルートが異なる場合、適用済みのルートが紐付いたルートに切り替わります。（図中 3）
- プロセスのレコードに適用された自動メール通知ルートは履歴管理され、ルートがどこまで進行したか（メール送信が行われたか）を、適用されたすべてのルートに対して保持します。（図中 4）（※1）
- プロセスのレコードを更新し、以前に適用されていた自動メール通知ルートが再度適用された場合、ルートの進行状況は引き継がれます。（既にメール送信が行われていたルート No に対してメール送信は行われません）

※ただし、「通知種別 2」を設定した場合はルートของการ進行状況が引き継がれません。(既にメール送信が行われていたルート No に対しては最初のルート No からメール送信を行います) (※1)



- プロセスのレコードを更新し、合致する自動メール通知条件が存在しない場合、適用中の自動メール通知ルートを解除します。(図中 5) (※1)



※1:適用処理はプロセスのレコードの更新/ワークフロー遷移時に行います。

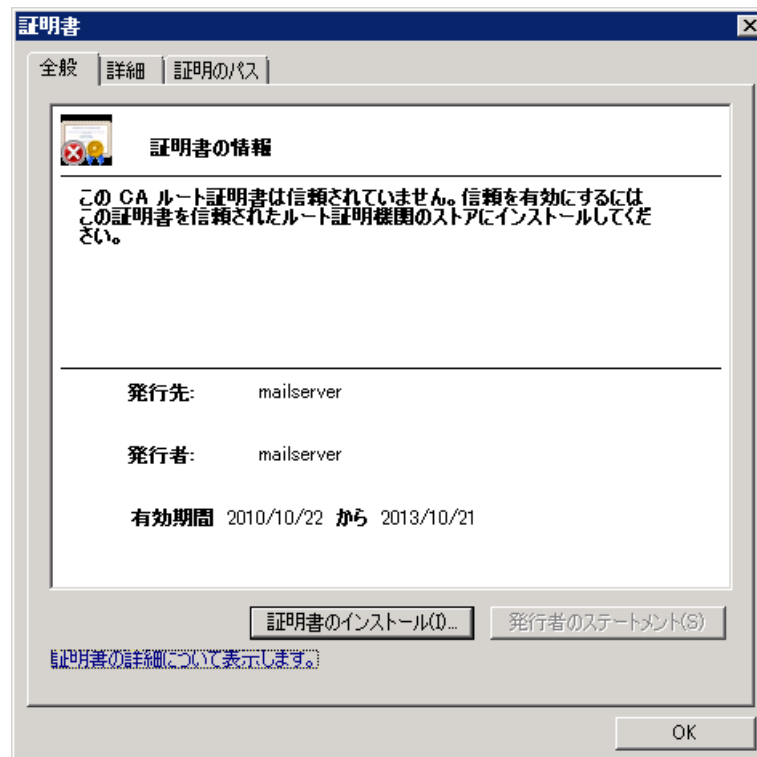


## 1.2.2.7 証明書のインストール（SMTPS 認証によるメール送信用の設定）

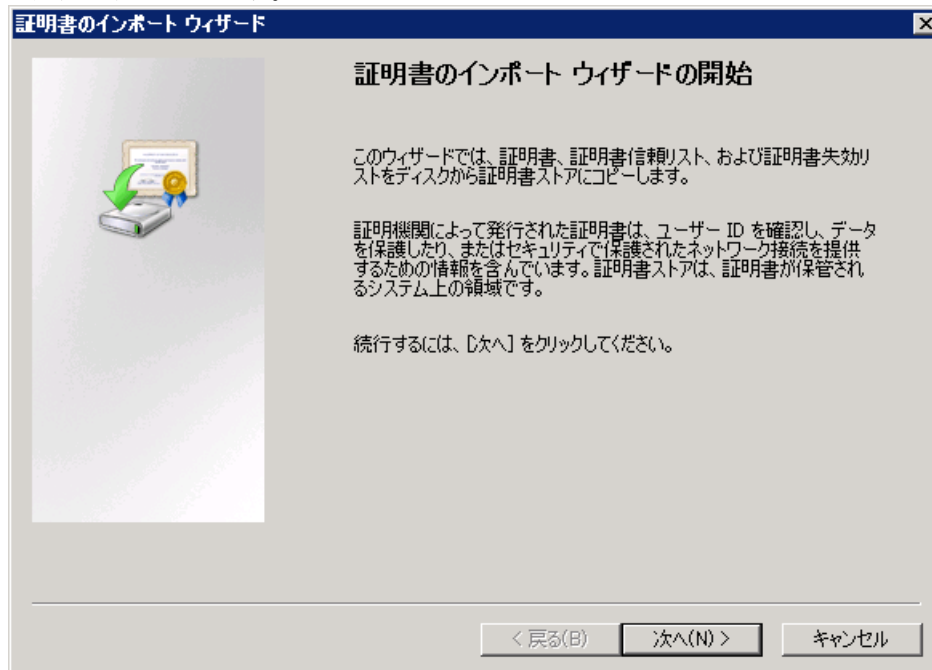
SMTPS を使用するためには、CCFSP WEB サーバーに証明書をインストールする必要があります。ここでは、証明書のインストール手順を説明します。

まず、インストールする証明書を用意してください。

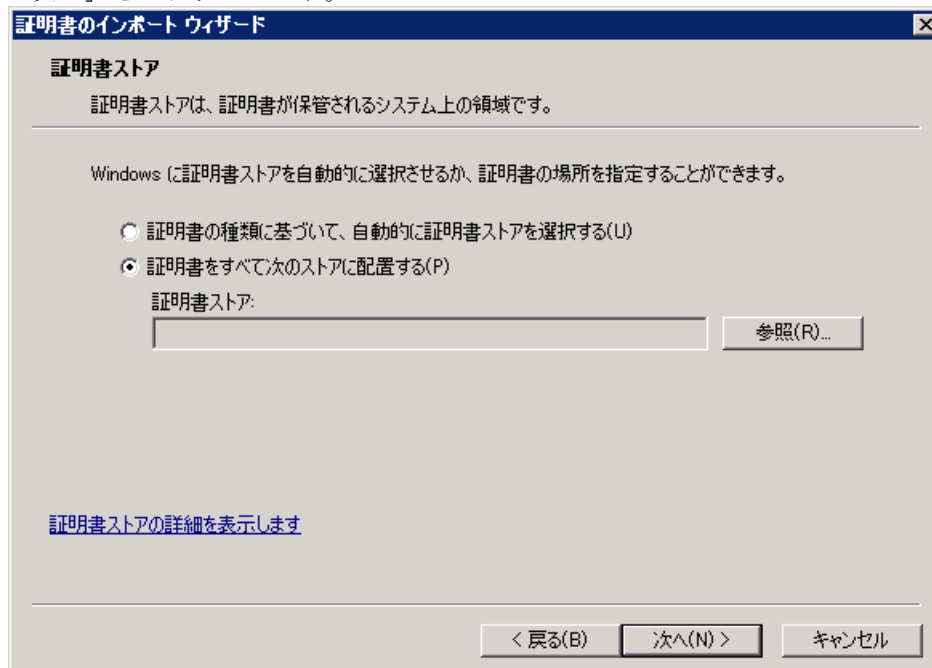
CCFSP WEB サーバーにログインし、用意した証明書を任意のフォルダにコピーします。コピーした証明書を選択し、右クリックして表示されるコンテキストメニューより、「証明書のインストール」を選択すると、証明書画面が表示されます。



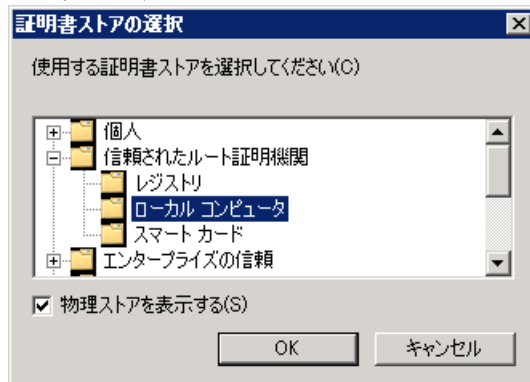
証明書画面から、「証明書のインストール」ボタンをクリックすると、証明書のインポートウィザード画面が表示されます。



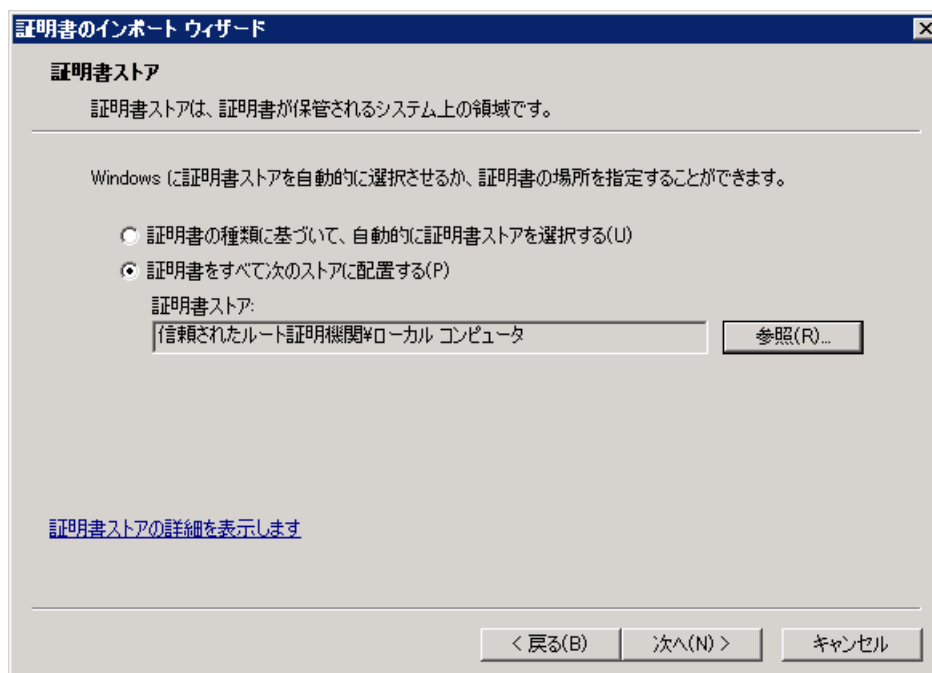
「次へ」をクリックします。



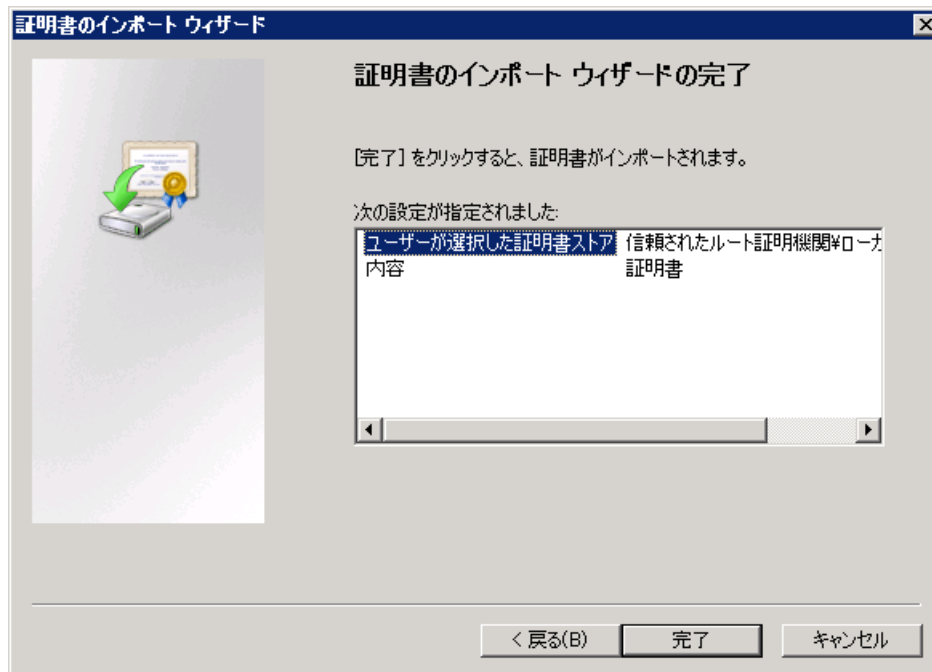
証明書ストアの選択から、「証明書をすべて次のストアに配置する」を選択し、「参照」をクリックすると、証明書ストアの選択ダイアログが表示されます。



「物理ストアを表示する」チェックボックスにチェックを入れ、「信頼されたルート証明機関」>「ローカル コンピュータ」を選択し、「OK」をクリックします。

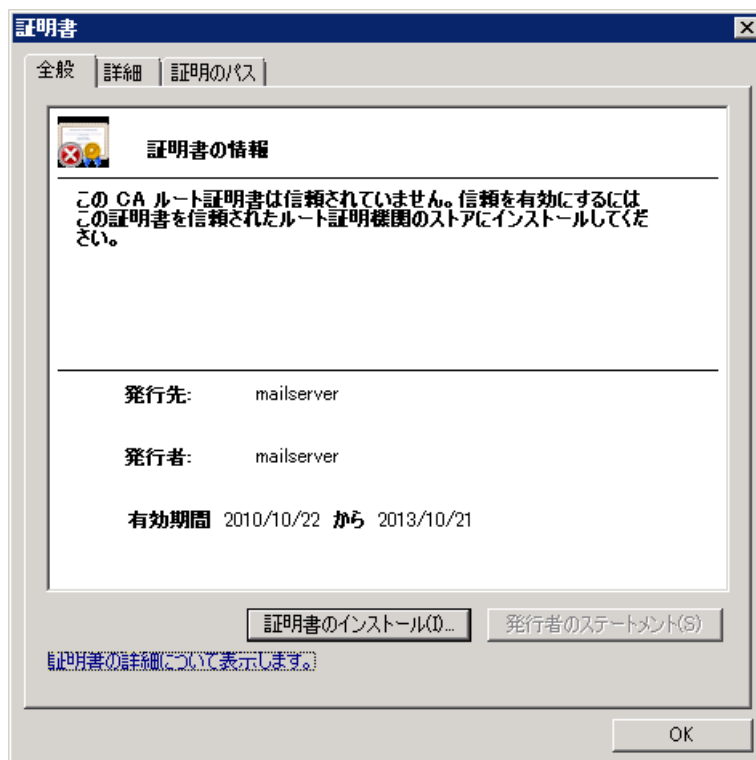


証明書ストアの画面にて、「次へ」をクリックします。



証明書のインポートウィザードの完了の画面で、「完了」をクリックし、インポートウィザード画面を終了します。

最後に証明画面の「OK」をクリックして、証明画面を閉じます。



以上で、証明書のインストールは完了です。

## 1.2.3 構成アイテム（構成管理）仕様まとめ

### 1.2.3.1 時制（表示形式）仕様

構成アイテム（構成管理）ではレコードの状態を3つの時制（最新の構成、現在の構成、全ての履歴）で管理します。

Senju Service Manager 上ではこの時制を「表示対象」として画面表記します。

#### 1. 表示対象の説明

表示対象	説明
最新の構成	レコードの予定（=未来の状態）を管理します。 構成アイテム（構成管理）のレコードは一旦、最新の構成で予定として起票され、予定の反映日時（※1）を超えると現在の構成に適用される（※2）、という流れを繰り返して管理されていきます。 予定は新規予定、変更予定、削除予定の3種類です。 （それぞれ他の画面で言うところの、新規登録、更新、削除に当たります） 予定の最大登録件数は1レコード辺り1件です。
現在の構成	レコードの現在の状態を管理します。 予定が存在しない場合は、最新の構成と同じ登録内容になります。 最新の構成で未適用の予定を除いた現在の状態のみを参照したい場合に使用します。
全ての履歴	過去に起票されたすべてのレコードの予定を管理します。 一時点のレコードの状態を確認したい場合に使用します。



仕様補足

データ登録コマンド（sjSPU\_ImportData.exe）では Web 画面では行えない以下の登録が可能です。

- ・履歴を作成せずに予定を起票
- ・プロセスでの承認不要の予定を起票



仕様補足

※1…予定の反映日時は構成管理の項目「構成変更日付」「構成変更時刻」で管理されます。

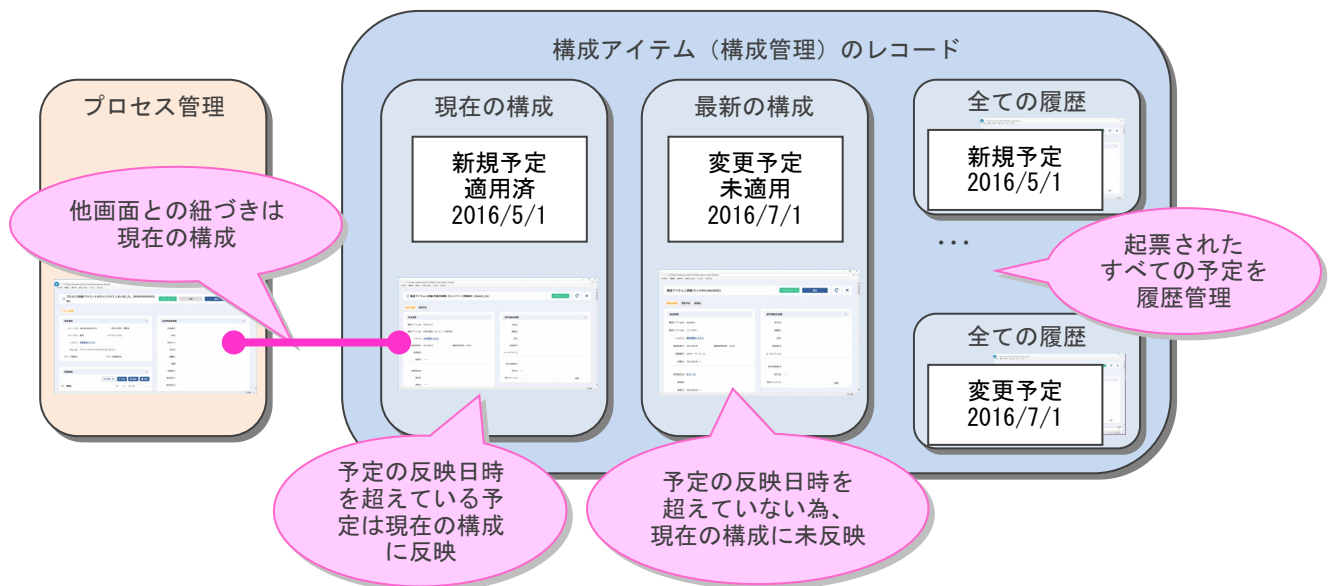


仕様補足

※2…現在の構成への適用は、レコードの構成変更日時がシステム日付を超えた状態で、構成管理反映コマンド（sjSPB\_ReflectCl.exe）を実行することで行います。（自動的には適用されません）

## 2. 表示対象の関連イメージ

構成管理の表示対象の関連イメージを以下に記します。



※Senju Service Manager のシステム日付は 2016/6/1 の状態

## 1.2.3.2 レコードの登録パターン

構成アイテム（構成管理）のレコードの登録は Web 画面、データ登録コマンド（sjSPU\_ImportData.exe）で行うことができます。

### 1. 適用処理が必要なパターン

構成アイテム（構成管理）のレコードの登録パターンの内、適用処理（構成管理反映コマンド（sjSPB\_ReflectCI.exe））の実行が必要なものについて以下に記します。

起票区分	新規予定		変更予定		削除予定	
	必要	不要	必要	不要	必要	不要
Web 画面	○ ※1	×	○ ※2	×	○ ※3	×
データ登録 コマンド	○	○ ※4	○	○ ※5	○	○ ※6



仕様補足

構成管理反映コマンド（sjSPB\_ReflectCI.exe）の実行が必要な登録の場合、予定を起票した時に必ず履歴が作成されます。



仕様補足

※印の登録パターンについては以降の章でケーススタディで登録の流れを紹介しています。

### 2. 適用処理が不要なパターン

構成アイテム（構成管理）のレコードの登録パターンの内、適用処理（構成管理反映コマンド（sjSPB\_ReflectCI.exe））の実行が不要なパターンについて以下に記します。

起票区分	新規反映	変更反映	削除反映
データ登録 コマンド	○ ※7	○ ※8	○ ※9



仕様補足

Web 画面からの登録は上記の登録パターンに対応していません。



仕様補足

構成管理反映コマンド（sjSPB\_ReflectCI.exe）の実行が不要な登録の場合、新規予定・削除予定を起票した時に履歴が作成されます。変更予定を起票した場合には履歴は作成されません。



仕様補足

※印の登録パターンについては以降の章でケーススタディで登録の流れを紹介しています。

## 1.2.3.3 ケーススタディ（レコードの登録パターン）

「1.2.3.2 レコードの登録パターン」について、一連の流れを以下に記します。

NO	1.2.3.2 表中の※	登録パターン
1	1.2.3.2-1 ※1	Web 画面から新規予定起票～適用まで
2	1.2.3.2-1 ※2	Web 画面から変更予定起票～適用まで
3	1.2.3.2-1 ※3	Web 画面から削除予定起票～適用まで
4	1.2.3.2-1 ※4	コマンドから承認不要の新規予定を起票～適用まで
5	1.2.3.2-1 ※5	コマンドから承認不要の変更予定を起票～適用まで
6	1.2.3.2-1 ※6	コマンドから承認不要の削除予定を起票～適用まで
7	1.2.3.2-2 ※7	コマンドから新規反映にて現在の構成に即反映
8	1.2.3.2-2 ※8	コマンドから変更反映にて現在の構成に即反映
9	1.2.3.2-2 ※9	コマンドから削除反映にて現在の構成に即反映

手順中の以下の操作についてはユーザーズガイドを参照してください。

**【構成アイテム（構成管理）の新規予定起票】**

- ⇒ Web 画面での起票 ユーザーズガイド「3.8.4.1 構成アイテムの新規登録」
- ⇒ コマンドでの起票 別紙「コマンドリファレンス」

**【構成アイテム（構成管理）の変更予定起票】**

- ⇒ Web 画面での起票 ユーザーズガイド「3.8.4.5 構成アイテムの変更予定起票」
- ⇒ コマンドでの起票 別紙「コマンドリファレンス」



操作説明

**【構成アイテム（構成管理）の削除予定起票】**

- ⇒ Web 画面での起票 ユーザーズガイド「3.8.4.6 構成アイテムの削除予定起票」
- ⇒ コマンドでの起票 別紙「コマンドリファレンス」

**【予定をプロセスで承認】**

- ⇒ ユーザーズガイド「3.5.1.9 承認申請」

**【構成管理反映コマンド（sjSPB\_ReflectCl.exe）を実行】**

- ⇒ コマンドでの起票 別紙「コマンドリファレンス」



仕様補足

**【図の見方】** 図中の構成アイテム（構成管理）上のボックスは…

新規予定  
適用済  
2016/5/1

上部は起票区分（新規予定／変更予定／削除予定）、  
中段は適用ステータス（現在の構成に適用されているか否か）、  
下部の日付は構成変更日（いつ予定が反映するか）を示します。



仕様補足

**【図の見方】** 図中の構成アイテム（全ての履歴）上のボックスは…

新規  
適用済  
2016/5/1

上部は予定種類（新規／変更／削除／新規（承認不要）／変更（承認不要）／削除（承認不要））、  
中段は履歴ステータス（現在の構成に適用されているか否か：適用前／適用済／取消）、  
下部の日付は構成変更日（いつ予定が反映するか）を示します。



仕様補足

**【図の見方】**



… Web 画面やコマンドの操作とそれに伴うデータ更新を示します。  
… 上記の補足説明を示します。





仕様補足

【図の見方】

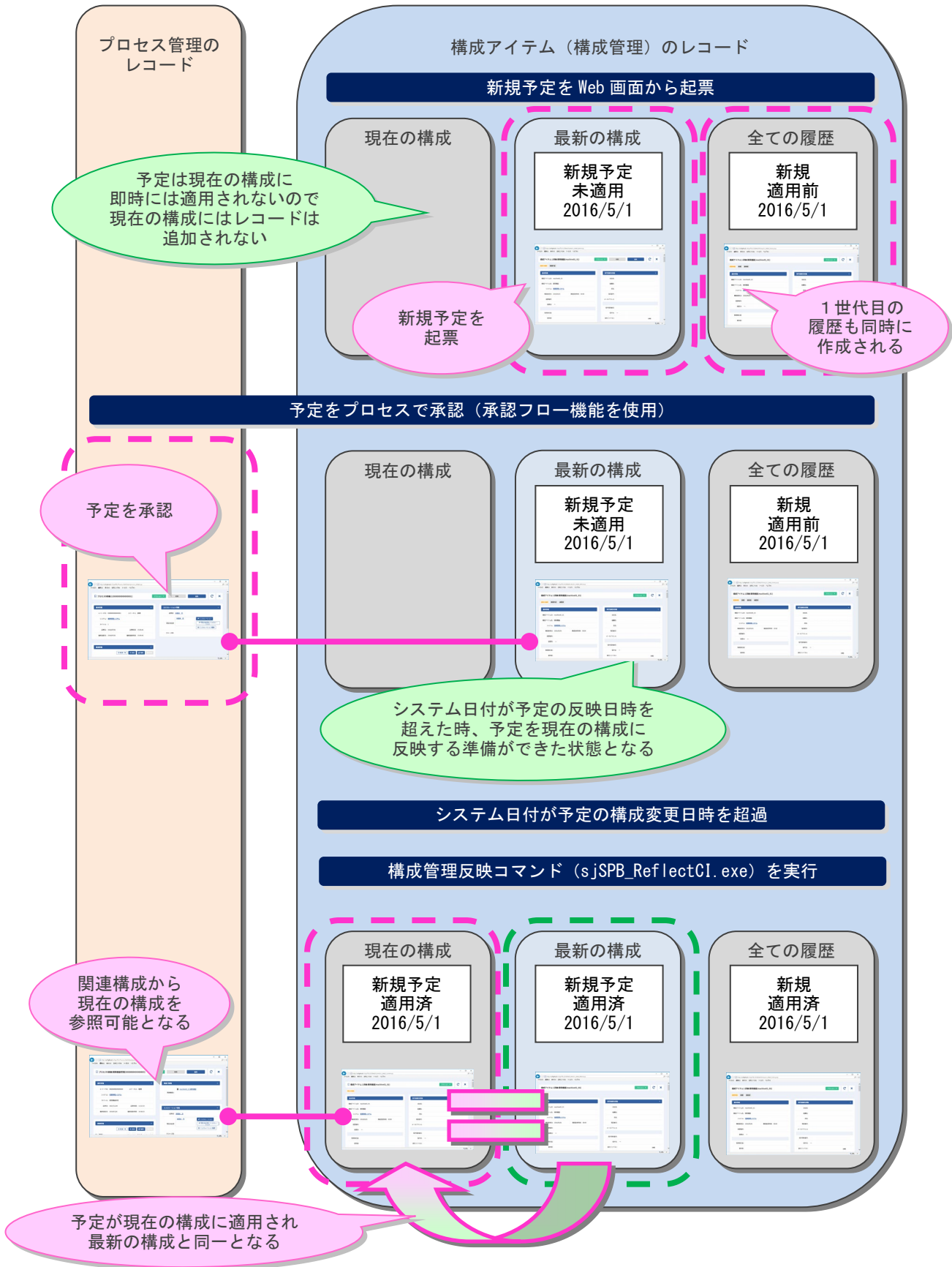


… 操作やデータ更新は発生しませんが、仕様の説明を行います。



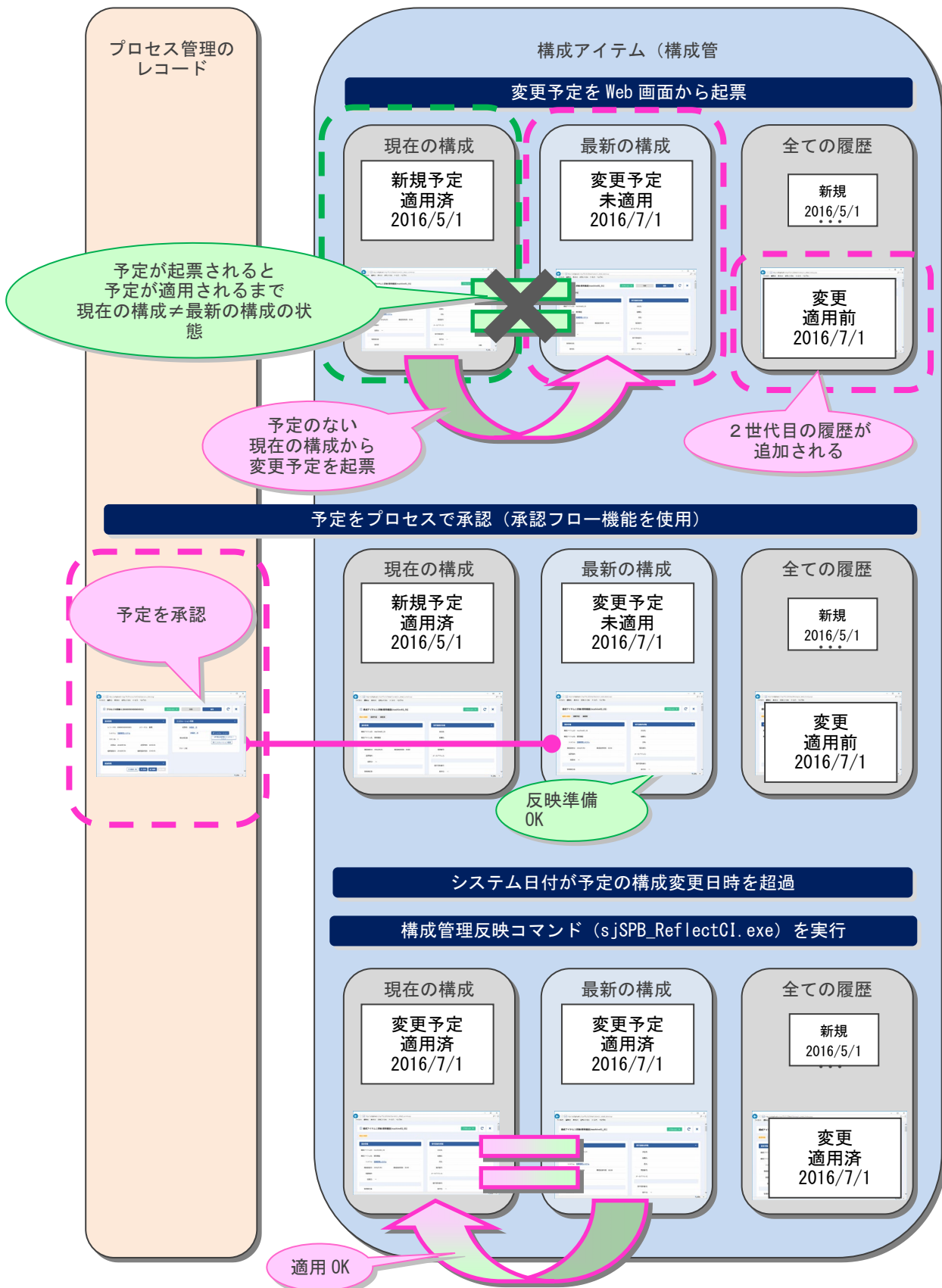
… 上記の補足説明を示します。

1. Web 画面から新規予定起票～適用まで



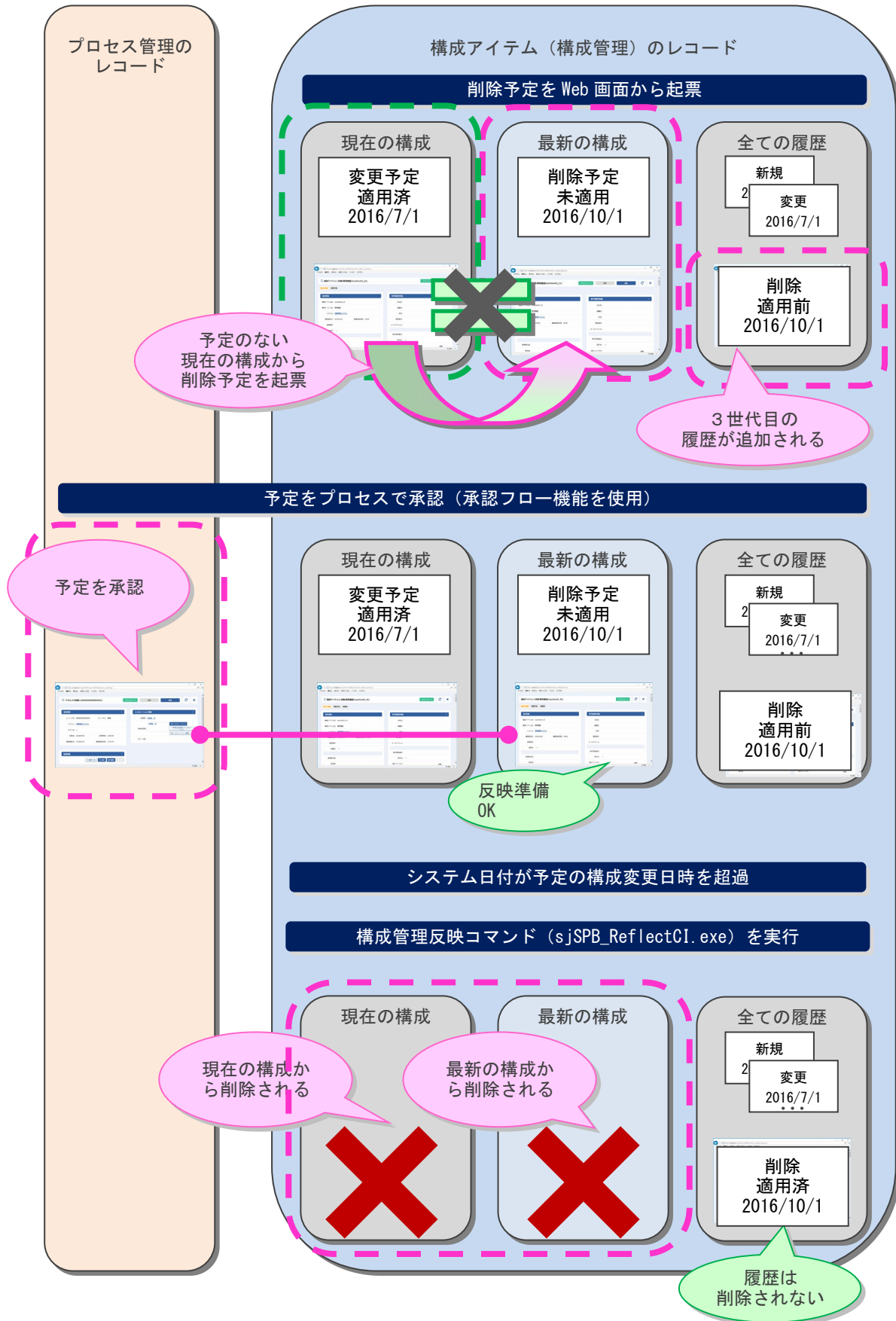
## 2. Web 画面から変更予定起票～適用まで

前項からの引き続きの流れです。

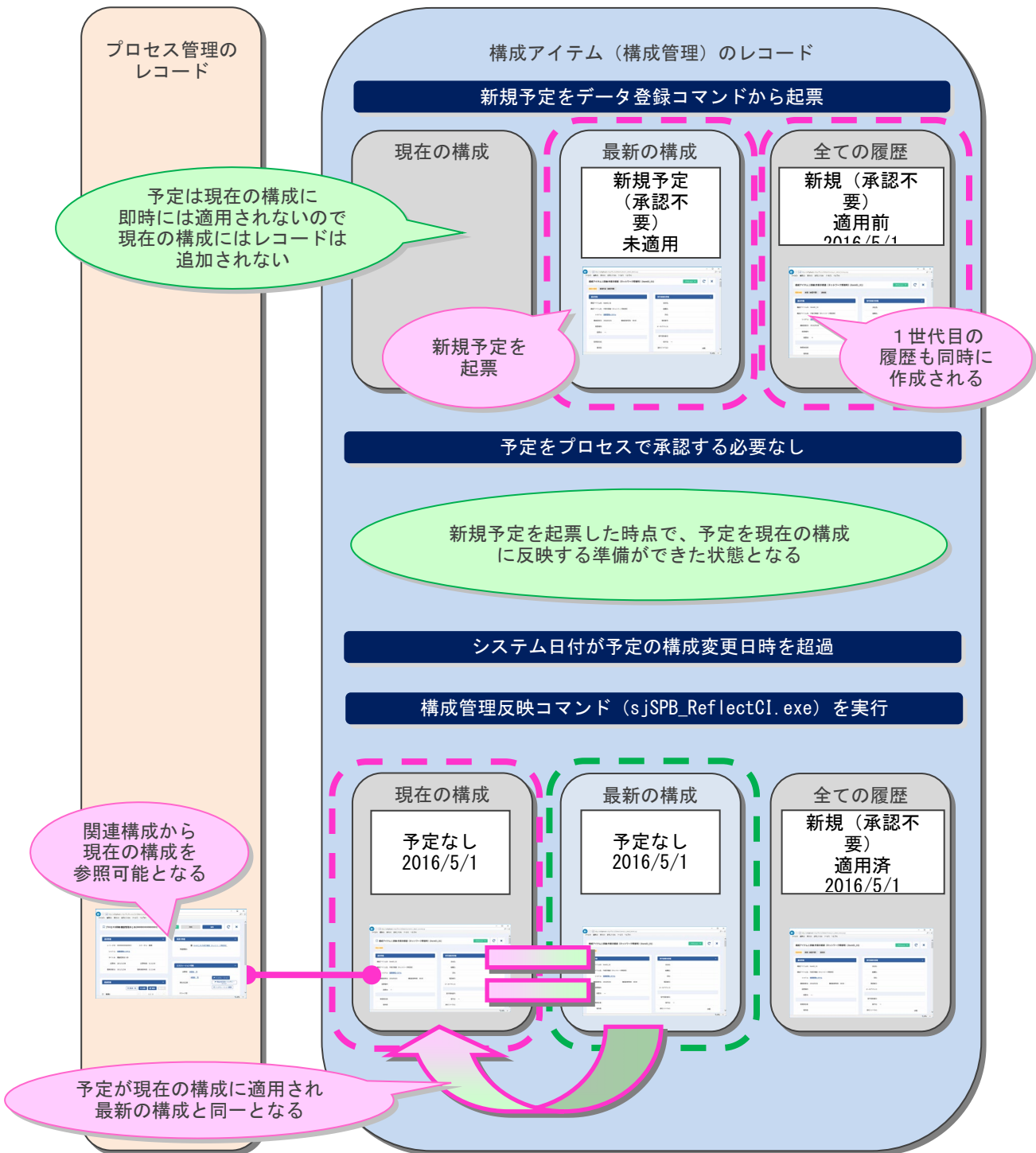


### 3. Web 画面から削除予定起票～適用まで

前項からの引き続きの流れです。

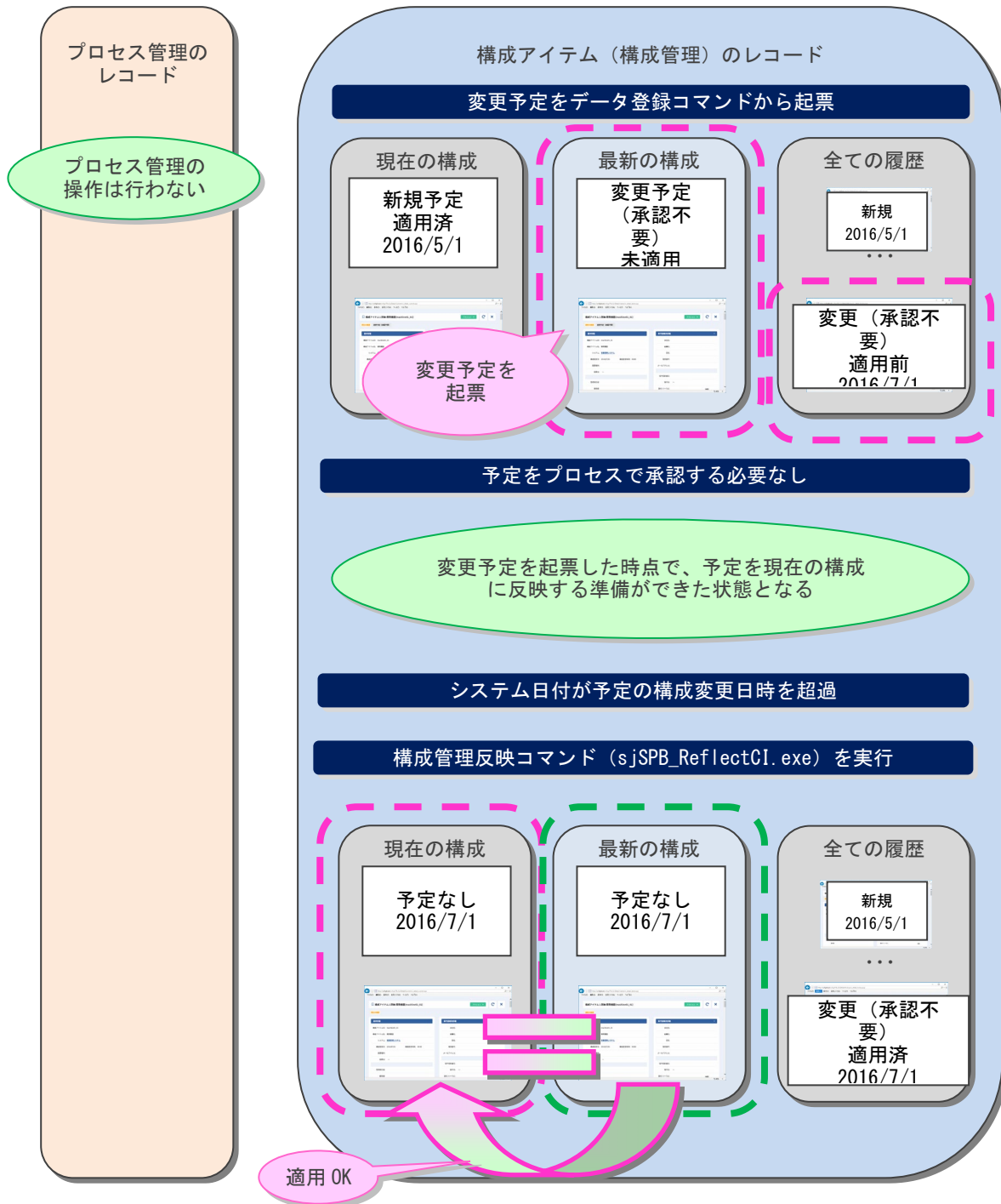


#### 4. コマンドから承認不要の新規予定を起票～適用まで



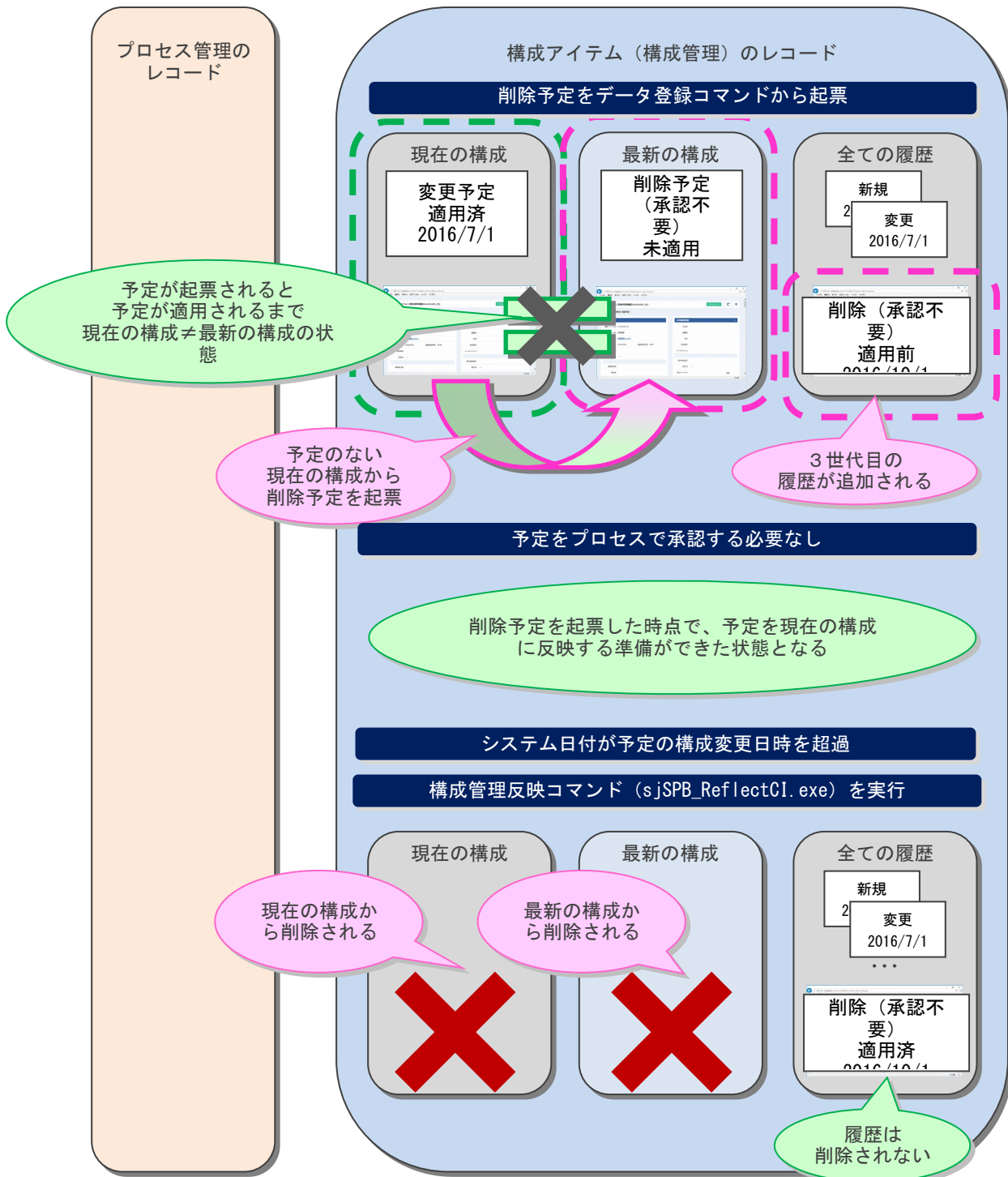
## 5. コマンドから承認不要の変更予定を起票～適用まで

「1 Web 画面から新規予定起票～適用まで」からの引き続きの流れです。

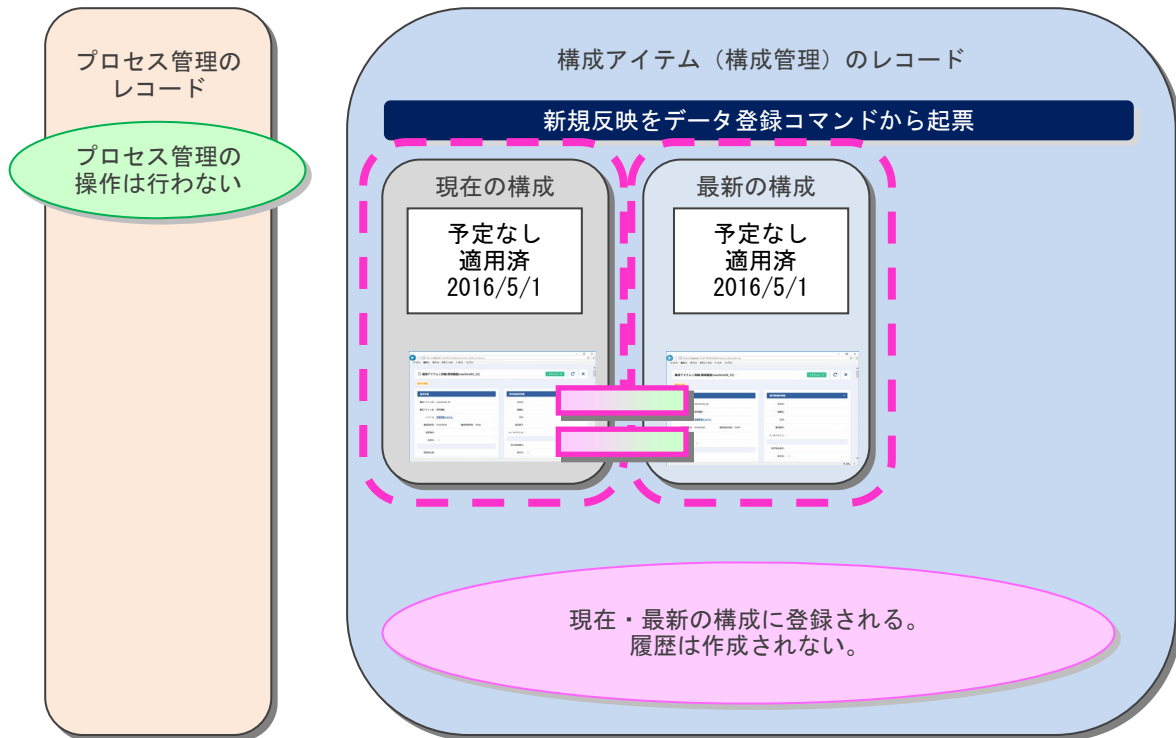


## 6. コマンドから承認不要の削除予定を起票～適用まで

「2 Web 画面から変更予定起票～適用まで」からの引き続きの流れです。



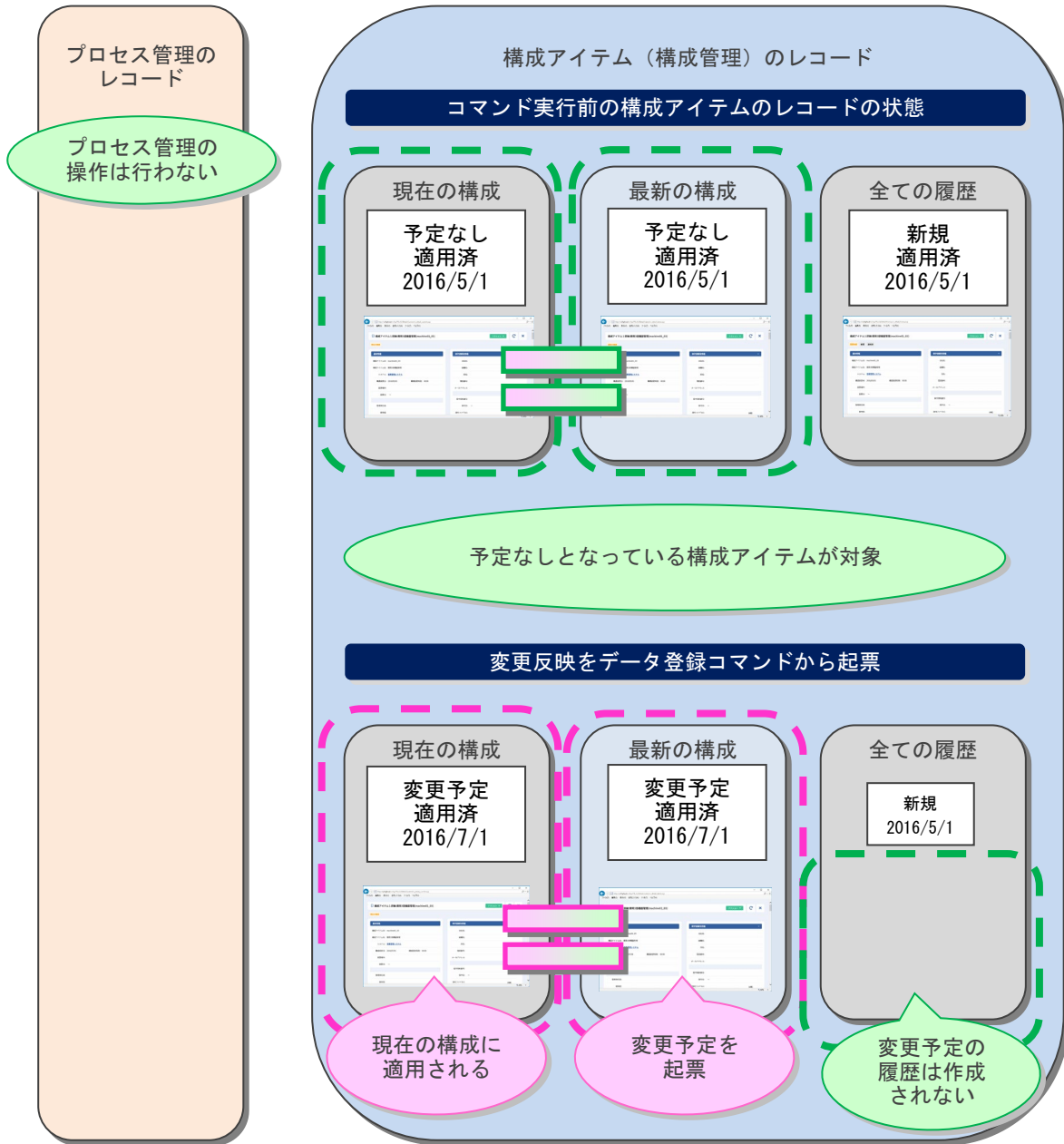
## 7. コマンドから新規反映にて現在の構成に即反映



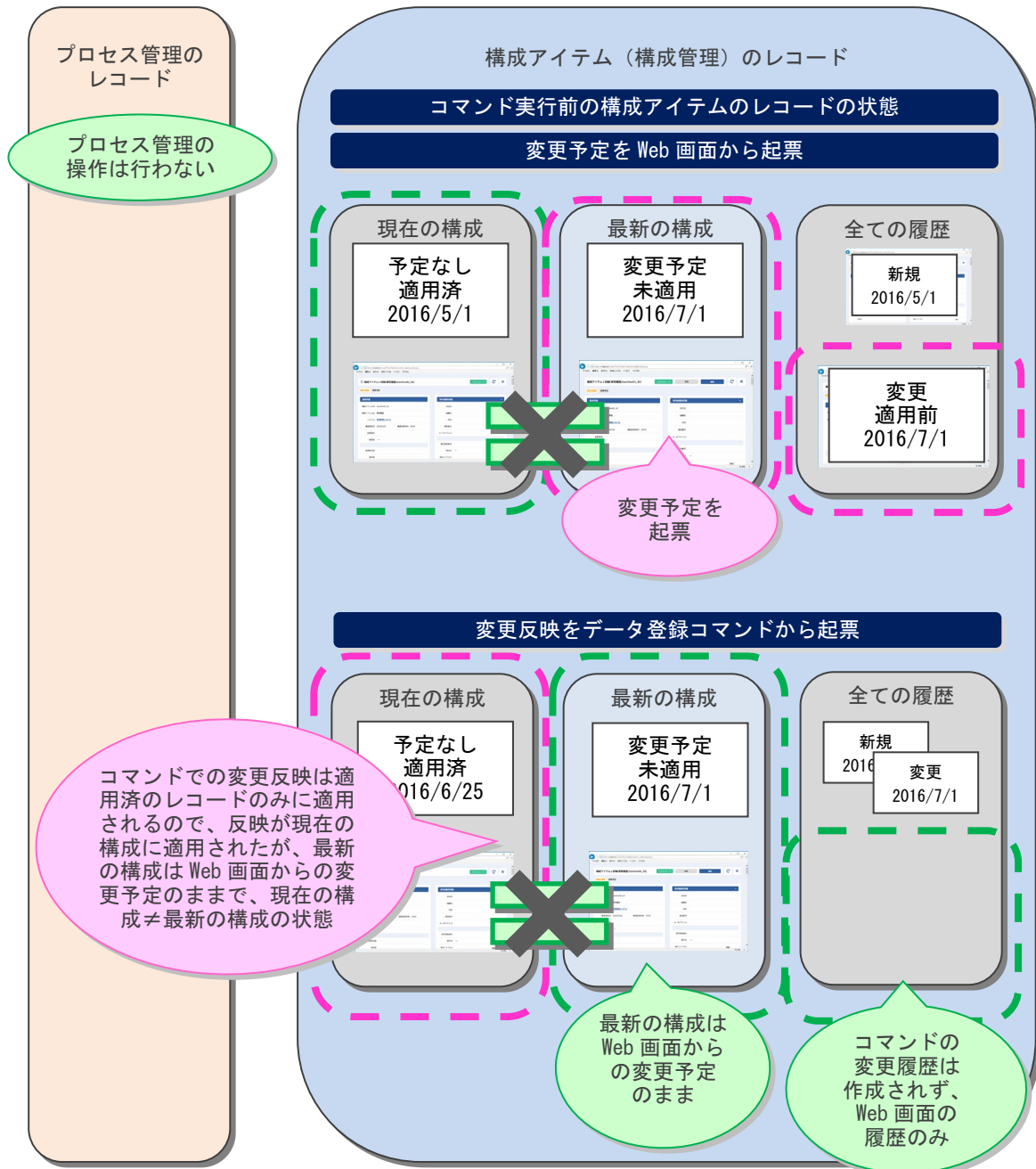


## 8. コマンドから変更反映にて現在の構成に即反映

- ・ 変更予定が起票されていない構成アイテムの場合



・変更予定が起票されている構成アイテムの場合



以下、特殊なケースについて説明します。

「現在の構成」及び「最新の構成」で関連項目に関連付けられている構成アイテムが存在する状態で変更反映により該当の構成アイテムとの関連付けを解除した場合、「最新の構成」では「追加」として表示されます。

「最新の構成」は、該当構成アイテムと関連付けされている状態で、変更予定起票がされているため、「現在の構成」の状態に応じて自動的に変更されます。

【現在の構成】

関連構成1

【最新の構成】

関連構成1

【現在の構成（変更反映後）】

関連構成1

【最新の構成（変更反映後）】

関連構成1

逆に、変更反映により「現在の構成」に新たに関連付けが登録された場合、変更予定が起票されている「最新の構成」では該当の構成アイテムが「解除」として表示されます。

【現在の構成】

関連構成1

【最新の構成】

関連構成1

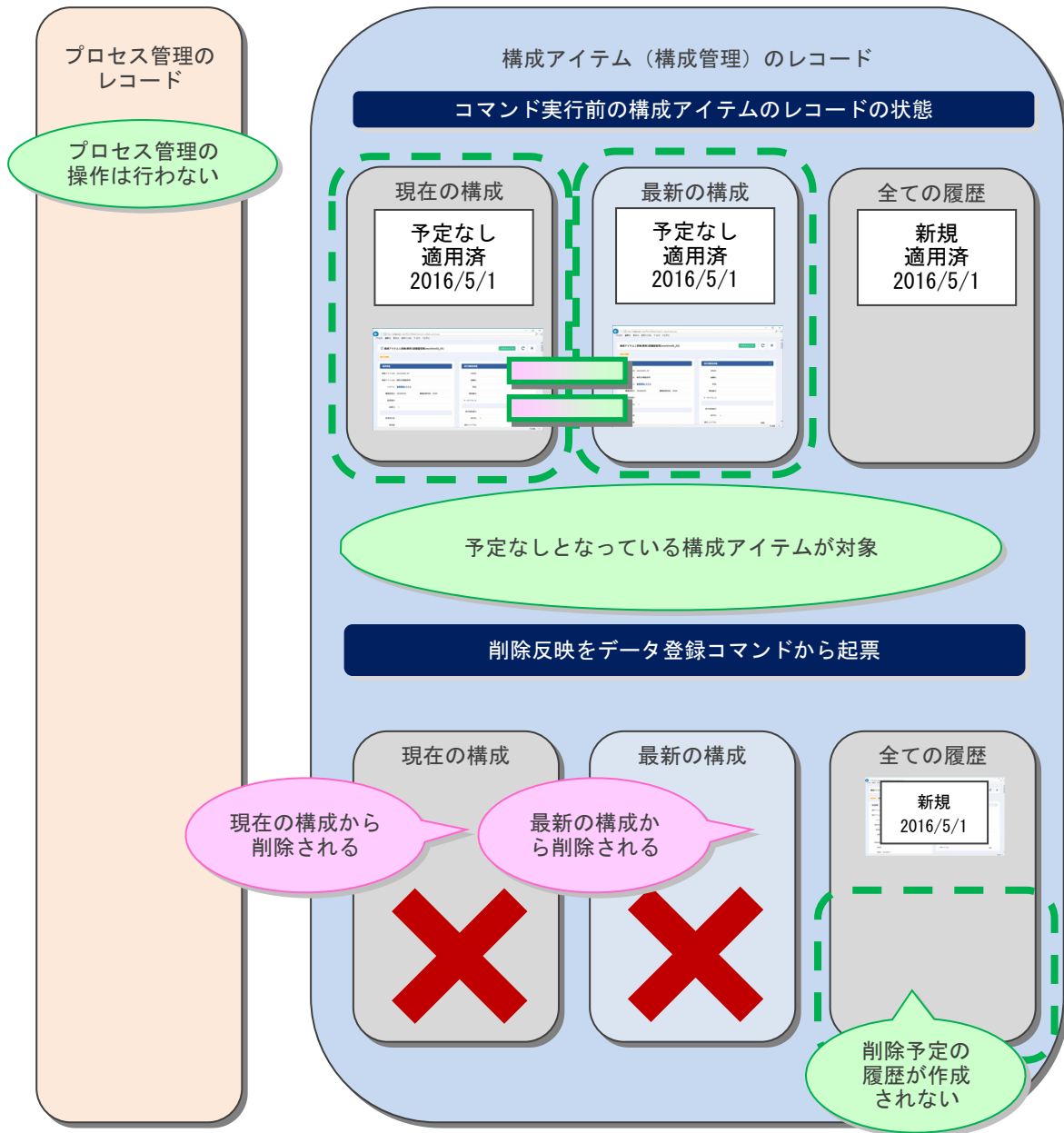
【現在の構成（変更反映後）】

関連構成1

【最新の構成（変更反映後）】

関連構成1

### 9. コマンドから削除反映にて現在の構成に即反映



## 1.2.3.4 レコードの紐づけ仕様

Senju Service Manager で管理するレコードから構成アイテム（構成管理）のレコードを紐づける項目の仕様を以下に記します。

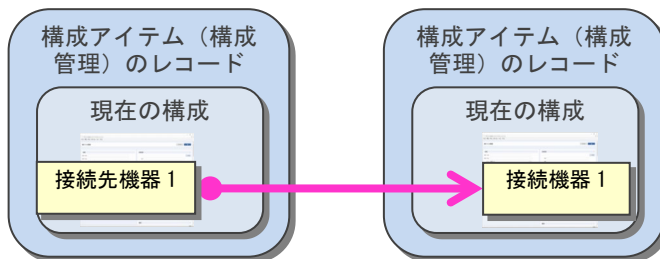


仕様補足

構成管理間の紐づけは基本的に現在の構成へ行われます。ただし、適用処理が行われていないレコードについては最新の構成へ紐づけが行われます。以下の例ではすべて現在の構成を例に記載をします。

### 1. 接続先機器と接続機器（構成管理間の紐づき）

構成管理の接続先機器は構成アイテム（構成管理）のレコードに対して一方向の紐づけを行います。関連先のレコードからは接続機器項目で関連元のレコードを確認することができます。ただし、接続先機器 1 に対しては接続機器 1 が紐づけられます。そのため、例えば接続先機器 1 に対して接続機器 2 が紐づくことはありません。



接続先機器は「機器階層」という概念で管理され、関連元を「子画面」、関連先を「親画面」として扱います。

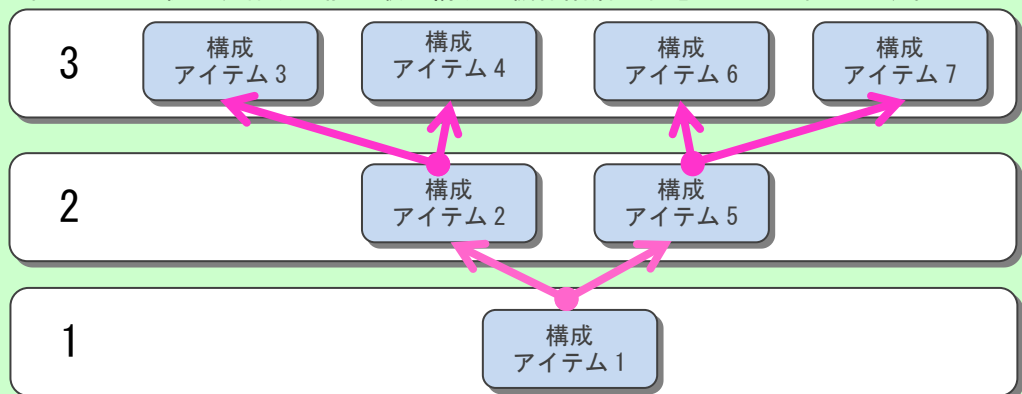
#### 【機器階層の設定ルール】

- 子画面は最大 2 件の親画面を指定することができます。
- 階層は最大 3 階層です。
- 親画面に指定された画面は別の子画面の親画面に指定できません。

上記ルールに従い、作成可能な最大構成の機器階層の状態は以下に記します。



仕様補足



仕様補足

削除予定済みの機器を接続先機器として設定することはできません。



仕様補足

接続先機器選択時に、自構成アイテムの使用するアンペア数を入力します。これにより、階層管理される構成アイテム全体の消費アンペア数を集計することができます。



仕様補足

接続機器が存在しない場合のみ、接続先機器を全て解除することができます。

紐づけを行う際は接続先機器登録可能最大件数等に対するチェックが行われます。そのため、以下の設定をご確認ください。

「管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 共通 > 共通」



仕様補足

設定項目
構成管理－使用可能口数 1 による登録上限値チェック
構成管理－使用可能口数 2 による登録上限値チェック

※構成管理反映コマンド (sjSPB\_ReflectCl.exe) 実行時も同様のチェックが行われ  
ます。

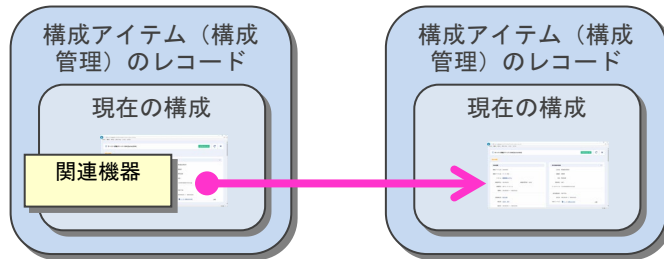


補足設定

接続先機器の選択対象の画面は[管理者メニュー > 画面 > 画面定義 > 関連項目設定]で  
設定します。

## 2. 関連機器（構成管理間の紐づき）

構成管理の関連機器項目は構成アイテム（構成管理）のレコードに対して一方向の紐づけを行います。関連先のレコードから関連元のレコードを確認することはできません。



補足設定

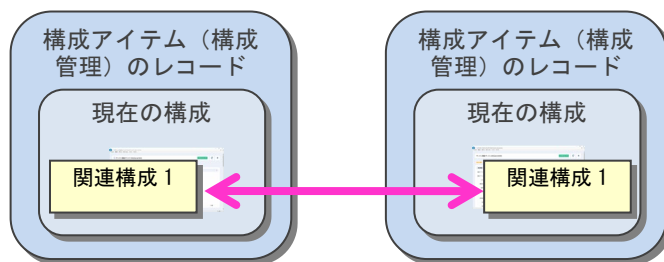
関連機器の選択対象の画面は[管理者メニュー > 画面 > 画面定義 > 関連項目設定]で設定します。

## 3. 関連構成（構成管理間の紐づき）

構成管理の関連構成項目は構成アイテム（構成管理）のレコードに対して双方向の紐づけを行います。

関連先のレコードから関連元のレコードの紐づけは本項目から確認できます。

ただし、関連構成 1 に対してのみは関連構成 1 が紐づけられます。そのほかの関連構成 2A～2E に対しては関連構成 2A～2E のいずれかを紐づけることができます。



補足設定

関連構成 1 の選択対象の画面は[管理者メニュー > 画面 > 画面定義 > 関連項目設定]で設定します。

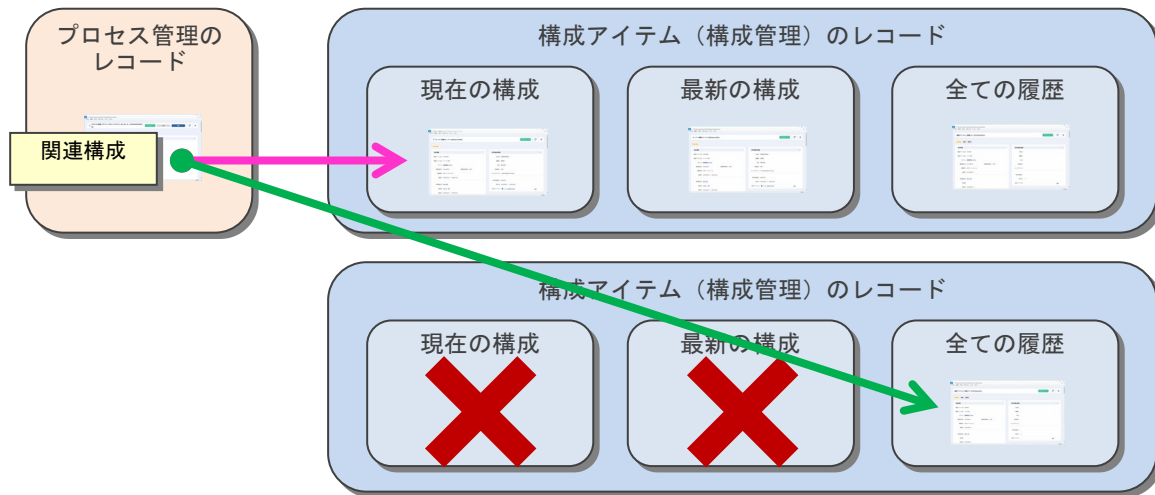


補足設定

関連構成 2A～2E の選択対象の画面及び関連構成項目は[管理者メニュー > 画面 > 画面定義 > 関連項目設定]で設定します。

#### 4. 関連構成（プロセス ⇒ 構成管理の紐づき）

プロセス管理の関連構成 1～4 項目は構成アイテム（構成管理）の現在の構成へ、一方向の紐づけを行います。



仕様補足

関連構成 1～4 項目で紐づけていた構成アイテム（構成管理）のレコードの削除予定が適用された場合、履歴のレコードへの紐づけに切り替わります。この場合、紐づけの解除はできますが、再度履歴のレコードへ紐づけを行うことはできません。  
※上記動作は[管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 共通 > 共通]の管理項目「削除済み構成アイテム(構成管理)表示設定」で「表示する」と設定した場合のみです。



仕様補足

構成アイテム（構成管理）からは詳細の[関連プロセス検索]から、関連元のプロセスのレコードを参照できます。



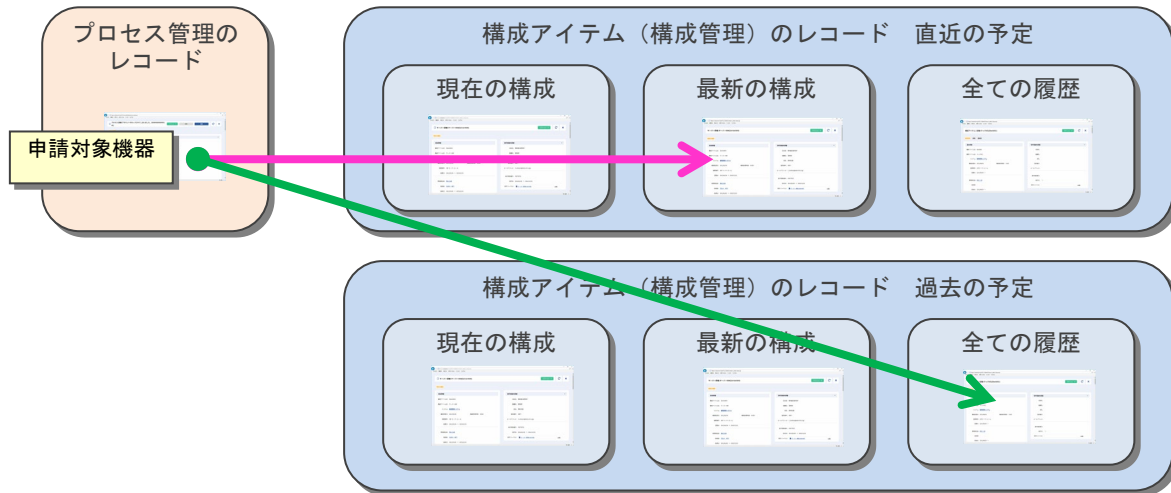
補足設定

関連構成の選択対象の画面は[管理者メニュー > 画面 > 画面定義 > 関連項目設定]で設定します。



## 5. 申請対象機器（構成管理 ↔ プロセス間の紐づき）

プロセス管理の申請対象機器項目は構成アイテム（構成管理）の予定を承認申請する時に使用する項目です。本項目に構成アイテム（構成管理）の最新の構成のレコードを登録し、承認することによって現在の構成への反映準備が完了します。



仕様補足

申請対象機器に登録された構成アイテム（構成管理）の予定が直近の予定の場合、最新の構成に対して紐づきます。過去の予定に対する申請起票の場合、履歴に対して紐づきます。

※直近の予定が削除予定かつ、削除予定が反映され最新の構成にレコードが存在しない場合は履歴を表示します。



操作説明

構成アイテム（構成管理）の詳細からプロセスへの[申請起票]を行った時に、該当の構成アイテム（構成管理）とプロセスのレコードとの紐づけが本項目に自動設定されます。またプロセス管理の新規登録／編集から、構成アイテム（構成管理）の最新の構成を検索し、選択することもできます。



補足設定

申請起票を行う際に紐づくプロセス画面は[管理者メニュー > 画面 > 画面定義 > 申請先画面設定]で設定します。

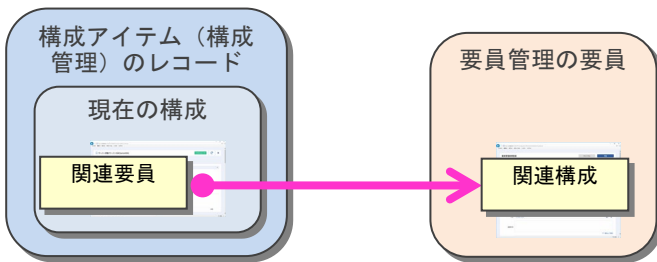


操作説明

構成アイテム（構成管理）からは詳細の[関連申請検索]から、関連元のプロセスのレコードを参照できます。

## 6. 関連要員（構成管理⇔要員管理の紐づき）

構成管理の関連要員項目は要員管理の要員に対して一方的に紐づけを行います。



操作説明

要員管理からは詳細の関連構成項目から、関連元の構成アイテム（構成管理）のレコードを参照できます。

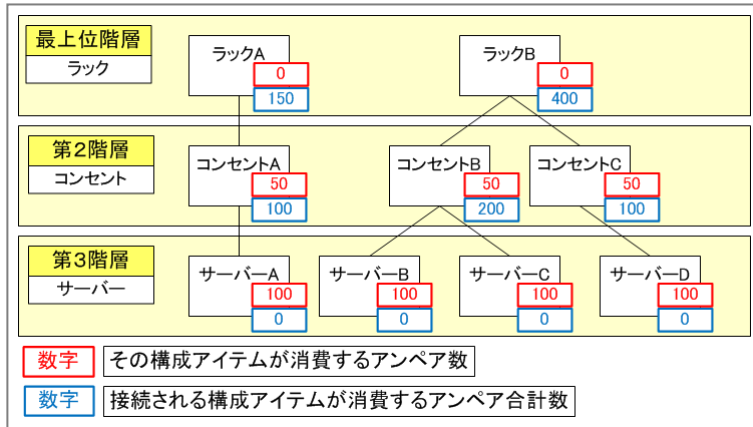


仕様補足

関連元の構成アイテム（構成管理）のレコードが適用されていない場合、関連先の要員管理詳細画面から関連元の内容を確認することはできません。

## 1.2.3.5 自動集計機能

構成管理では接続先機器項目（「1.2.3.4-1 接続先機器と接続機器（構成管理間の紐づき）」参照）を使用することによって、階層間の自動集計機能を提供します。



上記図のように、「ラック」「コンセント」「サーバー」という構成アイテムのグループ（画面）を作成し、最上位階層に「ラック」、第二階層に「コンセント」、第三階層に「サーバー」という階層を定義して構成アイテム（構成管理）の親子関係を管理することができます。

### 1. 機器階層管理による自動計算用の項目

以下に自動集計用の構成アイテム（構成管理）の項目を記します。

項目名	説明
接続先機器	「1.2.3.4-1 接続先機器と接続機器（構成管理間の紐づき）」参照
使用アンペア	関連先（接続先機器）の構成アイテムで使用する使用アンペアを定義します。
接続先機器 （使用アンペア）	接続先機器を選択する際に、関連先の構成アイテムに割り当てる使用アンペアを指定できます。例えば構成アイテム自体に設定した使用アンペア項目が「100」の時、関連先Aに対しては「30」、関連先Bは「70」の使用アンペアを割り振る、といったことが可能です。
使用済アンペア	関連元（接続機器）の構成アイテムで入力された使用アンペアの総計が自動集計されます。階層間をまたいだ集計を行いません（図中では、最上位階層の使用済アンペアは第2階層と第3階層の関連元（接続機器）が集計対象となります）。
使用済口数	関連元（接続機器）の構成アイテムで入力された使用口数の総計が自動集計されます。階層間をまたいだ集計は行いません（図中では、第3階層の使用口数は第2階層でのみ集計され、最上位階層では集計されません）。



補足設定

以下の設定については任意に設定を変更してください。

- ・[管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 共通 > 共通]

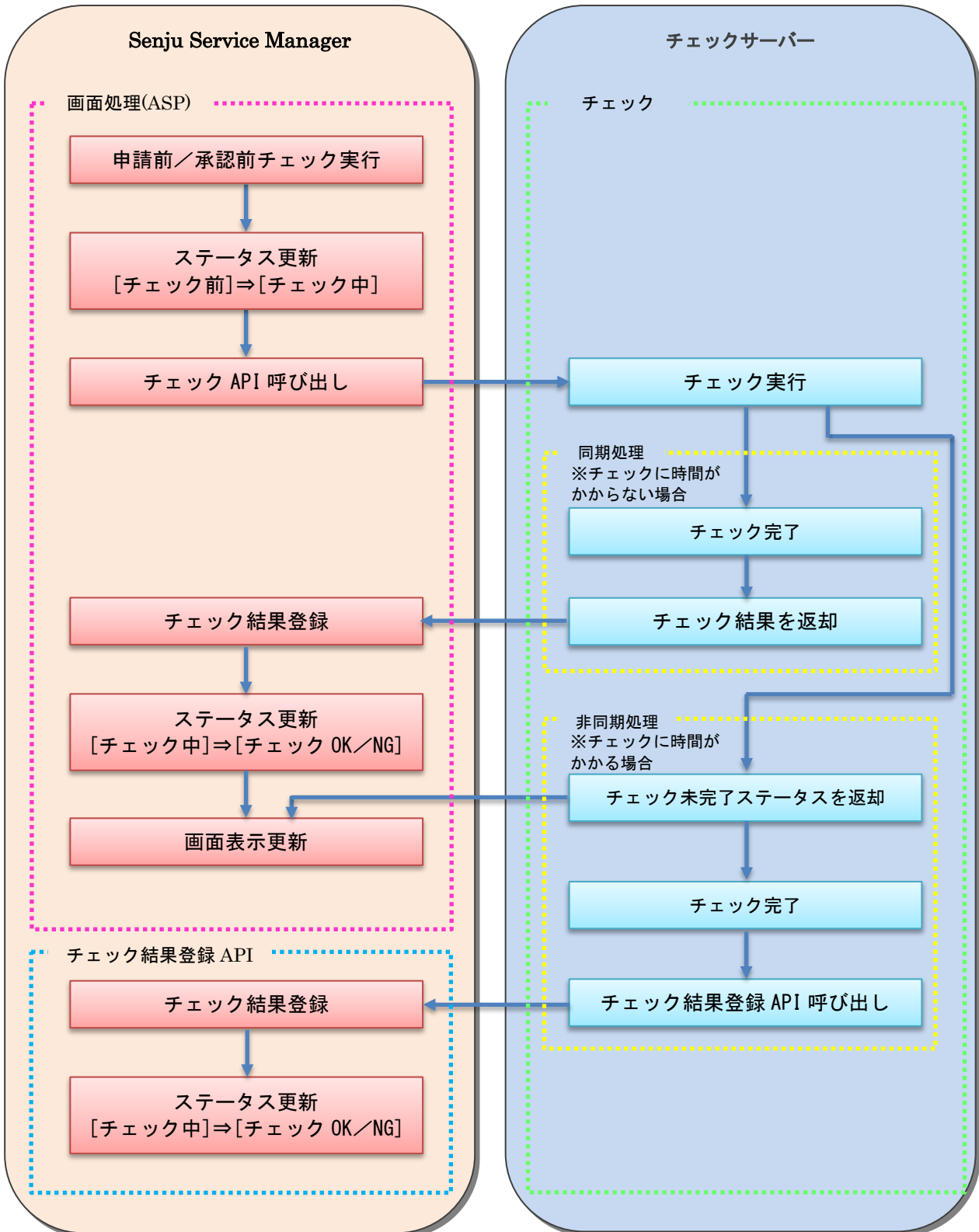
設定項目

構成管理－安全設計集計方式設定

## 1.2.4 外部チェック機能の WEBAPI 仕様まとめ

Senju Service Manager の外部チェック機能で使用する WEBAPI の仕様を本章にまとめます。

### 1.2.4.1 外部チェック機能の処理フロー



制御情報「外部チェックリクエスト送信設定」が「WEB サーバーから送信する」設定の場合、外部チェック処理は非同期でのみ動作します。



仕様補足

- ・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 共通 > 共通]

設定項目
外部チェックリクエスト送信設定

## 1.2.4.2 チェック API（貴社で作成いただく場合）

### 1. 処理概要（必要な機能）

- ・ Senju Service Manager からのチェック要求を受けて、公開ビューを利用しチケット内容のチェックを行う。
- ・ チェック処理に時間がかからない場合は、チェック結果を返却する。
- ・ チェック処理に時間がかかる場合は「チェック未完了」のステータスを返却し、チェック完了後に「チェック結果登録 API」を呼び出す。

### 2. リクエスト URI

http://[任意の URI]

リクエスト URI は以下の制御情報で設定します。画面毎に異なる URI を指定することもできます。チェックサーバーに任意のポートを使用する場合は、URI にポート指定を併せて記載してください。

例：http://[ホスト名]:8080/（8080 ポートを使用した場合）



仕様補足

- ・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 利用者メニュー > プロセス管理]

設定項目
外部チェック WEBAPI の URI

Senju Service Manager からのリクエストヘッダには content-Type:application/xml; が指定されます。文字コードは、制御情報「外部チェックリクエスト送信設定」が「クライアントから送信する」設定の場合は Shift\_JIS、「WEB サーバーから送信する」設定の場合は UTF-8 が指定されます。



仕様補足

- ・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 共通 > 共通]

設定項目
外部チェックリクエスト送信設定

### 3. 入カインターフェース

- ・ HTTP メソッド : POST
- ・ データ形式 : XML
- ・ 文字コード : (※1)
- ・ パラメータ : 下表参照

項目名	内容	バイト数
data_type	画面 ID (識別 ID)	8
process_insert_no	レコード ID (識別 ID)	16
system_name	システム (名称)	60
type_name	種別 (名称)	80
wf_status	申請状況 (1:申請前、2:申請中、3:承認済、4:却下)	1
wf_route_name	ルート名 (名称)	80
wf_route_no	承認フロー現在ルート No	2
web_host_identifier	WEB ホスト識別子 (※2)	38

※1…文字コードは、制御情報「外部チェックリクエスト送信設定」の値が「クライアントから送信する」の場合は Shift\_JIS、「WEB サーバーから送信する」の場合は UTF-8 が指定されます。



仕様補足

- ・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 共通 > 共通]

設定項目
外部チェックリクエスト送信設定

※2…WEB ホスト識別子は、制御情報「外部チェックリクエスト送信設定」の値が「WEB サーバーから送信する」の場合にのみ使用します。



仕様補足

- ・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 共通 > 共通]

設定項目
外部チェックリクエスト送信設定

#### 1. Senju Service Manager が送信するリクエストの例

・ 制御情報「外部チェックリクエスト送信設定」が「クライアントから送信する」の場合  
 <?xml version='1.0 ' encoding='Shift\_JIS ' ?>  
 <wf\_check\_input>  
   <data\_type>01000001</data\_type >  
   <process\_insert\_no>0100000000000001</process\_insert\_no>  
   <system\_name>SSM 初期システム</system\_name>  
   <type\_name>種別 001</type\_name>  
   <wf\_status>2</ wf\_status >  
   <wf\_route\_name>承認フロールート</wf\_route\_name>  
   <wf\_route\_no>2</wf\_route\_no>  
 </ wf\_check\_input>

- ・制御情報「外部チェックリクエスト送信設定」が「WEB サーバーから送信する」の場合

```
<?xml version='1.0' encoding='UTF-8' ?>
<wf_check_input>
  <data_type>01000001</data_type >
  <process_insert_no>0100000000000001</process_insert_no>
  <system_name>SSM 初期システム</system_name>
  <type_name>種別 001</type_name>
  <wf_status>2</ wf_status >
  <wf_route_name>承認フロールート</wf_route_name>
  <wf_route_no>2</wf_route_no>
  <web_host_identifier>{976A4B0B-9677-425D-AE86-
9942148E3CFD}</web_host_identifier>
</ wf_check_input>
```

#### 4. 出カインターフェース

- ・データ形式 : XML
- ・文字コード : Shift\_JIS
- ・パラメータ : 下表参照

項目名	内容	バイト数
wf_check_status	チェック状況(0:チェック未完了 1:チェック完了)	1
wf_check_result	チェック結果(0:OK 1:NG)	1
wf_check_detail	チェック結果詳細	10k

##### 1. HTML Response ヘッダの例

SSM が所属するドメインと異なるドメインにチェック用 API が設置される場合、チェック API 側で、異なるドメインからのアクセスを許可する必要があります。Response ヘッダに、“Access-Control-Allow-Origin” を追加してください。

- ・他のドメインからのアクセスを許可する場合(ドメイン指定なし)  
**Access-Control-Allow-Origin: \***
- ・指定したドメインからのアクセスを許可する場合(ドメイン指定あり)  
**Access-Control-Allow-Origin: http://ccfshost.nri.co.jp/(許可するドメイン名)**

##### 2. チェック API が返却するレスポンスの例

- ・チェック OK の場合

```
<?xml version='1.0' encoding='Shift_JIS' ?>
<wf_check_output>
  <wf_check_status>1</wf_check_status>
  <wf_check_result>0</wf_check_result>
  <wf_check_detail>チェック OK です。</ wf_check_detail >
</ wf_check_output>
```
- ・チェック NG の場合

```
<?xml version='1.0' encoding='Shift_JIS' ?>
<wf_check_output>
  <wf_check_status>1</wf_check_status>
  <wf_check_result>1</wf_check_result>
  <wf_check_detail>チェック NG です。</ wf_check_detail >
</ wf_check_output>
```

- ・チェック未完了の場合

```
<?xml version='1.0' encoding='Shift_JIS' ?>
<wf_check_output>
  <wf_check_status>0</wf_check_status>
  <wf_check_result></wf_check_result>
  <wf_check_detail>チェック中です。</ wf_check_detail >
</ wf_check_output>
```



仕様補足

制御情報「外部チェックリクエスト送信設定」の値が「WEB サーバーから送信する」の場合、チェック API は非同期で呼び出されます。この場合、レスポンスは常に「チェック未完了の場合」のパターンで返却し、チェック完了後に結果登録 API を呼び出してください。

- ・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 共通 > 共通]

設定項目
外部チェックリクエスト送信設定

## 1.2.4.3 チェック結果登録 API (SSM で提供する API)

### 1. 処理概要

- ・チェック API からの要求を受け、チェック結果を Senju Service Manager のデータベースへ書き込む。

### 2. リクエスト URI

<http://{SSMWEB サーバー}/ccfsp/Service/CheckResultRegist/CheckResultRegist.asp>



仕様補足

http、https のどちらのプロトコルになるかは、SSMWEB サーバーをインストールした環境に準じます。



仕様補足

通信ポートは SSMWEB サーバーの設定に準じます。  
⇒リリースノート「2.4 通信ポート」



仕様補足

チェック API から結果登録 API を呼び出す際のリクエストヘッダには content-Type:application/x-www-form-urlencoded; を指定してください。

### 3. 入力インターフェース

- ・ HTTP メソッド : POST
- ・ データ形式 : XML
- ・ 文字コード : Shift\_JIS

項目名	内容	バイト数
data_type	画面 ID	8
process_insert_no	レコード ID	16



wf_route_name	ルート (名称)	80
wf_route_no	承認フロー現在ルート No	2
wf_check_result	チェック結果 (0:OK 1:NG)	1
wf_check_detail	チェック結果詳細	10k

### 1. チェック API が送信するリクエストの例

#### ・チェック OK の場合

```
<?xml version='1.0' encoding='Shift_JIS' ?>
<sm_ex_wf_check_result_regist_request>
<data_type>01000001</data_type>
  <process_insert_no>0100000000000001</process_insert_no>
  <wf_route_name>承認フロールート</wf_route_name>
  <wf_route_no>2</wf_route_no>
  <wf_check_result>0</wf_check_result>
  <wf_check_detail>チェック OK です。</wf_check_detail>
</sm_ex_wf_check_result_regist_request>
```

#### ・チェック NG の場合

```
<?xml version='1.0' encoding='Shift_JIS' ?>
<sm_ex_wf_check_result_regist_request>
<data_type>01000001</data_type>
  <process_insert_no>0100000000000001</process_insert_no>
  <wf_route_name>承認フロールート</wf_route_name>
  <wf_route_no>2</wf_route_no>
  <wf_check_result>1</wf_check_result>
  <wf_check_detail>テキスト 1 が未入力です。</wf_check_detail>
</sm_ex_wf_check_result_regist_request>
```

### 4. 出カインターフェース

- ・データ形式 : XML
- ・文字コード : Shift\_JIS
- ・パラメータ : 下表参照

項目名	内容	バイト数
Result	登録結果(0:正常 1:エラー(DB 接続失敗) 2:エラー(更新時失敗) 3:エラー(その他))	1
Detail	登録結果詳細	10k

### 1. 結果登録 API が返却するレスポンスの例

#### ・正常終了の場合

```
<?xml version='1.0' encoding='Shift_JIS' ?>
<sm_ex_wf_check_result_regist_responce>
  <result>0</result>
  <detail></detail>
</sm_ex_wf_check_result_regist_responce>
```

#### ・DB 接続エラーの場合

```
<?xml version='1.0' encoding='Shift_JIS' ?>
<sm_ex_wf_check_result_regist_responce>
  <result>1</result>
  <detail>データベースの接続中にエラーが発生しました</detail>
</sm_ex_wf_check_result_regist_responce>
```

## 1.2.5 Webhook 送信仕様まとめ

Senju Service Manager の Webhook 送信についての仕様を本章にまとめます。

### 1.2.5.1 置換文字列一覧

[管理者メニュー > 機能別 > Webhook 連携 > 送信メッセージテンプレート]では以下の置換文字列を使用できます。

名称	置換文字列	説明
現在日付	%CMN:DATE%	現在日付で置換します。 書式: YYYY/MM/DD(曜日)
現在時刻	%CMN:TIME%	現在時刻で置換します。 書式: hh:mm:ss
ログインユーザー名	%CMN:LOGIN_USER_NAME%	ログインユーザー名で置換します。
入力データ	%CMN:INPUT_DATA%	トリガーアクションが「登録前」「更新前」の場合に、入力したデータで置換します。
画面 ID	%CMN:DATA_TYPE%	プロセスの画面 ID で置換します。
操作画面 ID	%CMN:OPERATION_SCREEN_ID%	プロセスまたは簡易プロセスの画面 ID で置換します。
画面名	%CMN: DATA_TYPE_NAME%	画面名で置換します。
簡易画面フォーム名	%CMN:PORTAL_FORM_NAME%	プロセスが簡易画面起票またはフォーム公開されている場合、フォーム名で置換します。
申請者	%CMN:APPLY_USER%	承認申請を行ったユーザー名で置換します。
メール送信先ユーザー	%CMN:MAIL_RECIPIENT_USER%	メールを送信した次ルートの申請者／承認者のユーザー名で置換を行います。
エスカレーション先	%PRC:ES_TO_USER%	エスカレーション先に選択したユーザー名で置換します。
エスカレーションコメント	%PRC:ES_COMMENT%	エスカレーションダイアログで入力したコメントで置換します。 ※置換が行われた場合、固定の文言「[コメント]」がコメントの前に付与されます。
対応者	%PRC:RESPOND_USER%	エスカレーション対応者で置換します。
承認者	%PRC:APPROVE_USER%	承認フロー承認者で置換します。
承認フロールート名	%PRC:WF_ROUTE_NAME%	承認フローのルート名で置換します。
承認フローコメント	%PRC:WF_COMMENT%	承認フロー選択および承認フローダイアログで入力したコメントで置換します。 ※置換が行われた場合、固定の文言「[コメント]」がコメントの前に付与されます。
簡易画面用アクセス URL	%PRC:PORTAL_ACCESS_URL%	簡易画面用のレコードのアクセス URL で置換します。
プロセス新規登録画面用アクセス URL	%PRC:ADD_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、プロセス新規登録画面の URL を表示します。
プロセス新規登録画面用 SAML 認証用アクセス URL	%PRC:ADD_SAML_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、プロセス新規登録画面の SAML 認証用 URL を表示します。

名称	置換文字列	説明
簡易プロセス新規登録画面用アクセス URL	%PRC:ADD_PORTAL_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、簡易プロセス新規登録画面の URL を表示します。
簡易プロセス新規登録画面用 SAML 認証用アクセス URL	%PRC:ADD_SAML_PORTAL_ACCESS_URL%	SSM WEB サーバーコンフィグレータの「制御情報」でログイン URL が設定されている場合に、簡易プロセス新規登録画面の SAML 認証用 URL を表示します。
プロセス登録番号	%PRC:PROCESS_INSERT_NO%	プロセスの登録番号で置換します。



仕様補足

プロセスのレコードの値を引用する置換文字列については別紙「項目一覧」で確認してください。

## 1.2.6 レスポンス受信アクションの WEBAPI 仕様 まとめ

Senju Service Manager のレスポンス受信アクションで使用する WEBAPI の仕様を本章にまとめます。

Webhook 連携により実行された外部 WEBAPI のレスポンスにアクションを指示することで、Senju Service Manager に処理を行わせることができます。

外部 WEBAPI のレスポンスで指示できるアクションは以下の通りです。

- 1) プロセスを更新する
- 2) 履歴情報を記録する
- 3) ダイアログを表示する
- 4) トリガーアクションをキャンセルする

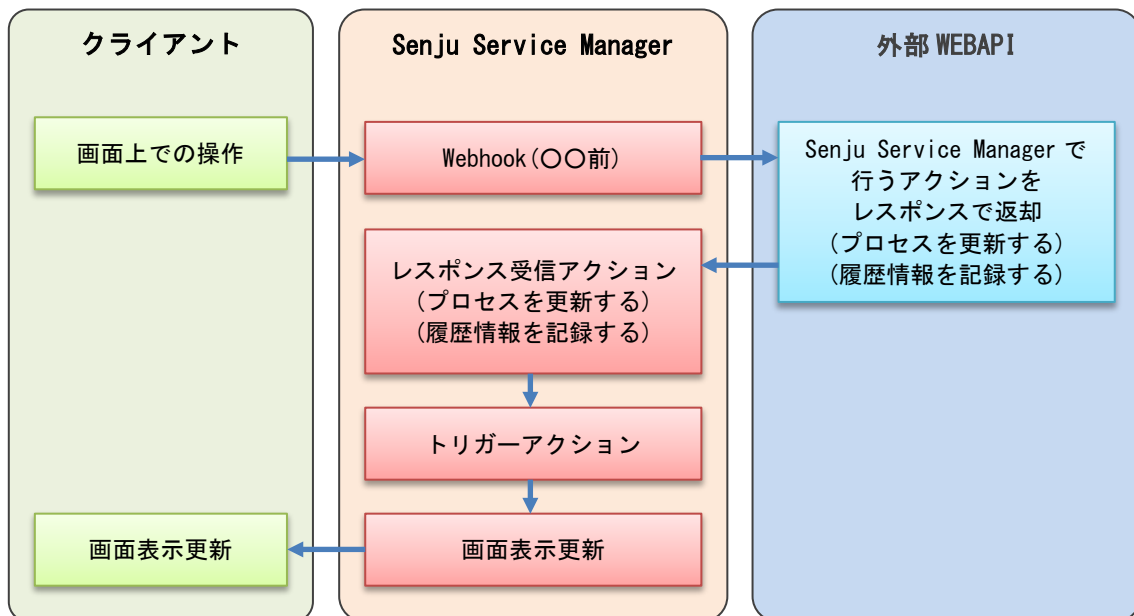
### 1.2.6.1 レスポンス受信アクションの処理フロー

以下に各アクションの処理フローを記載します。

※アクションを組み合わせた指示を行うことも可能です。

#### 1. プロセスを更新する・履歴情報を記録する

・ Webhook〇〇前の場合



制限事項

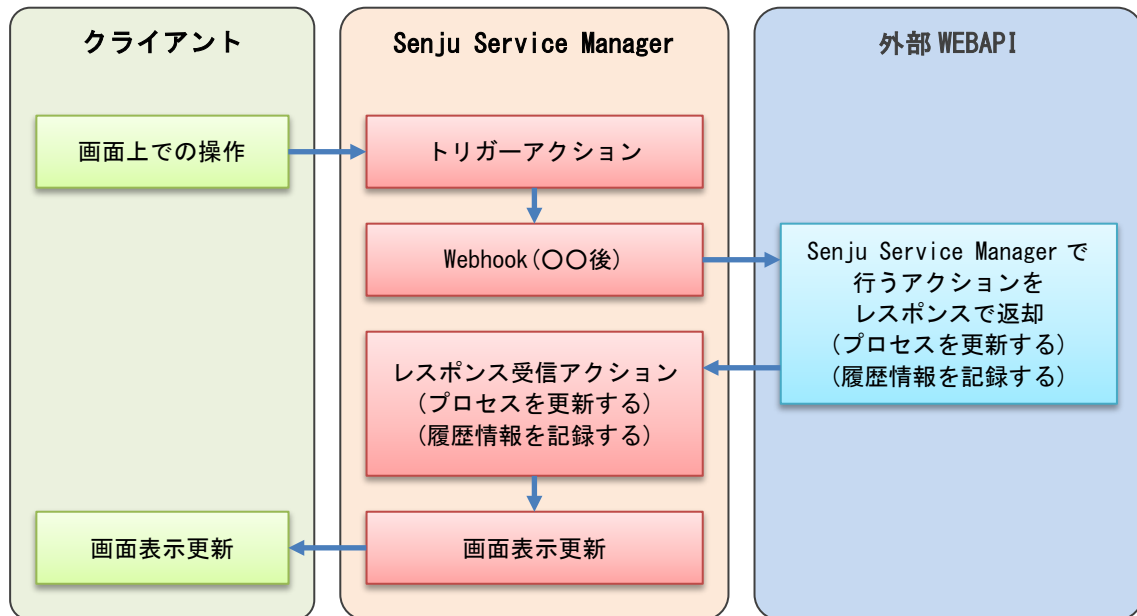
Webhook 送信設定画面にてトリガーアクションに「登録前」を設定した状態でプロセス登録を実施した場合、レスポンス受信アクションの「プロセスを更新する」と「履歴情報を記録する」は利用できません。



仕様補足

Webhook 送信設定画面にてトリガーアクションに「更新前」を設定した状態でプロセス更新を実施し、レスポンス受信アクションに「プロセスを更新する」を指定した場合、画面で編集可能となっている項目は、レスポンス受信アクションによる値の更新後に、画面上に指定した値で上書き更新されます。

## ・ Webhook〇〇後の場合



申請中のレコードを更新する場合、以下の制御情報の管理項目値を「更新を許可する」に設定する必要があります。許可していない場合、レコードの更新に失敗します。



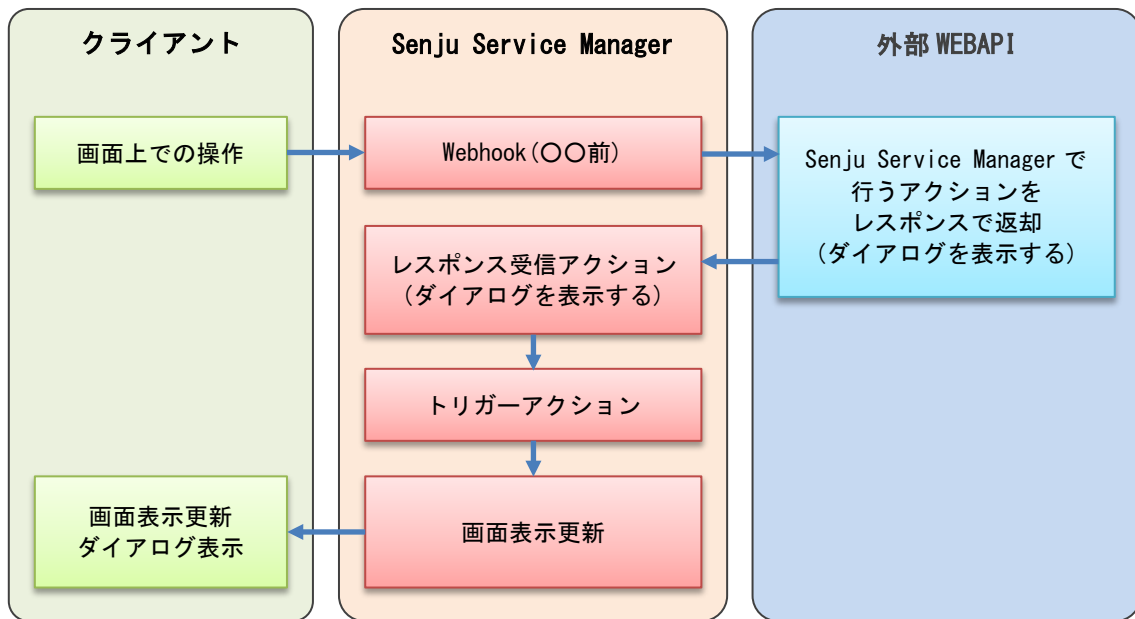
仕様補足

・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 利用者メニュー > プロセス管理]

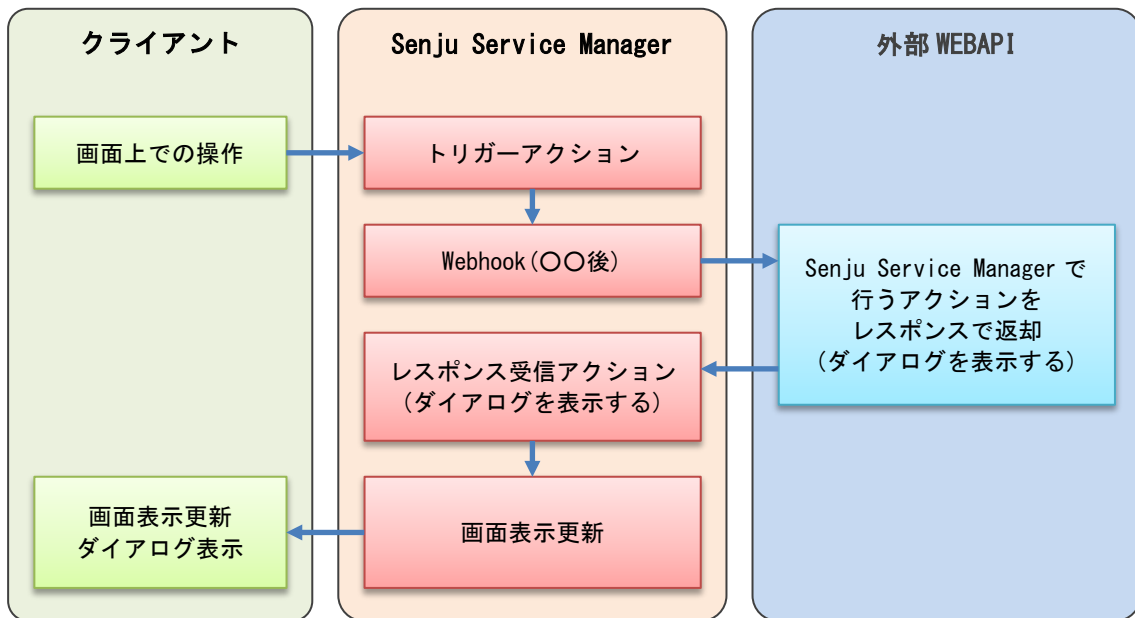
設定項目
コマンドからプロセス管理の申請中のレコードに対する更新操作の制御設定

## 2. ダイアログを表示する

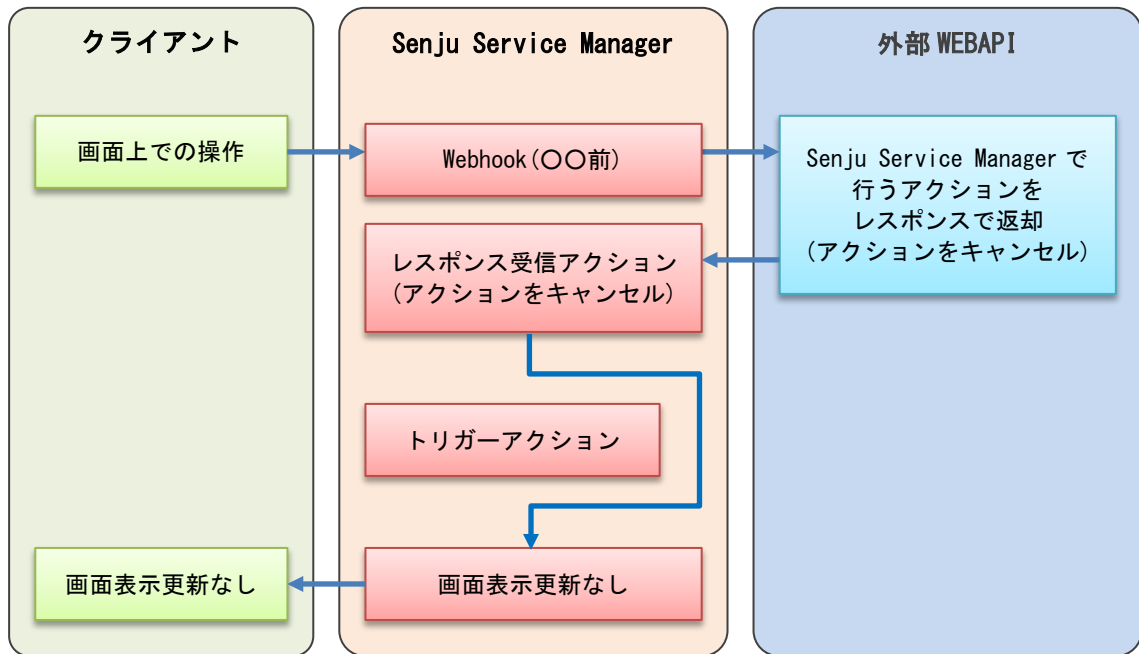
### ・ Webhook〇〇前の場合



### ・ Webhook〇〇後の場合



### 3. トリガーアクションをキャンセルする



キャンセル可能なトリガーアクションは以下となります。

- ・登録前
- ・更新前
- ・削除前
- ・経過削除前
- ・クローズ前
- ・承認申請選択前
- ・承認選択前
- ・承認申請前
- ・承認前
- ・作業選択前
- ・確認前
- ・作業選択前
- ・作業前
- ・差戻し選択前
- ・差戻し前
- ・却下選択前
- ・却下前



仕様補足

## 1.2.6.2 外部 WEBAPI



要注意

外部 WEBAPI は、Senju Service Manager では提供していません。  
貴社で作成いただく必要がございます。

### 1. 処理概要 (必要な機能)

- ・ Senju Service Manager に行わせるアクションをレスポンスで返却する。

### 2. リクエスト URI

http://[任意の URI]



仕様補足

リクエスト URI は Webhook 送信設定の [Webhook の URL] に設定してください。

### 3. 入力インターフェース

- ・データ形式 : JSON
- ・文字コード : UTF-8
- ・リクエストボディ : 任意



仕様補足

リクエストボディは送信メッセージテンプレートとして登録してください。

### 4. 出力インターフェース

- ・データ形式 : JSON
- ・文字コード : UTF-8 ※
- ・レスポンスボディ : 下表参照



仕様補足

※Senju Service Manager のサポート対象文字コードは shift-jis 形式であり、shift-jis で表現できない文字を指定した場合、文字化けすることがあります。

- レスポンスボディの形式

```
{
  "ssm_webhook_response": {
    "trigger_action_execute": bool,
    "actions": [
      <アクション 1>,
      ...
      <アクション n>
    ]
  }
}
```

項目名	値の形式	説明
trigger_action_execute	bool	トリガーアクション実行フラグ true: トリガーアクションを実行する false: トリガーアクションをキャンセルする
actions	array of object	-
<アクション>	(後述)	各アクション固有の記述 ※詳細は後述します



仕様補足

アクションは1種類1回までの指定としてください。  
同じ種類のアクションを複数回指定した場合、最後に指定したアクションが有効になります。



- レスポンスボディの形式：「プロセスを更新する」アクション

```
{
  "type": "update_process_data",
  "param": {
    "process_type_id": "<画面 ID>",
    "process_id": "<プロセスレコード ID>",
    "system_id": "<システム名>",
    "<項目名>": "<値>",
    ...
    "<項目名>": "<値>"
  }
}
```

type に update\_process\_data、param オブジェクト配下にパラメータとして「<項目名>:<値>」の形でレスポンス受信アクションで更新する項目と値を列挙します。

キー名	値	値の形式	上限 (byte)	説明
type	update_process_data	string	-	-
param	-	object	-	-
process_type_id	<値>	string	8	プロセス管理 1~103 の画面 ID (01000001~01000103)
process_id	<値>	string	16	レコード ID
system_id	<値>	string	60	システム名
<項目名>	<値>	※	※	※



仕様補足

各項目の項目名は「項目一覧」の以下を参照してください。

- 1.1.2.1 プロセス管理
9. 項目機能 5
- レスポンス受信アクション



仕様補足

各項目の値の形式および上限は「項目一覧」の以下を参照してください。

- 1.1.2.1 プロセス管理
2. 項目定義 (詳細) 1



仕様補足

更新対象のレコードを特定するため、param オブジェクト配下の項目名に以下の 3 つを必ず指定する必要があります。指定しない場合「プロセスを更新する」処理は失敗し、レスポンス受信アクションのエラーが表示されます。

項目名
process_type_id
process_id
system_id

- レスポンスボディの形式：「履歴情報を記録する」アクション

```
{
  "type": "register_process_history",
  "param": {
    "comment": "string"
  }
}
```

type に register\_process\_history、param オブジェクト配下にパラメータとして「comment」を指定しレスポンス受信アクションで履歴に登録する値を送信します。

キー名	値	値の形式	上限(byte)	説明
type	register_process_history	string	-	-
param	-	object	-	-
comment	<値>	string	2000	履歴情報に記録するコメント

- レスポンスボディの形式：「ダイアログを表示する」アクション

```
{
  "type": "display_dialog",
  "param": {
    "title": "string",
    "content": "string"
  }
}
```

type に display\_dialog、param オブジェクト配下にパラメータとして「title,content」を指定しレスポンス受信アクションでダイアログ表示内容を送信します。

キー名	値	値の形式	上限(byte)	説明
type	display_dialog	string	-	-
param	-	object	-	-
title	<値>	string	100	ダイアログのタイトル
content	<値>	string	2000	ダイアログの内容

- 外部 WEBAPI が返却するレスポンスの例
- トリガーアクションをキャンセルし、プロセスを更新、ダイアログを表示する場合

```
{
  "ssm_webhook_response": {
    "trigger_action_execute": false,
    "actions": [
      {
        "type": "update_process_data",
        "param": {
          "process_type_id": "01000001",
          "process_id": "0000000000000001",
          "system_id": "営業管理システム",
          "text_1": "申請前チェック NG"
        }
      },
      {
        "type": "display_dialog",
        "param": {
          "title": "申請前チェック NG",
          "content": "システム管理者に問い合わせてください。"
        }
      }
    ]
  }
}
```

## 1.2.7 WEBAPI 連携(プロセス管理入力)の WEBAPI 仕様まとめ

Senju Service Manager の WEBAPI 連携(プロセス管理入力)で使用する WEBAPI の仕様を本章にまとめます。

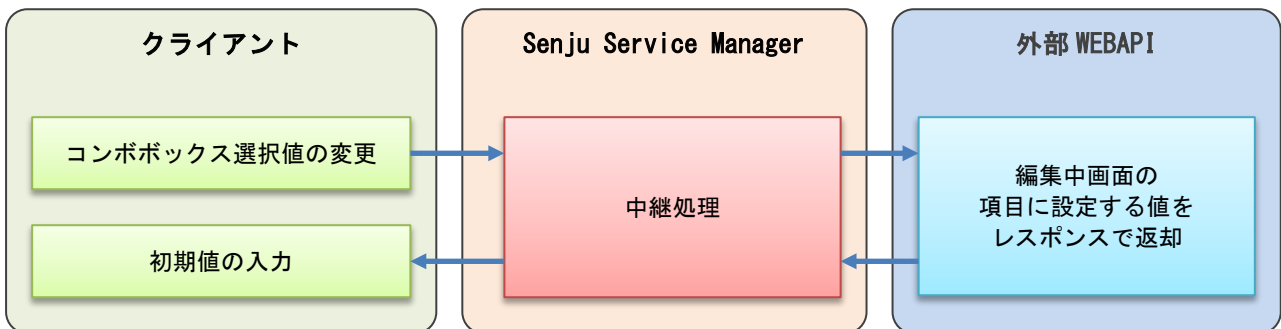
プロセス管理画面での新規登録・編集・経過追加・経過編集時および簡易プロセス（問合せ・申請）画面での新規登録・編集時、コンボボックスの選択値変更をトリガーとし外部 WEBAPI を実行します。実行された外部 WEBAPI のレスポンスに画面の入力値を指定することで、編集画面の項目に値を自動入力させることができます。



WEBAPI 連携(プロセス管理入力)は、画面遷移はせずに非同期で実行されます。

仕様補足

### 1.2.7.1 WEBAPI 連携(プロセス管理入力)の処理フロー



### 1.2.7.2 外部 WEBAPI



外部 WEBAPI は Senju Service Manager では提供していません。貴社で作成いただく必要がございます。

要注意

#### 1. 処理概要（必要な機能）

- ・ 値を自動入力したい項目の項目名・値をレスポンスで返却する。

#### 2. リクエスト URI

http://[任意の URI]



リクエスト URI は WEBAPI 連携(プロセス管理入力) > WEBAPI 設定の [WEBAPI の URL] に設定してください。

仕様補足

### 3. 入力インターフェース

- ・データ形式 : JSON
- ・文字コード : UTF-8
- ・リクエストボディ : 固定



仕様補足

編集集中の画面に表示されている項目、かつ「項目一覧」に記載されている本機能の対象項目の項目名・値がリクエストボディに設定されます。詳細は「項目一覧」の以下を参照してください。

1.1.2.1 プロセス管理  
9. 項目機能 5  
WEBAPI 連携(プロセス管理入力)

- リクエストボディの形式

```
{
  <項目名>; <値>,
  ...
  <項目名>; <値>
}
```

以下の情報は常にリクエストボディに設定されます。

項目名	値の形式	最大桁数	説明
data_type	string	8	プロセス管理 1~103 の番号 ※1 (00000001~00000103)
process_id	string	16	レコード ID ※2



仕様補足

※1…番号を画面 ID に変換するには、上位 2 桁目を 1 に置換してください。  
例) プロセス 1 の場合、00000001→01000001



仕様補足

※2…プロセス新規登録画面では、レコード ID は未採番のため値が空となります。



仕様補足

常にリクエストボディに設定される項目以外は、編集集中の画面に表示されている項目、かつ「項目一覧」に記載されている本機能の対象項目の項目名・値がリクエストボディに設定されます。

- リクエストボディの例  
編集画面にステータス、システム、タイトル、インパクト、(経過)内容が表示されている場合

```
{
  "data_type": "00000001",
  "process_id": "0000000000000001",
  "status": "受付済",
  "system": "営業管理システム",
  "title": "",
  "impact_level": "",
  "progress_content": ""
}
```

#### 4. 出カインターフェース

- ・データ形式 : JSON
- ・文字コード : UTF-8 ※
- ・レスポンスボディ : 下表参照



仕様補足

※Senju Service Manager のサポート対象文字コードは shift-jis 形式であり、shift-jis で表現できない文字を指定した場合、文字化けすることがあります。

- レスポンスボディの形式

```
{
  "out": {
    <項目名>: <値>,
    ...
    <項目名>: <値>
  }
}
```

キー名	値	値の形式	上限(byte)	説明
out	-	object	-	-
<項目名>	<値>	※	※	自動入力したい項目の項目名・値を記載します。※

項目の入力制御および自動入力処理時に該当項目にすでに入力されているかどうかによって値を自動入力可能かどうか異なります。値を自動入力可能な項目は以下の通りです。

項目	値の自動入力	
非表示	×	
参照	×	
編集/必須	入力済み	× ※
	未入力	○



仕様補足

各項目の項目名は「項目一覧」の以下を参照してください。

1.1.2.1 プロセス管理

9. 項目機能 5

WEBAPI 連携(プロセス管理入力)



仕様補足

各項目の値の形式および上限は「項目一覧」の以下を参照してください。

- 1.1.2.1 プロセス管理
2. 項目定義（詳細）1



仕様補足

※項目がテキストの場合、既に値が入力済みであると値を自動入力できません。  
項目がコンボボックスの場合、既に入力済みでも値を上書きする形で自動入力します。

- 外部 WEBAPI が返却するレスポンスの例
- トリガーとなるプルダウンを選択時に、緊急度、(経過)内容に値を自動入力する場合

```
{
  "out": {
    "impact_level": "緊急",
    "progress_content": "■障害発生日時\n 日時を入力してください。"
  }
}
```

以下の特殊記号を使用した場合、該当の特殊記号が使用可能な項目の場合は置換されて表示されます。



仕様補足

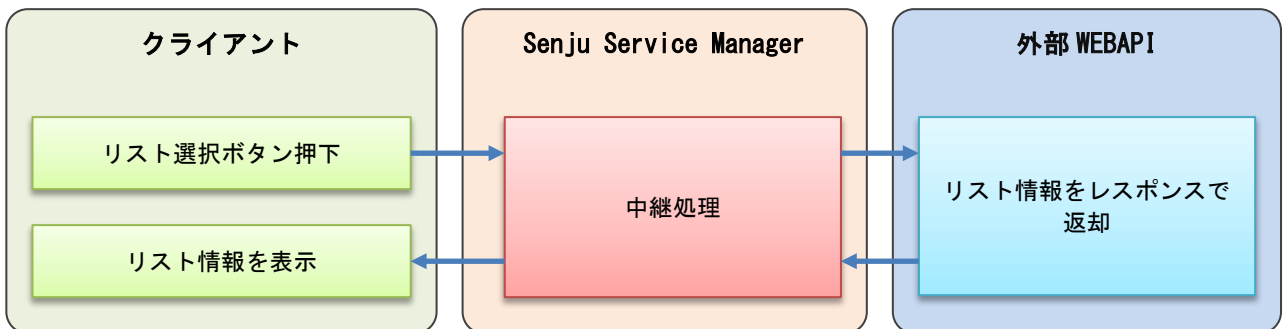
- ・ \" (ダブルクォーテーション)
- ・ \\ (バックスラッシュ)
- ・ \n (改行)
- ・ \t (タブ)

## 1.2.8 API 連携用テキストの WEBAPI 仕様まとめ

Senju Service Manager の API 連携用テキストで使用する WEBAPI の仕様を本章にまとめます。

プロセス管理画面の新規登録・編集・検索条件および簡易プロセス（問合せ・申請）画面の新規登録・編集・検索条件にて、API 連携用テキストのリスト選択ボタン押下時に、外部 WEBAPI を実行します。実行された外部 WEBAPI のレスポンスにリスト情報を指定することで、リスト情報を取得して画面に表示することができます。

### 1.2.8.1 API 連携用テキストの処理フロー



### 1.2.8.2 外部 WEBAPI



要注意

外部 WEBAPI は Senju Service Manager では提供していません。  
貴社で作成いただく必要があります。

#### 1. 処理概要(必要な機能)

- ・リスト表示する内容 及び 最大選択数をレスポンスで返却する。

#### 2. リクエスト URI

http://[任意の URI]



仕様補足

リクエスト URI は WEBAPI 連携（プロセス管理入力） > WEBAPI 設定の [WEBAPI の URL] に設定してください。

#### 3. 入カインターフェース

- ・データ形式 : JSON
- ・文字コード : UTF-8
- ・リクエストボディ : 固定





仕様補足

編集集中の画面に表示されている項目、かつ「項目一覧」に記載されている本機能の対象項目の項目名・値がリクエストボディに設定されます。詳細は「項目一覧」の以下を参照してください。

1.1.2.1 プロセス管理  
9. 項目機能 5  
WEBAPI 連携(プロセス管理入力)

- リクエストボディの形式

```
{
  <項目名>; <値>,
  ...
  <項目名>; <値>
}
```

以下の情報は常にリクエストボディに設定されます。

項目名	値の形式	最大桁数	説明
data_type	string	8	プロセス管理 1~103 の番号 ※1 (00000001~00000103)
process_id	string	16	レコード ID ※2
sp_account_id	string	16	該当画面操作を行ったログインユーザーのユーザーID
login_user_name	string	32	該当画面操作を行ったログインユーザーの氏名



仕様補足

※1…番号を画面 ID に変換するには、上位 2 桁目を 1 に置換してください。  
例) プロセス 1 の場合、00000001→01000001



仕様補足

※2…プロセス新規登録および検索条件でリスト選択ボタンを押下した場合、レコード ID は未採番のため値が空となります。



仕様補足

常にリクエストボディに設定される項目以外は、編集集中の画面に表示されている項目、かつ「項目一覧」に記載されている本機能の対象項目の項目名・値がリクエストボディに設定されます。

- リクエストボディの例  
編集集中画面にステータス、システム、タイトル、インパクト、(経過)内容が表示されている場合

```
{
  "data_type": "00000001",
  "process_id": "0000000000000001",
  "status": "受付済",
  "system": "営業管理システム",
  "title": "",
  "impact_level": "",
  "progress_content": ""
}
```

## 4. 出力インターフェース

- ・データ形式 : JSON
- ・文字コード : UTF-8 ※
- ・レスポンスボディ : 下表参照

**!** ※Senju Service Manager のサポート対象文字コードは shift-jis 形式であり、  
仕様補足 shift-jis で表現できない文字を指定した場合、文字化けすることがあります。

- レスポンスボディの形式

```
{
  "data_list": [<値>, <値>, <値>, . . . ],
  "sel_max": <値>
}
```

JSON キー	入力形式	説明
data_list	array of string	API 連携リスト選択ダイアログの、選択元リストに表示する内容。
sel_max※	number	API 連携リスト選択ダイアログから選択できる最大選択数を指定します。

**!** ※sel\_max の指定は任意となります。  
仕様補足 新規登録・編集画面の場合、sel\_max の値が指定されていない場合には 1 が指定されます。検索画面の場合は指定した値に関わらず 3 が固定となります。

**!** 画面表示後の動作に影響があるため、外部の WEBAPI から以下に該当する選択肢を返却しないようにしてください。  
仕様補足

- ・ 選択肢にタブ文字や改行が含まれている
- ・ data\_list に同じデータ名が存在している

- 外部 WEBAPI が返却するレスポンスの例
- ・ データ 1~5 の内容を最大選択数 3 で表示する場合

```
{
  "data_list": ["データ 1", "データ 2", "データ 3", "データ 4", "データ 5"],
  "sel_max": "3"
}
```

## 1.3 Senju Service Managerのログ情報

本システムのログ情報について説明します。



Senju Service Manager 内で問題が発生している場合は、各ログの「ERROR」メッセージもしくは「WARN」メッセージを確認してください。

### 1.3.1 ログ情報の種類と内容

Senju Service Manager が出力するログ情報の種類と内容について、下記に示します。

ログ種別	出力内容	場所
システムログ	Senju Service Manager WEBサーバーのシステム稼働情報が出力されます。	SSM WEBサーバー
ユーザー操作ログ	Senju Service Manager上でユーザーが行った操作の履歴情報が出力されます。	SSM DBサーバー
コンフィグレータ操作ログ	Senju Service Manager DBコンフィグレータ、Senju Service Manager WEBコンフィグレータ上でユーザーが行った操作の履歴情報が出力されます。	SSM DBサーバー SSM WEBサーバー
アウトバウンドシステムログ	Senju Service Manager WEBサーバーで行われたアウトバウンド処理の情報が出力されます。	SSM WEBサーバー
Dotnetシステムログ	Senju Service Manager WEBサーバーのDotnetのシステム稼働情報が出力されます。	SSM WEBサーバー
プロセス更新COMログ	Senju Service Manager WEBサーバー上でプロセス更新のCOMライブラリのログ情報が出力されます。	SSM WEBサーバー

表 1.3-1 ログ情報の種類と内容

#### 1.3.1.1 システムログ (sjSPB\_system.log)

このファイルは、設定されたファイルサイズを超えると、自動的に切り替えられ、新しいログ情報ファイルに更新されます。

古いログ情報ファイルは“sjSPB\_system.log.1”のファイル名で保存されます。以降、“sjSPB\_system.log.2”, “sjSPB\_system.log.3”,…へ保存され、7世代分のファイルが保存されます。7世代より前のファイルは順次削除されます。

- ログファイルの容量  
ファイルのサイズが 1MB を超えると新しいログ情報ファイルに更新されます。
- 保存するログファイル数  
古いログ情報ファイルは、7世代分保存されます。

## 1.3.1.2 ユーザー操作ログ

ユーザー操作ログは、SSM DB サーバーのデータベース内に保存されます。ユーザー操作ログを参照するには、コマンドを使用してファイルへ出力します。コマンドの使用方法については、コマンドリファレンス「1.2.12 操作ログ取得コマンド (sjSPU\_GetAuditLog.exe)」を参照してください。

- ログファイルのサイズ  
ディスクの空き容量がある限り無制限に出力します。
- 保存するログファイルの期間  
保存期間は無期限です。



仕様補足

ユーザー操作ログは、画面でユーザーが実施した操作内容が操作ログに出力されます。  
コマンド系の操作ログは出力されません。



仕様補足

ユーザー操作ログは定期的に削除するようにしてください。  
SSM DB サーバーからユーザー操作ログ情報を削除する方法は、コマンドリファレンス「1.2.12 操作ログ取得コマンド (sjSPU\_GetAuditLog.exe)」を参照してください。

## 1.3.1.3 コンフィグレータ操作ログ

コンフィグレータ操作ログは、下記のファイルに出力されます。

%CCFSPDBHOME%\log\sjSPB_DBConfig.log
%CCFSPWEBHOME%\log\sjSPB_WEBConfig.log

このファイルは、設定されたファイルサイズを超えると、自動的に切り替えられ、新しいログ情報ファイルに更新されます。古いログ情報ファイルは“sjSPB\_DBConfig.log.1”のファイル名で保存されます。以降、“sjSPB\_DBConfig.log.2”, “sjSPB\_DBConfig.log.3”, …へ保存され、7 世代分のファイルが保存されます。7 世代より前のファイルは順次削除されます。  
%CCFSPWEBHOME%\log\sjSPB\_WEBConfig.log も同様です。

- ログファイルのサイズ  
ファイルのサイズが 1MB を超えると新しいログ情報ファイルに更新されます。
- 保存するログファイル数  
古いログ情報ファイルは、7 世代分保存されます。
- ログレベル  
ログレベルは、インフォメーションで出力されます。

## 1.3.1.4 アウトバウンドシステムログ

このファイルは、設定されたファイルサイズを超えると、自動的に切り替えられ、新しいログ情報ファイルに更新されます。

古いログ情報ファイルは“sjSPB\_System\_outboundLib.log.1”のファイル名で保存されます。以降、“sjSPB\_System\_outboundLib.log.2”, “sjSPB\_System\_outboundLib.log.3”, …へ保存され、7 世代分のファイルが保存されます。7 世代より前のファイルは順次削除されます。

- ログファイルの容量  
ファイルのサイズが 1MB を超えると新しいログ情報ファイルに更新されます。
- 保存するログファイル数  
古いログ情報ファイルは、7 世代分保存されます。

### 1.3.1.5 Dotnet システムログ (sjSPB\_System\_Dotnet.log)

このファイルは、設定されたファイルサイズを超えると、自動的に切り替えられ、新しいログ情報ファイルに更新されます。

古いログ情報ファイルは“sjSPB\_system\_Dotnet.log.1”のファイル名で保存されます。以降、“sjSPB\_system\_Dotnet.log.2”, “sjSPB\_system\_Dotnet.log.3”, …へ保存され、7 世代分のファイルが保存されます。7 世代より前のファイルは順次削除されます。

- ログファイルの容量  
ファイルのサイズが 1MB を超えると新しいログ情報ファイルに更新されます。
- 保存するログファイル数  
古いログ情報ファイルは、7 世代分保存されます。

### 1.3.1.6 プロセス更新 COM ログ

このファイルは、設定されたファイルサイズを超えると、自動的に切り替えられ、新しいログ情報ファイルに更新されます。

古いログ情報ファイルは“sjSPX\_evtrcvLib.log.1”のファイル名で保存されます。以降、“sjSPX\_evtrcvLib.log.2”, “sjSPX\_evtrcvLib.log.3”, …へ保存され、7 世代分のファイルが保存されます。7 世代より前のファイルは順次削除されます。

- ログファイルの容量  
ファイルのサイズが 1MB を超えると新しいログ情報ファイルに更新されます。
- 保存するログファイル数  
古いログ情報ファイルは、7 世代分保存されます。

## 1.3.2 ブルートフォース攻撃対策

Senju Service Manager が出力するログ情報によるブルートフォース攻撃対策内容について、下記に示します。

### 1.3.2.1 ブルートフォース攻撃

不正ログインを目的とするアカウント突破手法であり、同様の攻撃方法も合わせ以下の 2 つの手法があります。

1. 総当たり攻撃（ブルートフォース攻撃）

特定の ID を固定し、パスワードに使用され得る文字列を総当たりに試す手法です。

2. 逆総当たり攻撃（リバースブルートフォース攻撃）

特定のパスワードを固定し、ID に使用され得る文字列を総当たりに試す手法です。

### 1.3.2.2 Senju Service Manager で確認できるログ

システムログ (sjSPB\_system.log) に下記のログが頻繁に出力されている場合、ブルートフォース攻撃が行われている可能性があります。

ログ種別	出力ログ
アカウントが存在しない場合	-> [F_Menu_Login_BL_LoginCheck]SP_ACCOUNT_MST NOT FOUND USER_ID
アカウントロック時にログイン試行の場合	->[F_Menu_Login_BL_SpAccountLockCheck]ACCOUNT LOCK USER_ID
アカウントロック解除時の場合	-> [F_Menu_Login_BL_SpAccountLockCheck]ACCOUNT LOCK RESET USER_ID
パスワードミス時：パスワードミス回数を超えた場合	-> [F_Menu_Login_BL_SsmAuth]PASSWORD MISS COUNT OVER USER_ID
パスワードミス時：パスワードミス回数範囲内の場合	-> [F_Menu_Login_BL_SsmAuth]PASSWORD MISS USER_ID

## 1.3.2.3 Senju Service Manager で可能な対策

ブルートフォース攻撃の代表的な対策と Senju Service Manager で可能な対策は下記のような方法があります。

代表的な対策	Senju Service Manager で可能な対策
①パスワードの長さを大きくする	パスワードの長さ（6～15桁）を以下の項目で設定できます。 [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 共通 > 共通]
	管理項目名
	パスワード最小桁数(桁)
	パスワードへIDを含むことを許可するかどうかを以下の項目で設定できます。 [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 共通 > 共通]
	管理項目名
	パスワードへのID許可設定
②パスワードの試行回数を制限する	アカウントロックまでのログイン失敗回数（3～99回）を以下の項目で設定できます。 [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 共通 > 共通]
	管理項目名
	アカウントロックまでのリトライ回数(回)
	アカウントロックされた場合に、再ログイン可能になるまでの時間(10～99分)を以下の項目で設定できます。 [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 共通 > 共通]
	管理項目名
	アカウントロック解除までの時間(分)
③一定期間経過によるIDまたはパスワードの変更を促す	パスワード変更時に過去のパスワードの再利用を禁止する世代数（5～100）を以下の項目で設定できます。 [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 共通 > 共通]
	管理項目名
	パスワード履歴チェック対象数(個)
	ログインアカウントパスワードの有効期限日数（90～999日）を以下の項目で設定できます。 [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 共通 > 共通]
	管理項目名
	パスワード有効期限日数(日)
④アクセス元を制限する	Senju Service Manager では特定のIPアドレス以外からのアクセスを認めていません。

## 1.4 Senju カスタマーサポートセンターにお問合わせの場合に…

Senju Service Manager の保守窓口にお問合せ頂く前に本章をご確認ください。

### 1.4.1 情報取得依頼

お問合せに対応する為、以下の情報の取得依頼をご案内させて頂く場合がございます。

#### 1. SSM DB サーバーで取得するログ

No	取得情報名	取得内容／取得方法
1	システム情報	<p>【取得内容】 端末のホスト名や所有者、搭載する CPU/メモリ/ネットワークカードの情報といったシステム全般の情報を取得します。</p> <p>【取得方法】 コマンドプロンプトを起動して、以下の systeminfo コマンドを実行した結果(systeminfo.txt) ファイルを取得してください。 systeminfo &gt; systeminfo.txt</p>
2	イベントログ	<p>【取得内容】 端末 (OS) にインストールされるアプリケーションとシステム全般のログ情報を取得します。</p> <p>【取得方法】 イベント ビューアーの Windows ログにて、アプリケーションとシステムのそれぞれで[操作]→[すべてのイベントを名前をつけて保存]を選択して、ファイルの種類をテキスト (タブ区切り) で保存したファイルを取得してください。</p>
3	SSM DB サーバーバージョン情報	<p>【取得内容】 利用中の Senju Service Manager のバージョン情報を取得します。</p> <p>【取得方法】 以下のファイルのコピーを取得してください。 ・%CCFSPDBHOME%\CCFSPDBVersion.txt</p>
4	SSM DB サーバー稼働ログ	<p>【取得内容】 SSM DB サーバーコンフィギュレータや SSM DB サーバーで実行された各種コマンドが出力するログ情報を取得します。</p> <p>【取得方法】 以下のファイルのコピーを取得してください。 ・%CCFSPDBHOME%\log の中で、EventRcvd をファイル名に含むものを除く全て ※ファイル名に EventRcvd を含むログファイルは Senju/EN とのイベント連携機能によって個人情報を含むメールからのレコード登録のログが出力されている為、通常は取得不要です (調査に必要な場合、取得して頂くことがあります)。</p>
5	Database 稼働ログ	<p>【取得内容】 Senju Service Manager で使用するデータベースの以下の情報を取得します。 &lt;Oracle データベースの場合&gt;</p>



No	取得情報名	取得内容／取得方法
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Oracle バージョン情報</li> <li>・ Oracle 初期化パラメータ情報</li> <li>・ DB オブジェクト一覧</li> <li>・ Senju Service Manager の DB バージョン情報</li> <li>・ テーブルデータ件数一覧／画面毎データ件数一覧</li> <li>・ シーケンス一覧</li> <li>・ DB コンフィグレータ &gt; 制御情報</li> <li>・ ライセンス情報</li> <li>・ システムリソース情報</li> <li>・ フラッシュリカバリ領域情報</li> </ul> <p>&lt;PostgreSQL データベースの場合&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ PostgreSQL バージョン情報</li> <li>・ PostgreSQL 初期化パラメータ情報</li> <li>・ DB オブジェクト一覧</li> <li>・ Senju Service Manager の DB バージョン情報</li> <li>・ テーブルデータ件数一覧／画面毎データ件数一覧</li> <li>・ シーケンス一覧</li> <li>・ DB コンフィグレータ &gt; 制御情報</li> <li>・ ライセンス情報</li> <li>・ システムリソース情報</li> <li>・ フラッシュリカバリ領域情報</li> </ul> <p><b>【取得方法】</b>  コマンドプロンプトを起動し以下のコマンドを実行した結果をお送り下さい。</p> <p>&lt;Oracle データベースの場合&gt;</p> <pre>sjSPU_DBDiag.exe -d DatasourceName -u UserID -p UserPass -U SysdbaUserID -P SysdbUserPass -t 0 &gt; サーバー名.txt</pre> <ul style="list-style-type: none"> <li>'-d : データソース名を指定してください。</li> <li>'-u : DB ユーザー名を指定してください。</li> <li>'-p : DB ユーザーのパスワードを指定してください。</li> <li>'-U : SYSDBA 権限を持つユーザー名を指定してください。</li> <li>'-P : SYSDBA 権限を持つユーザーのパスワードを指定してください。</li> </ul> <p>例) sjSPU_DBDiag.exe -d ds-ccfsp -u ccfsp -p ccfsp -U sys -P ccfsp -t 0 &gt; ServerName.txt</p> <p>&lt;PostgreSQL データベースの場合&gt;</p> <pre>sjSPU_DBDiag.exe -d DatasourceName -u UserID -p UserPass -U SysdbaUserID -P SysdbUserPass -t 2 &gt; サーバー名.txt</pre> <ul style="list-style-type: none"> <li>'-d : データソース名を指定してください。</li> <li>'-u : DB ユーザー名を指定してください。</li> <li>'-p : DB ユーザーのパスワードを指定してください。</li> <li>'-U : スーパーユーザーのユーザー名を指定してください。</li> <li>'-P : スーパーユーザーのパスワードを指定してください。</li> </ul> <p>例) sjSPU_DBDiag.exe -d ds-ccfsp -u ccfsp -p ccfsp -U postgres -P ccfsp -t 2 &gt; ServerName.txt</p>
6	Web 画面操作ログ	<p><b>【取得内容】</b>  Senju Service Manager の Web 画面の操作ログを取得します。</p> <p><b>【取得方法】</b>  コマンドプロンプトを起動し、操作ログ取得コマンド (sjSPU_GetAuditLog.exe) を実行した結果をお送り下さい。  なお、操作ログ取得コマンドで指定する取得開始日及び、取得終了日は、</p>

No	取得情報名	取得内容／取得方法
		<p>事象が発生した日付を指定してください。</p> <p>※コマンドの使用方法につきましては、ユーザーズガイド「コマンドリファレンス」を参照してください。</p>

## 2. SSM WEB サーバーで取得するログ

No	取得情報名	取得内容／取得方法
1	システム情報	「 <u>1</u> SSM DB サーバーで取得するログ」と同じです。
2	イベントログ	「 <u>1</u> SSM DB サーバーで取得するログ」と同じです。
3	SSM WEB サーバーバージョン情報	<p>【取得内容】 利用中の Senju Service Manager のバージョン情報を取得します。</p> <p>【取得方法】 以下のファイルのコピーを取得してください。 ・%CCFSPWEBHOME%\CCFSPWEBVersion.txt</p>
4	SSM WEB サーバー稼働ログ	<p>【取得内容】 SSM WEB サーバーコンフィグレータや SSM WEB サーバーで実行された各種コマンドが出力するログ情報を取得します。</p> <p>【取得方法】 以下のファイルのコピーを取得してください。 ・%CCFSPWEBHOME%\log フォルダ内全て</p>
5	IIS ログ	<p>【取得内容】 IIS が出力する Senju Service Manager の Web 画面へのアクセスログとエラーログを取得します。</p> <p>【取得方法】 以下のファイルを取得してください。 ■2008 環境 (IIS7.0)、2008R2 環境 (IIS7.5)、2012 環境 (IIS8.0)、2012R2 環境 (IIS8.5) の場合 (1) IIS マネージャーを起動し、ツリーから [Default Web Site] を選択し、「ログ記録」をダブルクリックします。 (2) ログ記録を表示させ、ログファイルディレクトリを確認してください。 例) ディレクトリ: %SystemRoot%\inetpub\logs\LogFiles\W3SVC1 ※上記ディレクトリの最後の数字「1」の部分は、作成したサイトごとに変更されます。 (3) 上記で確認した箇所より、該当日付を含む前後 1 日のログファイルを取得してください。 例) u_ex160207.log u_ex160208.log u_ex160209.log なお、HTTP エラーログが出力されるログファイルの HTTPERR ディレクトリ配下全ても含めて取得してください。 例) %SystemRoot%\system32\LogFiles\HTTPERR</p>

## 3. Senju Enterprise Navigator サーバーで取得するログ

No	取得情報名	取得内容／取得方法
1	システム情報	「 <u>1</u> SSM DB サーバーで取得するログ」と同じです。
2	イベントログ	「 <u>1</u> SSM DB サーバーで取得するログ」と同じです。
3	Senju Enterprise Navigator サーバー	<p>【取得内容】 Senju/EN とのイベント連携機能を利用している場合、連携機能を利用した</p>

No	取得情報名	取得内容／取得方法
	稼働ログ	データ登録状況についてのログを必要に応じて取得を依頼します。 【取得方法】 以下のファイルをコピーして取得してください。 %SENSVHOME%log 以下すべて

#### 4. クライアント端末で取得するログ

No	取得情報名	取得内容／取得方法
1	システム情報	「 <sub>1</sub> SSM DB サーバーで取得するログ」と同じです。
2	イベントログ	「 <sub>1</sub> SSM DB サーバーで取得するログ」と同じです。
3	Edge バージョン	【取得内容】 クライアント端末で使用する Edge のバージョン情報を取得します。 【取得方法】 Edge を起動し、メニューのヘルプよりバージョン情報を表示し、画面のハードコピーを取得してください。
4	Chrome バージョン	【取得内容】 クライアント端末で使用する Chrome のバージョン情報を取得します。 【取得方法】 Chrome を起動し、メニューの設定よりバージョン情報を表示し、画面のハードコピーを取得してください。
5	Firefox バージョン	【取得内容】 クライアント端末で使用する Firefox のバージョン情報を取得します。 【取得方法】 Firefox を起動し、メニューのヘルプよりバージョン情報を表示し、ダイアログのハードコピーを取得してください。
6	Safari バージョン	【取得内容】 クライアント端末で使用する Safari のバージョン情報を取得します。 【取得方法】 Safari を起動し、メニューの Safari よりバージョン情報を表示し、ダイアログのハードコピーを取得してください。
7	Edge 設定（信頼済みサイト）	【取得内容】 信頼済みサイトの設定を取得します。 【取得方法】 Edge を起動し、「ツール」⇒「インターネットオプション」をクリックします。 「インターネットオプション」画面で「セキュリティ」タブを開き、「信頼済みサイト」を選択し「サイト」をクリックします。 信頼済みサイトダイアログが起動します。 SSM WEB サーバーのアドレスが登録されていることが確認できる画面のハードコピーを取得してください。
8	Edge 設定（セキュリティ設定）	【取得内容】 セキュリティタブの設定を取得します。 【取得方法】 Edge を起動し、「ツール」⇒「インターネットオプション」をクリックします。 「インターネットオプション」画面で、「セキュリティ」タブを開き、このゾーンのセキュリティレベル欄から

No	取得情報名	取得内容／取得方法
		「レベルのカスタマイズ」をクリックします。 セキュリティ設定ダイアログが起動しますので、設定内容がすべて確認できる画面のハードコピーを取得してください。
9	Edge 設定（詳細設定）	【取得内容】 詳細設定タブの設定を取得します。 【取得方法】 Edge を起動し、「ツール」⇒「インターネットオプション」をクリックします。 「インターネットオプション」画面で、「詳細設定」タブを開きます。 該当のタブの[設定]に設定されている内容がすべて確認できる画面のハードコピーを取得してください。
10	Edge 設定（互換表示設定）	【取得内容】 互換表示の設定を取得します。 【取得方法】 Edge を起動し、「ツール」⇒「互換表示設定」をクリックします。 互換表示設定ダイアログが起動しますので、設定されている内容がすべて確認できる画面のハードコピーを取得してください。
11	Edge 設定（アドオン）	【取得内容】 アドオンの設定を取得します。 【取得方法】 Edge を起動し、「ツール」⇒[アドオンの管理]をクリックします。 表示を[すべてのアドオン]とし、登録されているアドオンがすべて確認できる画面のハードコピーを取得してください。

## 1.4.2 QA 集

過去に多くのお問合せをいただいた内容について、以下の表にまとめて記載を行っております。

No	項目	質問内容／回答内容
1 ★	質問	Windows Server 2012 + Oracle12c の組合せで Senju/SM を使用している場合に Oracle 側で下記のエラーを検知し、Oracle リスナーとインスタンス間の接続が切断されることがありますがどうすればいいですか。 発生するエラー：TNS-01182
	回答	この Oracle エラーが発生した場合には以下の設定を行い、事象が解消するか確認して下さい。 ○都度リスナーサービスを手動で起動する ○VNCR 機能を無効化する ○ネットワークのプロパティから IPv6 のチェックを外し IPv6 を無効にする
2	質問	未使用のシステムを削除したいが、システムマスタ編集の削除ボタンがグレーアウトされていて削除ができません。 マニュアルを参照してデータを削除したが、システムを削除できる状態になりません。
	回答	該当システムを使用しているデータを画面から手動ですべて削除することは困難です。該当システムを過去データ含めてすべて使用しないことが分かっている場合、システム削除コマンドで該当システムに紐付くすべてのデータと、そのシステムを削除してください。 詳細な削除方法はコマンドリファレンス「1.2.18 システム削除コマンド」に記載を行っておりますので、ご参照ください。
3	質問	トライアル環境から実運用環境に移行する場合にユーザーライセンス数が減少したことにより、登録ユーザー数がユーザーライセンス数よりも多くなってしまいました。この状態でログインはできますか。また、ライセンス不足のユーザーを編集することはできますか。
	回答	ユーザーのアカウント区分によって以下の動作となります。 ○サービスデスクユーザー（固定）の場合 ・ログインも対象ユーザーの編集も可能です。 ○サービスデスクユーザー（同時接続）の場合 ・ログインはできませんが、対象ユーザーの編集は可能です。 ○エンドユーザーの場合 ・ログインも対象ユーザーの編集も可能です。 ※ライセンスが不足していた場合も上記の通り動作は行えますが、正常に動作しない場合があります。ユーザーの登録数はライセンス数の範囲内で登録するようお願いいたします。
4	質問	初期インストールユーザー（SSM ユーザー）はサービスデスクユーザー（固定）のライセンス数に含まれますか。
	回答	初期インストールユーザー（SSM ユーザー）はライセンスによって制限されることがないユーザーのため、サービスデスクユーザー（固定）のライセンス数に含まれません。ユーザーライセンス数はお客様が登録するユーザーのみに制限がかかります。
5	質問	Web ブラウザに Firefox を利用して Senju Service Manager を表示すると操作に時間がかかりますが、対策はありますか。
	回答	Firefox の以下の設定のチェックを外すことで、解消される可能性があります。 ○オプション > 詳細 > 一般 > ブラウザ > ハードウェアアクセラレーション機能を使用する（可能な場合）
6	質問	2 つ以上の Senju Service Manager 画面を起動させていた場合どちらの表示言語の設定が反映されますか。

No	項目	質問内容／回答内容
	回答	同一セッション内で、複数の Senju Service Manager を起動した場合、2 つ目以降に起動したログイン画面は、1 つ目で起動している Senju Service Manager の表示言語で表示されます。 ※ただし、制御情報「多言語機能の使用設定」を「使用する」に設定している場合のみです。
7	質問	Google Chrome を使用しプロセス詳細画面にて 1 行高さで 3 件の添付ファイルを置いた場合、2 件目のファイルが見えません。
	回答	Google Chrome を使用し添付ファイル等、画面上スクロールバーが表示される項目の高さを小さくした場合、Chrome で画面を表示すると一部項目の選択・表示が不可となる場合があります。 御質問の内容のように項目の高さにより項目の内容が不鮮明になる際は、項目の高さの設定を高くしていただければ解消される可能性があります。 ※同様の現象が FireFox においても発生することが確認されています。 なお、FireFox の現象も上記対応策にて解消される可能性があります。
8	質問	iOS でテキストファイルのダウンロードを行うとテキストの内容が半角英数文字以外正しく表示されません。
	回答	iOS でテキストファイルのダウンロードを行う際に、テキストファイルの文字コードによって正しく表示されない場合があります。
9	質問	Edge を使用しファイルをダウンロードした際、空白画面が残ってしまいます。
	回答	Edge を使用しファイルをダウンロードした際、ダウンロード後に空白画面が表示されます。ダウンロードは完了しているため、お手数ですがブラウザの閉じるボタンにて空白画面を閉じていただけますようお願いいたします。
10	質問	Edge を使用しファイルのダウンロードを行う際、ダウンロード画面が表示されずダウンロードを行うことができません。
	回答	Edge のバージョンにより、上記の現象が発生することがあります。 Edge を最新バージョンにアップグレードしても問題が解消しない可能性がありますので、別のブラウザを使用していただけますようお願いいたします。
11	質問	Edge を使用しファイルのダウンロード画面で「開く」をクリックした際、ファイルが開かないことがあります。
	回答	Edge のバージョンにより、上記の現象が発生することがあります。 Edge を最新バージョンにアップグレードしても問題が解消しない可能性がありますので、別のブラウザを使用していただけますようお願いいたします。
12	質問	Edge を使用し SLAM チャートを表示した際、文字化けします。
	回答	Edge のバージョンにより、上記の現象が発生することがあります。 Edge を最新バージョンにアップグレードしても問題が解消しない可能性がありますので、別のブラウザを使用していただけますようお願いいたします。
13	質問	管理者メニューのサービスデスク画面レイアウト一覧でビューの編集を行うため、「編集」ボタンをクリックするとエラーが発生します。
	回答	管理者メニューで以下の動作を実行した場合、「ファイルの読み込みに失敗しました」とエラーメッセージが表示されることがあります。 【対象動作】 ・サービスデスク画面レイアウト一覧画面で各ビューの編集アイコンボタンをクリックする ・簡易画面レイアウト一覧画面で各フォームの編集アイコンボタンをクリックする ・関連登録コピー定義画面で編集ボタンをクリックする ・コピー登録定義画面で編集ボタンをクリックする 上記エラーの発生は以下の 3 つのケースが原因の可能性がります。  1. WEB サーバーの設定が誤っているため発生しているケース 上記のエラーの発生原因は WEB サーバーの設定が誤っているために発生している可能性があります。WEB サーバー設定コマンドを実行することで解消されるか確認してく

No	項目	質問内容／回答内容
		<p>ださい。コマンド実行方法の詳細はインストールガイドの「1.6.3.6 WEB サーバー設定コマンドの実行」を参照してください。</p> <p>2. IP アドレスの制限の設定に不備があるため発生しているケース 上記のエラーの発生原因は IP アドレスの制限の設定に不備があるために発生している可能性があります。 IP アドレスの制限を行っている状態で画面レイアウトの編集を行う際は対象環境の IP アドレスを許可エントリに追加する以下の設定を行う必要があります。 ①閲覧元対象環境で IP アドレスの制限が行われているかを確認する。 ②IP アドレスの制限が行われている場合は、許可エントリとして閲覧先対象環境の IP アドレスが指定されているかを確認する。 ※上記設定の変更をした場合は合わせて以下の設定も行ってください。 ・ IPv4 の優先度の変更 上記の各設定の詳細はインストールガイド「1.6.3.7 IIS の設定（手動設定）」を参照してください。</p> <p>3. プロキシサーバーを経由した状態で使用をする際の設定に不備があるため発生しているケース SSMWEB サーバーの WinHTTP プロキシ設定により、HTTP (HTTPS) 通信が疎通できていない状態の可能性があります。 インストールガイドの「1.6.3.12 HTTP (HTTPS) 疎通確認」を参照して、SSMWEB サーバーの疎通確認を行ってください。</p>
14	質問	ユーザー登録について、一度登録したユーザーを削除し、再度登録をしようとしたところ「この社員番号は既に登録されています」のエラーメッセージが出力され登録ができません。
	回答	<p>ユーザーを削除する際に「アカウント削除」ボタンクリックにてユーザーの削除を行ったため、要員管理画面に削除したユーザーの社員番号および要員情報が残っていることが原因です。要員管理画面を確認し、該当社員番号の要員の再作成または異なる社員番号にてユーザーの作成を行ってください。</p> <p>なお、ユーザーを削除する際は「アカウント削除」ボタンクリックでユーザー情報のみ削除、「アカウント+要員削除」ボタンクリックでユーザー情報及び要員情報の削除が行われます。本件のようにユーザーのすべての情報を削除したい場合は後者の動作にてユーザーの削除を行ってください。</p>
15	質問	新規登録 22000 件、経過更新 18000 件のインシデントデータの登録を行った後に全件検索を行いました。その後、表示された一覧から個別インシデントの参照を実施したところ画面が非常に重くなり固まってしまいました。
	回答	<p>大量のデータの登録及び更新を行ったことにより、画面の遷移に時間がかかる場合があります。</p> <p>大量のデータの登録や更新によりデータの登録状態に著しい変化が発生した場合は、データベース再構築コマンドを実行してください。</p>
16	質問	申請ルートの現在対応者がいないためルートの進行も、却下も、差戻しも出来ない場合どうしたらよいですか。
	回答	<p>以下の対応案を講じれば申請ルートの状態を変更できるため、御検討ください。</p> <p>【検討内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 強制却下機能を利用する。</li> <li>・ 申請中のクローズ機能を利用する。</li> <li>・ チケットを参照可能なユーザーを一時的に現在承認者の代理承認者に設定する。</li> </ul>
17	質問	データ登録コマンドで更新できないレコードがあります。なぜですか。
	回答	<p>Web 画面からの操作と同様に申請状況が申請中のレコード、ステータスがクローズのレコードは更新できません。</p> <p>ステータスがクローズのレコードは一旦、データ登録コマンドでクローズ解除することにより更新可能となります。</p>
18	質問	エスカレーションメールの送信先は変更できませんか。

No	項目	質問内容／回答内容
	回答	エスカレーションメールの送信先はユーザーのメールアドレス1固定です。
19	質問	Senju Service Manager で同時接続のライセンスを購入しました。 同時接続の状況(ライセンス数が妥当なのか等)を把握したいのですが、Senju Service Manager 内の機能で確認する方法はありますか？
	回答	接続状況の確認については、操作ログ取得コマンドにて確認できます。 操作ログ取得コマンドでは、ユーザーのログインとログアウト時に記録されたログイン中のユーザー数の履歴をアカウント区別に出力します。 操作ログ取得コマンドの詳細につきましては、コマンドリファレンス「1.2.12 操作ログ取得コマンド (sjSPU_GetAuditLog.exe)」を参照してください。
20	質問	既に使用されているコード名を変更した場合、登録済みレコードのコード名は変更されますか。
	回答	既に登録され他レコードのコード名も変更されます。 クローズ済みのレコードについても同様に変更されます。
21	質問	指定期間に Senju Service Manager へログインしたユーザーのアクセス数を確認することは可能ですか。
	回答	指定期間で Senju Service Manager へログインしたユーザー数や操作ログなどを出力する操作ログ取得コマンドがあります。 操作ログ取得コマンドの詳細につきましては、コマンドリファレンス「1.2.12 操作ログ取得コマンド (sjSPU_GetAuditLog.exe)」を参照してください。
22	質問	メール連携機能でメールを取り込んでインシデントを起票しています。 その際に、メールの添付ファイルも同時に取り込んでいます。 数MBの添付ファイルでも、長期で見るとどんどんストレージを圧迫していきます。 そこで「定期的に古くなったインシデントの添付ファイルを一括削除する」という運用をしたいのですが、可能ですでしょうか。
	回答	過去データ削除コマンド (sjSPU_DeleteData.exe) にてオプション“-a”を指定して実施することで、添付ファイルのみ削除することが可能です。
23	質問	一度使用して未選択項目とした項目を再利用するため、項目に登録されたデータをクリアしたい。 未選択項目にデータ登録コマンドで上書きすることはできますか。 未選択項目はまっさらにしておきたいので、Null 状態で上書きしたいです。
	回答	データ登録コマンドで、非表示項目の値を半角スペースで登録することで、Null 登録することが可能です。
24	質問	ライセンスキーの再登録はどのような場合に必要でしょうか。
	回答	ライセンスキーの再登録は以下の3つの場合に必要となります。 ①バージョンアップ時 ⇒ 新バージョンのライセンスキーが必要となります。 ②SSM DB サーバーのホスト名が変わる場合 ⇒ ホスト名を入れ替えたライセンスキーが必要となります。 ③ライセンス内容が変更となる場合 ⇒ トライアルから本番運用のタイミングやユーザー数の増加の場合にライセンスキーが必要となります。
25	質問	現在、ログインパスワード最小桁数の設定は6桁になっております。 こちらを、8桁に変更した場合、6桁もしくは7桁でパスワードを設定しているユーザーにどのような影響が生じますか。
	回答	パスワード桁数を変更した場合、現在使用しているパスワードが設定した桁数以下であってもログイン可能です。  影響は、以下の通りです。 パスワード変更時は、設定したパスワード桁数に満たない場合にポップアップが出力し、入力したパスワードがクリアされて、パスワード設定画面に戻ります。 ユーザーマスタ管理画面でユーザー情報を更新する際は、パスワードに変更がなく、



No	項目	質問内容／回答内容
		<p>パスワード欄を空白で更新した場合は、設定したパスワード桁数のチェックは行われずそれまで使用していたパスワードのまま更新されます。</p> <p>新規ユーザー作成時は、設定したパスワード桁数に満たない場合にポップアップが出力し、条件を満たすまで登録ができません。なお、入力した値はクリアされません。</p> <p>上記はパスワード桁数だけでなく、下記の設定で同じ動作となります。</p> <p>【対象設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パスワード最小桁数(桁)</li> <li>・パスワードへの ID 許可設定</li> <li>・パスワードへの使用文字種数の最小設定値</li> </ul>
26	質問	<p>ログイン中のユーザーのユーザー情報をメンテナンス画面やデータ登録コマンドで変更した場合の影響はありますか。</p>
	回答	<p>ログイン中であったユーザーへの影響となりますが、変更を行った項目により動作が異なります。</p> <p>以下の項目につきましては、次回ログイン時に変更が有効となります。従いましてログアウトするまでは変更前と同じ動作となります。</p> <p>【対象項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認証方式</li> <li>・パスワード</li> <li>・ステータス</li> <li>・画面ポリシー</li> <li>・アカウント区分</li> </ul> <p>上記以外の項目につきましては変更後、ログイン中であっても変更が有効となります。</p> <p>※例えば職責を変更し、インシデント管理画面の参照権限がなしとなった場合は、インシデント管理画面へアクセスした際に、画面上に「ログインユーザーは使用可能なシステムに所属していません」と表示されデータの参照が行えない動作となります。</p>
27	質問	<p>Google Chrome を使用し、ウィンドウのサイズをデフォルトのサイズより小さくした状態でマウスのオートスクロール機能(マウスホイールクリックで開始)で画面を動かした際、デフォルトのスクロール位置に戻す事ができなくなるため、画面上のオブジェクトをクリックできなくなります。</p> <p>Google Chrome は対応していないのでしょうか。</p>
	回答	<p>Google Chrome を使用した場合もマウスのオートスクロール機能は有効です。但し、オートスクロールが有効になる箇所は、スクロールバーが表示されている部分(例えば、プロセス一覧の検索条件から結果一覧の部分)のみとなります。</p> <p>スクロールバーが表示されていない箇所(例えば、メイン画面のメニュー表示より上の部分)においてはスクロールできないため、画面のサイズを広げていただく必要があります。</p> <p>また、スクロールバーが存在しない箇所でもオートスクロール機能開始の表示になる場合がありますが、この際オートスクロール機能を解除できなくなる場合があります。</p> <p>その場合は、ブラウザを再起動することにより事象が解消される可能性があります。</p>
28 ★	質問	<p>Senju Service Manager のリプレースを行い、インストールサーバーを変更しました。</p> <p>リプレース後の環境において Senju Service Manager の登録処理や、検索処理など画面からの操作が遅延するようになりました。</p> <p>原因として考えられること、また対策はありますでしょうか。</p>

No	項目	質問内容／回答内容						
	回答	<p>Senju Service Manager のリプレースを行った際に Oracle Database のバージョンを変更している場合はリリースバージョンの異なる Oracle Database を利用するため、Oracle のオプティマイザ機能の違いによる実行計画の変更が生じます。 この影響が Senju Service Manager の登録処理や、検索処理など画面からの操作が遅延する原因として考えられます。</p> <p>特定のリリースの問合せオプティマイザ機能を有効化することで、画面からのアクセスなど性能が改善される可能性があります。</p> <p>※以下の対応内容は次の条件を前提とします。</p> <p>[前提条件]  <b>■データベースを Oracle Database 10g から Oracle Database 12c にアップグレードした。</b>  <b>■パフォーマンスの劣化が見られたので、以前のリリースのオプティマイザ動作を保持させたい。</b></p> <p>[対応内容]          特定のリリースの問合せオプティマイザ機能を有効化する手順は次の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>適切な権限で SQL*Plus をデータベースに接続し、現行のオプティマイザ機能の設定を問い合わせます。 次の SQL*Plus コマンドを実行します。 SQL&gt; SHOW PARAMETER optimizer_features_enable</li> </ol> <table border="1"> <thead> <tr> <th>NAME</th> <th>TYPE</th> <th>VALUE</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>optimizer_features_enable</td> <td>string</td> <td>12.1.0.2</td> </tr> </tbody> </table> <ol style="list-style-type: none"> <li>インスタンスまたはセッション・レベルでオプティマイザ機能設定を設定します。 次の SQL 文を実行してオプティマイザ・バージョンを 10.2.0.5 に設定します。 SQL&gt; ALTER SYSTEM SET OPTIMIZER_FEATURES_ENABLE='10.2.0.5';</li> </ol> <p>※この文では、Oracle Database 10g リリース 2(10.2.0.5)に存在するオプティマイザ機能がリストアされます。</p>	NAME	TYPE	VALUE	optimizer_features_enable	string	12.1.0.2
NAME	TYPE	VALUE						
optimizer_features_enable	string	12.1.0.2						
29	質問	<p>ブラウザのウィンドウ幅が狭い場合、ログインフレームに表示される[ログアウト]アイコンやプロセス一覧画面に表示される[新規登録]ボタンが表示されません。 Senju Service Manager を使用する際に推奨する画面解像度はありますか。</p>						
	回答	<p>Senju Service Manager を利用するために推奨している画面解像度の最小の横幅は 1024 pixel となります。 画面解像度の横幅が 1024 pixel 以下の場合、ブラウザ自体の幅を広げるかもしくは最大幅で表示していただくことにより事象が解消される可能性があります。</p>						
30	質問	<p>Senju Service Manager から送信したメールを受信した際、受信したメールが文字化けしていることがあります。</p>						
	回答	<p>メール本文の 1 行に改行を含まず 1000 バイト以上の入力を行った場合、お使いの SMTP サーバーの設定・仕様により、自動的に改行コードが埋め込まれ、文字化けする場合があります。 メール本文には適度に改行を含めるようにしてください。</p>						

No	項目	質問内容／回答内容
31	質問	Senju Service Manager のバージョンアップを実施したところ、バージョンアップ以降、アプリケーションログに下記に示すイベントが出力されるようになりました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ログの名前： アプリケーション</li> <li>・ソース： Active Server Pages</li> <li>・イベント ID： 9</li> <li>・レベル： 警告</li> <li>・メッセージ： 警告： IIS ログはエントリの書き込みに失敗しました。スクリプトがタイムアウトしました。スクリプトを実行する時間の制限を超えました。この制限時間は、プロパティ Server.ScriptTimeout に新しい値を指定するか、IIS 管理ツールの値を変更することによって変更できます。</li> </ul>
	回答	リサイクル実行または IIS を再起動の契機でアプリケーションログに上記のエラーが出力される場合があります。
32 ★	質問	Senju Service Manager のバージョンアップ作業以外で、画面操作またはコマンド実行の性能劣化が発生します。
	回答	Oracle データベースのメンテナンス作業によって、明示的もしくはメンテナンスによる影響によって暗黙的に変更された設定がないかをご確認ください。 Oracle データベース側のメンテナンス作業によって共有プールのクリアや、Oracle 再起動によるバッファキャッシュのクリアなどが行われている場合、実行計画の変更や バッファキャッシュヒット率の低下による性能劣化の影響が考えられます。
33	質問	バージョンアップを行った際にブラウザの一時ファイルを削除する手順を実施するのはなぜでしょうか。 また、実施をしない場合どのような不具合が発生するのでしょうか。
	回答	クライアント端末に保存された Senju Service Manager の古いコンテンツを参照することで正常に動作しない事例報告があるための予防措置です。 本手順を実施せずにクライアント端末に保存されている古いコンテンツを参照して Senju Service Manager が動作した場合、以下の不具合が発生する可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボタン押下などの画面操作が不能になる</li> <li>・画面遷移や動作が不安定となり、場合によっては予期せぬデータ更新が行われる</li> </ul>
34 ★	質問	現在使用している Oracle ホーム・ユーザーのパスワードの変更を検討しています。パスワード変更に伴い Senju Service Manager の設定変更が必要となる箇所はありますか。
	回答	Oracle ホーム・ユーザーパスワード変更に伴う Senju Service Manager の設定変更はありません。 ただし、Oracle ホーム・ユーザーパスワード変更をする際は変更内容の反映等を考慮し、Senju Service Manager サービスを停止してから行うことをお勧めします。 ※Oracle ホーム・ユーザーパスワード変更の手順につきましては、対象のベンダへお問合せください。
35	質問	ブラウザで Senju Service Manager に接続した際に、接続タイムアウトでエラーが発生しました。 原因として考えられること、また対策はありますか。
	回答	ブラウザで Senju Service Manager に接続した際に接続タイムアウトでエラーが発生する場合、ウイルス対策ソフトの影響により通信が阻害されていることが原因として考えられます。 ウイルス対策ソフトの設定を解除することにより改善される可能性があります。
36	質問	Senju のメール送信機能を使用した際に送信先でメールが受信されない事象が発生しました。 原因として考えられること、また対策はありますか。

No	項目	質問内容／回答内容
	回答	Senju のメール送信機能を使用した際に送信先でメールが受信されない場合、ウイルス対策ソフトの影響によりドメイン名がウイルススキャン箇所から除外されることが原因として考えられます。 ドメイン名を変更していただくとメールの送受信が正常に行われる可能性があります。
37	質問	管理者メニュー > 画面レイアウト定義でインシデント管理画面のビューを編集しようとする「ファイルの読み込みに失敗」エラーが発生し、編集画面に遷移できませんでした。 原因として考えられること、また対策はありますか。 OS : Windows Server 2012 Windows Server 2008 R2 SP1
	回答	Windows OS のバージョンにより、TLS 1.1 または TLS 1.2 プロトコルが無効化されていたことが原因と考えられます。 対策として、Microsoft 社より「KB3140245」の更新プログラムが提供されておりますので、適用を行ってください。
38 ★	質問	「データベースの接続中にエラーが発生しました」と表示され、Senju/SM に接続ができなくなりました。 他には以下のログが出ています。 ORA-02002: 監査証跡への書き込み中にエラーが発生しました。 ORA-55917: ログ ID: 1、バケット ID: 0 の表フラッシュ I/O が失敗しました。 ORA-01653: 表 AUDSYS.CLI_SWP\$~ を拡張できません。 原因として考えられること、また対策はありますか。 Oracle 12c Standard Edition
	回答	原因といたしましては、監査証跡のログは SYSAUX 領域に書き込まれていますが、Oracle12c StandardEdition では仕様により SYSAUX の領域が開放されないため SYSAUX 領域が 32GB の拡張上限まで達したためとなります。  DBMS_AUDIT_MGMT パッケージで監査証跡を削除しても LOB セグメントの領域が解放されない (ドキュメント ID 2107762.1)  <対策> 1. 監査設定を行わないようにすることで監査データが肥大化することを防ぐ。 2. 監査証跡を定期的にクリーンアップする。データを定期的に削除することにより、LOB セグメントの領域が再利用され、肥大化することを防ぐ。
39 ★	質問	「ORA-03113: 通信チャネルで end-of-file が検出されました」「ORA-07445: 例外が検出されました」と表示されました。
	回答	<対策> ALTER SYSTEM を実行し設定を変更するか、12.1.0.1 Patch 16 を適用するのいずれかを実施してください。  ALTER SYSTEM を実行し設定を変更します。  1. SYS ユーザーで SQL*Plus を起動してください。 2. 以下のコマンドを実行し、設定を変更します。 alter system set "_rowsets_enabled"=FALSE scope=both;
40 ★	質問	エスカレーション後、「不正な操作が行われました」のメッセージが表示されました。原因として考えられること、また対策はありますか。
	回答	エスカレーション処理の実行が終了する前に、プロセスのアクションが操作された可能性があります。  エスカレーションダイアログにてエスカレーションボタン押下後は、エスカレーション画面が閉じられてから、プロセス詳細画面での操作を行うようにしてください。

## 1.5 用語集

本章では、Senju Service Manager システムに関する用語について説明します。

### 1.5.1 システム全般

- **Senju Service Manager**  
サービスデスクに必須となる「インシデント管理」とこれを強力にサポートする「問題管理」「変更管理」を統合したサービスデスクです。
- **SSM DB サーバー**  
Senju Service Manager システムの DB サーバーです。DB として Oracle または PostgreSQL を使用します。
- **SSM WEB サーバー**  
Senju Service Manager システムの WEB サーバーです。WEB サーバーとして IIS を使用します。
- **SSM DB サーバーコンフィグレータ**  
Senju Service Manager システムの各種パラメータ値の設定を行うツールです。本ツールは SSM DB サーバー上で稼働します。
- **SSM WEB サーバーコンフィグレータ**  
Senju Service Manager システムの画面表示値の設定や、エンドユーザー向けフォーム画面を作成するツールです。本ツールは SSM WEB サーバー上で稼働します。
- **システム**  
Senju Service Manager システムが管理対象とする業務システムです。インシデント、問題、変更などの対象となるシステム情報の管理単位となります。
- **ユーザー**  
Senju Service Manager を使用するメンバーの最小単位です。
- **職責**  
各ユーザーが Senju Service Manager に対して行うことができる操作権限を定義したものです。
- **画面ポリシー**  
各ユーザーが Senju Service Manager に対して参照できる画面を定義したものです。
- **サービスデスクユーザー**  
Senju Service Manager システムを利用してインシデント管理などのサービスデスク業務を行うユーザーです。
- **エンドユーザー**  
Senju Service Manager システムで管理を行っている業務システムのユーザーです。Senju Service Manager システムでは、エンドユーザー向けの間合せ/申請フォームやナレッジを公開することが可能です。
- **グループ**  
ユーザーをまとめる単位です。ユーザーは複数のグループに所属することができます。

- コード  
種別や優先度といったマスタとして管理される識別情報のことです。コードはシステム毎に定義することが可能です。
- 分類  
プロセス管理の分類に使用される識別情報のことで2階層、3階層、5階層で定義されます。分類はシステム毎に定義することが可能です。
- ホーム  
**Senju Service Manager** システムにログイン直後に表示される画面です。タスクとスケジュールの管理機能や、お知らせや伝言メモといったサービスデスク業務支援ツールが集約されています。
- タスク  
サービスデスクユーザーが行うべき作業のことです。**Senju Service Manager** では、サービスデスクユーザーが行うべき作業をすべてタスクとして一元的に管理することができます。
- 問合せ  
エンドユーザーからの問合せです。**Senju Service Manager** では、エンドユーザー向けに簡易なフォーム画面を公開し、問合せを受け付けることが可能です。
- 申請  
エンドユーザーからの申請です。**Senju Service Manager** では、エンドユーザー向けに簡易な申請画面を公開し、申請を受け付けることが可能です。
- フォーム  
エンドユーザー向けに公開する、問合せ／申請用の簡易画面のことです。フォームに公開する項目は任意に選択することが可能です。
- お知らせ  
**Senju Service Manager** ユーザーに周知すべき連絡事項を公開することができる機能です。ユーザーは、ログイン後に公開されたお知らせを閲覧することが可能です。
- スケジュール  
スケジュール管理機能です。**Senju Service Manager** ユーザーが、自由に個人のスケジュールを登録／閲覧することができます。また、対応期限が設定されたタスクの期限が自動的に表示されます。
- ToDo  
ToDo リスト管理機能です。覚え書きなどに活用することができます。
- 伝言メモ  
**Senju Service Manager** ユーザー同士でやりとりを行う機能です。
- 代理承認  
**Senju Service Manager** のプロセス管理の申請・承認フローにおいて、正規の承認者が何らかの理由で承認できない場合に、代理で承認できる機能です。
- デフォルト設定  
複数のシステムやグループに所属しているユーザーが各種画面を表示する際、デフォルトでどのシステムやグループを選択した状態で表示するかの設定です。

## 1.5.2 プロセス関連

- イベント  
プロセスのレコード（ITILにおけるインシデント、問題、変更、サービス要求のレコード）になりうる可能性のある情報のことです。
- エスカレーション  
プロセスへの対応といった案件を他のユーザーに引き継ぐことです。
- 関連プロセス情報  
あるプロセスのレコードと関連のあるプロセスのレコードを表します。プロセス管理の編集画面等から関連プロセスを登録することができます。
- 関連ナレッジ情報  
あるプロセスと関連のある既知エラー／FAQを表します。プロセス管理の編集画面等から関連ナレッジを登録することができます。
- 関連 CI 情報  
あるプロセスと関連のある ID 管理の構成アイテム／アカウントまたは構成管理の構成アイテムを表します。プロセス管理の編集画面から関連 CI を登録することができます。関連 CI は関連構成アイテム（ID 管理）と関連アカウント（ID 管理）と関連構成（構成管理）から構成されます。
- 関連登録  
あるプロセスのレコードの内容を引き継いで新規にプロセスのレコードを起票する場合に使用します。プロセス管理の詳細画面から関連登録することができます。
- コピー登録  
あるプロセスのレコードの内容を引き継いで新規にプロセスのレコードを起票する場合に使用します。関連登録のように引き継ぎ元の案件との関連付けは行いません。
- 承認申請  
プロセス管理、ナレッジ（既知エラー/FAQ/ファイルライブラリ/リンク集）において、それぞれの内容の承認依頼を申請することです。
- 承認フロールート  
プロセス管理、ナレッジ（既知エラー/FAQ/ファイルライブラリ/リンク集）における承認フローです。
- 代理承認  
本来の承認者の代わりに承認を行うことです。
- 代理承認者  
本来の承認者の代わりに承認を行う人です。
- 要員  
システムに関わる要員です。ID 管理機能で管理します。
- 構成アイテム  
システムに関わる構成アイテム（ノード等）です。ID 管理機能で管理します。
- アカウント  
システムに関わるアカウントです。ID 管理機能で管理します。

- **利用計画入力**  
ID 管理下の構成アイテム/アカウントに対して、利用時間帯、利用者情報、承認者情報などの利用計画情報を入力することです。
- **既知エラー**  
過去に発生したエラーで原因と対処方法が明らかになっている不具合です。ナレッジタブより登録することで、Senju Service Manager ユーザーに公開することができます。
- **FAQ**  
ユーザーからのよくある質問とそれに対する回答の組み合わせです。ナレッジタブより登録することで、Senju Service Manager ユーザーに公開することができます。
- **ファイルライブラリ**  
各種ドキュメント集のことです。ナレッジタブより登録することで、Senju Service Manager ユーザーに公開することができます。
- **リンク集**  
WEB サイトへのリンク集です。ナレッジタブより登録することで、Senju Service Manager ユーザーに公開することができます。
- **ナレッジ申請**  
プロセスの内容を引き継いで新規にナレッジ（既知エラー/FAQ）を起票する場合に使用します。引き継ぎ元の案件を関連付けることができます。

## 1.5.3 外部連携

- **イベント送信コマンド**  
Senju Service Manager システムにイベントを送信するコマンドです。  
本コマンドにより、他の運用管理ツールからのシステムアラートを、Senju Service Manager にイベントとして登録することが可能となります。
- **SEN(Senju Enterprise Navigator)**  
様々なツールを相互に連携する「ハブエンジン」、柔軟に設定可能な「ルールエンジン」、情報を自由に表現できる「ビューエンジン」から構成される、Senju Family のエンタープライズ統合運用管理製品です。
- **Senju Operation Conductor**  
IT インフラ（サーバー/ネットワーク/アプリケーション）の監視機能やジョブスケジューラ機能といった各種管理機能を備えた、Senju Family の統合運用管理ツールです。
- **Active Directory 認証**  
Senju Service Manager へログインする際に、Active Directory サーバーにて管理されるアカウント情報を使用してログイン認証を実施します。
- **Senju Service Automation 機能**  
Senju Operation Conductor に搭載される RBA やコマンド、ジョブの一時停止やスキップといった各種機能を、Senju Service Manager のプロセス管理を使用して申請を一元管理し、適切に承認された申請のみ自動実行を行う機能を提供します。



## 1.6 アイコン集

本章では、Senju Service Manager システムに関するアイコンについて説明します。

### 1.6.1 アイコン一覧

#### 1. ボタンアイコン対応表

アイコン表示と名称ボタン表示を選択できるボタンについて一覧でまとめてあります。

No	ボタン名	ボタン詳細説明	アイコン
1	表示	検索結果等を表示するボタンです。	
2	クリア	検索結果等をクリアするボタンです。	
3	編集	該当レコード等を編集するボタンです。	
4	削除	該当レコード等を削除するボタンです。	
5	閉じる	該当レコード等を閉じるボタンです。	
6	会社組織選択	会社組織選択ダイアログを表示するボタンです。	
7	ユーザー選択	ユーザー選択ダイアログを表示するボタンです。	
8	イベントに戻す	プロセスに登録したイベント内容をイベントに戻すボタンです。	
9	最新の情報に更新	最新の情報に更新するボタンです。	
10	追加	データ等を追加するボタンです。	
11	表示切替	データ等の表示切替を行うボタンです。	